

昭和60年度

学校教育要覧

日野市教育委員会

日野市立図書館 ☎81-7354



1571774

目 次

◇ 日野市教育委員会の教育目標と重点	1
◇ 学校教育の課題と指導の重点	2
◇ 東京都教育委員会の教育目標及び学校教育の課題と指導の重点	5
◇ 日野市教育委員会の学校訪問について	7
◇ 日野市教育委員会指導室の年間活動計画	9
◇ 日野市教育委員会指導室関係及び幼小中学校行事予定表	17
◇ 日野市教育相談室	29
◇ 日野市中心身障害教育推進協議会	32
◇ 日野市立小・中学校科学教育センター	35
◇ 日野市立小・中学校使用教科書	39
◇ 指導主事分担表	40
◇ 日野市教育委員会委嘱事業等担当校長・教頭	42
◇ 日野市教育委員会事務局組織	44
◇ 日野市公立学校・幼稚園一覧表	46
◇ 管理運営規則第八条に基づく主任一覧表	48
◇ 日野市立小・中学校主任（代表）一覧表	50
◇ 授業研究主題	54
◇ 都教育研究員等一覧	56
◇ 就学・進学状況の推移	57
◇ 幼稚園児・小学校児童・中学校生徒の数	58
◇ 日野市産業大分類別就業者数	58
◇ 園児・児童・生徒・学級調べ	59
◇ 避難場所と地区割当表	61
◇ 日野市公立小中学校施設一覧	62
◇ 日野市立幼稚園・小学校・中学校要覧	
日野市立第一幼稚園	64
" 第二 "	65
" 第三 "	66
" 第四 "	67
" 第五 "	69
" 第六 "	70
" 第七 "	71
日野市立日野第一小学校	72
" 日野第二 "	75
" 日野第三 "	78
" 日野第四 "	81
" 日野第五 "	84
" 日野第六 "	87
" 潤 徳 "	90
" 平 山 "	93
" 日野第七 "	96
" 日野第八 "	99
" 百 草 台 "	102
日野市立滝合小学校	105
" 高幡台 "	108
" 南 平 "	111
" 程久保 "	114
" 旭が丘 "	117
" 平山台 "	120
" 東光寺 "	122
" 三沢台 "	124
" 仲 田 "	126
日野市立日野第一中学校	128
" 日野第二 "	130
" 七 生 "	133
" 日野第三 "	136
" 日野第四 "	139
" 三 沢 "	142
" 大 坂 上 "	144
" 平 山 "	147

昭和 60 年 度

日野市教育委員会の教育目標と重点

教 育 目 標

教育基本法に基づき、生涯教育をふまえ、次のことを目標にして日野市の教育・文化の向上を図る。

1. 豊かな心、いきいきとした知識・健やかな体をやしなうとともに、社会人としての徳性をつちかい、広く国際社会に生きる市民の育成に努める。
2. 各自のもつ個性と創造性を伸ばし、人間尊重の精神を身につけ、互いに励まし協力する態度を育てる。
3. 家庭教育、学校教育、社会教育の緊密な連携のもとに、青少年の健全な育成を進めるとともに、地域の自然、文化を大切にする郷土愛を育てる。

重 点

教育目標を達成するために、次のことを重点とする。

1. 教育施設・設備の充実に努め、その有効な活用・保全を図り、市民への開放を推進する。
2. 学校教育の内容・指導の充実に努め、幼児・児童・生徒に自ら学ぶ力をつけ、一人一人の個性や能力の伸長を図り、保護者の期待に応える教育を推進する。
3. 家庭教育及び公民館活動の充実・スポーツ活動における指導体制の充実に努め、生涯に立脚した社会教育を推進する。
4. 図書館における資料の充実に努め、市民の多様な要求に応じられる図書館活動を推進する。

昭和 60 年 度 学校教育の課題と指導の重点

日野市教育委員会及び東京都教育委員会の教育目標を達成するため、本年度は次の学校教育の課題及び指導の重点を設定する。

日野市教育委員会は、日野市立学校（園）において、教師一人一人の識見や能力を高めるために研究と研修の次実を図り、校内の指導組織を整備し、学校経営に創意工夫をこらして学校教育が一層充実・向上するよう指導・援助する。

（学校教育の課題）

日本国憲法に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校の教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底することが重要である。

また、国際的視野をもち、世界の平和に貢献できる市民を育成することが重要である。そのためには、わが国と諸外国との生活や文化の違いを理解させ、これを尊重する態度の育成に努めることが大切である。

さらに、学校教育では、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れることによって、地域の理解と地域社会の一員としての連帯感を養うとともに、家庭・地域・関係諸機関との連携を一層深め、地域に根ざした学校教育の推進に努めることが大切である。

（指導の重点）

○ 学習指導の改善・充実

児童・生徒が、ゆとりのある充実した学校生活を送るためには、一人一人の個性や能力に応じた指導を徹底することが重要である。

各学校においては、次の点に重点をおいて各教科等の基礎的・基本的な内容を確実に身をつけさせるとともに、柔軟な思考力と豊かな創造力を育て、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を養う必要がある。

- (1) 学校の創意を生かした教育課程の編成と実施に努める。
- (2) 児童・生徒の学習過程に視点を置いた授業研究を行う。
- (3) 教育評価についての実践的な研究を行う。
- (4) 自発的、自主的な活動を育てる特別活動の工夫に努める。
- (5) 地域に根ざした教育活動を創意工夫し、実践するよう努める。

○ 生活指導・進路指導の充実

人間性豊かな児童・生徒を育成するためには、個性を伸長し、社会の一員としての自覚と徳性をつちかい、自己実現を図る能力と態度を身につけさせることが重要である。

各学校（園）においては、次の点に重点をおいて一人一人の児童・生徒の理解を深め、全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う必要がある。

- (1) 児童・生徒理解を深め、基本的生活習慣の確立を図る。
- (2) 家庭・地域・関係諸機関との連携を深めるとともに、全教職員の共通理解に基づき、児童・生徒の実態や発達段階に応じた生活指導を行う。
- (3) 教育相談活動の充実を図り、積極的に児童・生徒を援助し、問題行動の未然防止に努める。
- (4) 一人一人の能力や適性を正しく把握し、それぞれが将来に対する目的意識を確立し、意欲的に学校生活を送るように進路指導を行う。

○ 健康・安全指導の充実

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく学校生活を送るためには、児童・生徒の心と体の健康づくりが大切である。

各学校においては、次の点に重点をおいて教育活動全体を通して健康・安全の指導と管理の徹底を図ることが大切である。

- (1) 自ら進んで健康の増進や体力の向上を図る態度や能力を養う。
- (2) 自ら自己の生命・安全を守る態度を養う。
- (3) 安全指導や安全管理を徹底し、学校における事故防止に努める。

○ 心身障害教育の充実

心身に障害をもつ児童・生徒一人一人の能力・適性を十分伸長するためには、教育環境の整備充実を図るとともに、教育内容・方法の改善・充実に努めることが重要である。

各学校においては、次の点に重点をおいて心身障害教育の充実を図るとともに、心身障害者への理解を深めることが大切である。

- (1) 心身障害教育について、全教職員の理解を深める。
- (2) 障害の種類や程度に応じた適切な教育計画と教育内容・方法について創意工夫するとともに、児童・生徒の実態に応じた交流教育の推進に努める。
- (3) 家庭・医療機関及び、関係諸機関との連携を深めるとともに、継続的な教育相談活動を一層充実させる。

○ 幼児教育の充実

幼児期は、心身の発達が著しく、人格を形成する上で重要な時期である。各幼稚園においては、次の点に重点をおいて幼児の発達課題を適切にとらえ、地域の特性を生かした教育活動の充実に努めることが大切である。

- (1) 幼児の生活実態や心身の発達を把握し、適切な指導計画を作成し、保護者との密接な連携に立った保育に努める。
- (2) 保育園や小学校教育との関連を考慮し、自主・自律の心の芽生えを養い、健全な幼児の育成に努める。

(注) 「児童・生徒」とは、幼児・児童・生徒をいう。

昭和60年度東京都教育委員会の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな都民を目指し、家庭教育・学校教育・社会教育の緊密な連携のもとに生涯にわたる教育を推進する。

学校教育においては、未来への展望に立ち、教育の本質と現代的教育的課題とを深く考え、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み社会連帯意識をもった心身ともに健康な幼児・児童・生徒・学生の育成を推進する。

社会教育においては、生涯を通じ、あらゆる機会、あらゆる場所を利用し、実際生活に即して、文化的教養を高め、スポーツに親しみ、連帯して豊かな社会の形成を目指す都民の社会教育を推進する。

学校教育の課題と指導の重点

東京都教育委員会は、先の教育目標を達成するため、学校教育の課題及び指導の重点を設定する。

各学校においては、教師一人一人の識見や能力を高め、校内の指導組織を整備し、学校経営に創意工夫をこらして、学校教育の一層の充実、向上に努めることが大切である。

（学校教育の課題）

○ 人権尊重の教育の推進

日本国憲法の精神に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校のエducational活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底することが重要である。

特に、各学校においては、同和対策審議会答申並びに地域改善対策特別措置法の趣旨を体して、同和教育の推進に努める必要がある。

心身に障害をもつ児童・生徒については、その障害の種類や程度に応じて、一人一人の能力、適性が十分伸長されるような教育活動を行う必要がある。各学校においては、心身障害者に対する理解を深めるとともに、連帯感の育成に努めることが大切である。

また、人種、民族、性別等を異にすることによって、児童・生徒の人権が損なわれることのないよう十分配慮することが大切である。

○ 地域に根ざした教育の推進

児童・生徒を健全な社会人として育成するためには、地域の人々や自然、文化との接触の機会を通して、地域社会の一員としての自覚を促し、郷土を愛する心を培い、地域社会の形成者としての資質を養うよう努めることが重要である。

特に、各学校においては、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れることにより、自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を培う必要がある。

また、学校のもつ教育機能や施設・設備を開放するとともに、家庭、地域及び関係諸機関との一層の連携に努め、心身ともに健全な児童・生徒の育成を図ることが大切である。

○ 国際理解教育の推進

常に国際的な視野をもち世界の平和と人類の幸福に貢献することのできる国民を育成するためには、

我が国の文化や伝統についての理解を一層深め、進んで国際社会に参加、協力できる能力と態度を養うことが重要である。

特に、各学校においては、国際都市東京の実態に即し、教育活動全体を通して、世界の人々の生活や固有の文化を理解させ、国際協力に果たす個人や国家の役割を正しく認識させる必要がある。

その際、我が国と諸外国との生活や固有の文化などの違いを正しく把握させるとともに、これらを尊重する態度を育成するよう、創意工夫に努めることが大切である。

(指導の重点)

○ 学習指導の改善・充実

児童・生徒が、ゆとりのある充実した学校生活を送ることができるようにするためには、一人一人の個性や能力に応じた指導の徹底を図ることが重要である。

各学校においては、各教科等の基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるよう工夫、改善を図り、柔軟な思考力と豊かな創造力を育成するとともに、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を養う必要がある。

特に学習が遅れがちな児童・生徒や心身に障害をもつ児童・生徒に対しては、一人一人の実態に応じて能力、適性が十分伸長されるよう、指導の徹底に努めることが大切である。

○ 生活指導・進路指導の充実

人間性豊かな児童・生徒を育成するためには、個性を伸長し、社会の一員としての自覚を高め、自己実現を図る能力と態度を身に付けさせることが重要である。

各学校においては、一人一人の児童・生徒に対する理解を深め、保護者の要望を十分把握するとともに、教育相談を重視するなど全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う必要がある。

その際、家庭、地域及び関係諸機関との連携を密にして、問題行動の要因を把握し、これを未然に防止する指導の徹底に努め、児童・生徒の健全な育成を図ることが大切である。また、望ましい勤労観・職業観を育成し、一人一人の児童・生徒が自己の将来に対する目的意識を確立し、希望をもって意欲的に学校生活を送ることができるよう、進路指導の充実を図ることが大切である。

○ 健康・安全指導の充実

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく活力のある生活を送ることができるようにするためには、児童・生徒の健康づくりに努めることが重要である。

各学校においては、教育活動全体を通して、健康・安全に関する理解を深め、自ら進んで健康の増進や体力の向上を計る能力や態度を身に付けさせるとともに、健康・安全の指導と管理の徹底を図る必要がある。

また、体育活動や日常生活における事故の防止に努めるとともに、交通や地震等による事故・災害に対して、児童・生徒の安全を確保することが大切である。

(注) 「児童・生徒」とは、幼児・児童・生徒・学生をいう。

日野市教育委員会の学校訪問について

1. 趣 旨

学校訪問は教育委員会の教育長・教育次長及び指導室長・各課の課長・指導主事が学校を訪問し、学校の教育活動の実態に直接触れることを通して、①学校の当面する教育指導上の諸問題への対応、②学校の施設・設備上の諸条件の整備、活用状況の把握、③日野市の全般的な教育活動を把握して、教育行政の参考にするとともに、各校の教職員との協議懇談を行い相互の理解を深め、日野市の教育内容・方法の充実・発展に資する。

(1) 市教委訪問A

2年間に一度、教育長、教育次長、指導室長、各課長及び指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態を把握し、教育内容充実のため協議する。

①概況説明 ②授業参観 ③施設・設備の活用状況 ④諸帳簿閲覧 ⑤協議・懇談等も含む。
尚、教育委員も時間のゆるす範囲で、教職員との協議に出席し懇談する。

(2) 市教委訪問B

年間にA訪問のない学校に、指導主事が訪問する。

①学級経営 ②教科・道徳・特活の指導 ③授業研究 ④生活指導等を含む。

(3) 要請訪問

各学校（園）の要請に応じ、指導主事が訪問し指導・助言する。

2. 昭和60年度市教委訪問日程

№	幼稚園名	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	第一幼稚園	7月9日(火)	
2	第二幼稚園		6月12日(水) (一般訪問)
3	第三幼稚園	5月28日(火)	
4	第四幼稚園		5月29日(水) (一般訪問)
5	第五幼稚園	11月12日(火)	
6	第六幼稚園		6月19日(水) (一般訪問)
7	第七幼稚園		

№	小学校名	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日野第一小学校	10月28日(月)	
2	日野第二小学校		11月8日(金)
3	日野第三小学校	4月30日(火)	
4	日野第四小学校		11月6日(水)(一般訪問)
5	日野第五小学校	11月26日(火)	
6	日野第六小学校	4月26日(金)	
7	潤徳小学校	10月15日(火)	
8	平山小学校		11月20日(水)(一般訪問)
9	日野第七小学校	11月19日(火)	
10	日野第八小学校	10月11日(金)	
11	百草台小学校	1月31日(金)	
12	滝合小学校		11月13日(水)(一般訪問)
13	高幡台小学校		10月30日(水)(一般訪問)
14	南平小学校		7月10日(水)(一般訪問)
15	程久保小学校	1月21日(火)	
16	旭が丘小学校	1月27日(月)	
17	平山台小学校		5月22日(水)(一般訪問)
18	東光寺小学校	1月16日(木)	
19	三沢台小学校		2月17日(月)
20	仲田小学校		12月11日(水)

№	中学校名	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日野第一中学校		6月25日(火)
2	日野第二中学校		1月29日(水)(一般訪問)
3	七生中学校	2月6日(木)	
4	日野第三中学校		10月9日(水)(一般訪問)
5	日野第四中学校		10月25日(金)
6	三沢中学校	7月11日(木)	
7	大坂上中学校		10月2日(水)
8	平山中学校	11月21日(金)	

昭和60年度 日野市教育委員会指導室の年間活動計画

A 一般研修

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
学校経営研修会 (6回)	市立幼稚園・小・中学校の運営に当たる教職員を対象に学校(園)の管理・運営のあり方を求め、学校経営や教育課題について研修する。 (榎本・原田)	5/ 2(木)	現在の教育の動向	市役所	校長・園長・教頭・教諭
		5/20(月)	都及び多摩地区の教育課題	市役所	
		6/ 7(金)	学校経営と法規	市役所	
		6/20(木)	教育課程の編成及び学習指導法改善の視点	市役所	
		7/ 4(木)	地域や子どもの実態をふまえた学校経営	市役所	
		8/ 5(月)	学校経営と教頭の役割	市役所	
教育課程研修会 (5回)	教育課程の充実・改善、学習指導計画について研修し、各校の実践化を図る。 (原田・榎本)	5/ 8(水)	現在の教育の動向	市役所	教諭
		5/20(月)	都及び市における教育課題	市役所	
		7/ 4(木)	教育課程の編成及び学習指導法改善の視点	市役所	
		10/21(月)	特別活動の全体計画	市役所	
		11/ 7(木)	学校評価の方法と生かし方	市役所	
幼児教育研修会 (3回)	幼児の心理発達を的確にとらえるとともに、望ましい幼児教育の充実を図る。 (原田・榎本)	4/24(水)	幼児の発達課題Ⅰ	市役所	幼稚園教諭
		5/15(水)	幼児の発達課題Ⅱ	市役所	
		5/30(木)	指導計画作成の実際	市役所	
人権教育研修会 (3回)	同和教育について正しい理解と認識を深める。人権尊重の教育を推進する。 (榎本・原田)	7/12(金)	学校経営における人権尊重教育	市役所	校長・教頭・教諭
		9/20(金)	学級経営における人権尊重教育	市役所	
		11/18(月)	教科指導における人権尊重教育	市役所	

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
学級経営 (2回)	日々の学級指導を効果的にするために、学級経営のあり方について研修する。	5/30(金)	教育活動とカウンセリングマインド	市役所	教 諭
		11/21(木)	小集団活動の在り方	市役所	
道徳教育 (2回)	道徳的実践力を向上させるための指導計画と指導のあり方について	11/14(木)	道徳資料の活用	市役所	教 諭
		11/25(月)	道徳的実践力を高める指導	学 校	
心障教育 (2回)	事例研究等を通して、心障教育のあり方について研修する。	6/20(木)	心身障害児の実態と指導	市役所	教 諭
		6/28(金)	教育効果を高める教材・教員の活用	市役所	
新規採用教諭研修会 (11回)	教員の職責の重要性を認識した上で各学校の教育目標にそって一人一人の児童生徒の能力・特性を十分に伸ばす学習指導・生活指導・学級経営ができるように講義・授業研究を行い教職の専門性を高める。	4/ 3(水)	教職員の服務	市役所	新任教諭・経験三年未満の教諭
		5/31(金)	教育活動とカウンセリングマインド	市役所	
		6/24(月)	体育実技(水泳)	市役所	
		9/19(木)	授業記録の取り方と活用	学 校	
		10/ 4(金)	教育機器の活用	学 校	
		11/ 5(火)	VTRの活用	市役所	
		11/29(金)	教育機器を生かした授業	市役所	
		12/ 9(月)	授業研究Ⅰ	学 校	
		1/20(月)	授業研究Ⅱ	学 校	
		2/ 4(火)	授業研究Ⅲ	市役所	
		2/21(金)	現地研修	現 地	
学習指導法研修会 (4回)	児童・生徒の可能性を伸ばす学習指導法のあり方を探る。 (榎本・原田)	5/17(金)	社会科見学指導者講習	現 地	教 諭
		10/ 4(金)	教育機器の活用	市役所	
		11/ 5(火)	VTRの活用	市役所	
		11/21(木)	教育機器を生かした授業	学 校	

名称	ねらい・方法	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
実技研修会 (5回)	日々の学習指導において指導の効果を高めるために実技を中心に研修する。 (原田・榎本)	6/24(月)	水 泳 I	学 校	教 諭
		7/ 5(金)	水 泳 II	学 校	
		7/25(木)	陶 芸 I	学 校	
		7/26(金)	陶 芸 II	学 校	
		8/30(金)	リズム運動	学 校	
学研 校 保 健 会 (2回)	健康・安全教育を進めるため学校保健について研修する。(原田・榎本)	7/ 1(月)	定期健康診断に基づく指導	市 役 所	養 護 健 教 主 任
		12/ 6(金)	学校保健委員会の組織と機能	市 役 所	
事研 務 職 修 員 会 (1回)	学校運営を円滑に進めるため学校事務について研修する。 (原田・榎本)	未 定	学校事務のすすめ方	市 役 所	学 職 校 事 務 員
教 育 相 談 研 修 会 (6回)	ア. 事例研究又は児童理解の研修を通して教育相談に関する技術の向上と教育相談的手法を取り入れた児童理解にとりくみ、問題行動についての原因を究明し解決のいと口をつかむ。 イ. 教育相談理論について研修する。 (榎本・原田)	5/30(金)	教育活動とカウンセリングマインド	市 役 所	教 育 相 談 員 ・ 相 談 係 ・ 研 修 員 ・ 教 諭
		6/ 4(火)	教育相談の基本的な技法	市 役 所	
		8/ 6(火)	児童・生徒理解と諸検査	市 役 所	
		8/ 7(火)	問題行動と教育相談	市 役 所	
		10/14(月)	学級経営と教育相談的手法	市 役 所	
		12/ 5(木)	事 例 研 究	市 役 所	
教 職 経 験 六 年 時 研 修 会 (6回)	教職経験5年を経過した教職員を中心に学級経営・学習指導法の改善等について研修し専門性を高める。 (原田・榎本)	5/30(金)	教育活動とカウンセリングマインド	市 役 所	教 諭
		6/ 4(火)	教育相談の基本的な技法	市 役 所	
		10/ 4(金)	教育機器の活用	学 校	
		11/ 5(火)	VTRの活用	市 役 所	
		11/21(木)	教育機器を生かした授業	市 役 所	
		2/ 8(木)	授 業 研 究	学 校	
性研 教 修 育 会 (2回)	性教育の基本的な在り方を探り、指導方法を工夫する。 (榎本・原田)	5/30(木)	性教育に関する基本的な考え方	市 役 所	教 諭
		6/18(火)	性教育の全体計画と実践	市 役 所	

B 宿泊研修会（一日研修を含む）

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
教研 務主任 修 宿泊会	児童・生徒の実態と地域に即した教育課程の編成と実施をめざし、他地域を参観したり、情報交換等をと おして教務主任としての資質を高める。 (原田)	10/31(木) } 11/ 1(金)	◦教育課程の趣旨を生かし主体的学習を促す学習指導・学級指導を実践している学校を参観し、自校の教育課程編成に生かす。	未 定	教 務 主 任
生活 指導主任 修 宿泊研修会	児童・生徒の実態を把握し生活指導の確立を図るため他地域を参観し情報交換をと おして生活指導主任の資質を高める。 (榎本)	10/31(木) } 11/ 1(金)	◦他校訪問ー参観校の生活指導組織とその実践を見学し自校の指導に生かす。 ◦研究協議	未 定	生 活 指 導 主 任
保健 主任 修 一日会	学校保健の組織的活動を行い積極的に成果をあげている学校を参観し自校の実践化に役立てる。 (原田・榎本)	12/12(木)	◦学校教育の中における保健委員会の有機的な機能の実際を参観、協議する。 ◦保健主任と養護教諭の職務分掌の具体的事例を中心に意見交換。	未 定	保 健 主 任
進路 指導主任 修 宿泊研修会	全校的な指導体制の強化・充実を図るため、他地域を参観し情報交換をと おして進路指導主任の資質を高める。 (榎本)	9/17(火) } 9/18(水)	◦他校訪問 参観校の進路指導の指導計画並びに組織とその実践を見学し自校の指導に生かす。 ◦研究協議	未 定	進 路 指 導 主 任
新任 教諭 修 宿泊会	一学期の教職経験を話し合い、指導上の課題を協力して解決し、教職の専門性を高める。 (榎本・原田)	8/ 2(金) } 8/ 3(土)	◦講演「児童・生徒理解の方法と生活指導」 ◦研究討議「一学期の反省と指導上の問題点」 ◦自然観察の指導 「動物・植物・星・川」	御 岳	新 規 採 用 教 諭

C 主任会・委員会等

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
教 務 主 任 会	教務主任の立場から円滑な学校運営のあり方を研修すると共に当面する教育課題について研究協議し自校の教育活動の改善・充実に役立てる。 (原田・榎本)	4/18(木) 5/16(木) 6/13(木) 7/ 2(火) 9/12(木) 10/17(木) 11/14(木) 12/12(木) 1/23(木) 2/13(木) 3/13(木)	◦教務主任の職務について研修する。 ◦円滑な学校運営を図る教務主任のあり方について ◦当面する教育課題について情報を交換し、実践に役立てる。	市役所 又は 学 校	教 務 主 任
生 活 指 導 主 任 会	生活指導についての共通理解を深め、それぞれの学校における生活指導上の問題を解決するため情報交換と研修を進める。 (榎本・原田)	4/15(月) 5/ 2(木) 6/ 3(月) 7/ 1(月) 9/ 9(月) 10/ 7(月) 11/ 2(月) 12/ 9(月) 1/13(月) 2/ 3(月) 3/ 3(月)	◦生活指導上の臨床的対策にとどまらず学校生活に喜びを感じ、自身の能力を十分に伸ばせるような生活指導のあり方をめざして、研究を進める。	市役所 又は 学 校	生 活 指 導 主 任
中 学 校 生 活 指 導 主 任 会	中学校の生活指導及び学校間の協力体制を推進し、生活指導の充実を図る。 (榎本・原田)	4/22(月) 5/27(月) 6/24(月) 7/15(月) 9/30(月) 10/21(月) 11/25(月) 12/16(月) 1/20(月) 2/24(月) 3/10(月)	◦先生と生徒、生徒間の人間関係のあり方を研究し学校生活に生きがいを感じずるような生活指導の確立をはかる。	市役所 又は 学 校	中 学 校 生 活 指 導 主 任

名称	ね ら い ・ 方 針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
保 健 主 任 会	心身ともに健全な児童・生徒の育成を図るための保健教育のあり方を研究し、健康・安全教育の推進について研修を進める。 (榎本・原田)	4/16(火) 5/14(火) 6/10(月) 7/ 8(月) 9/ 9(月) 10/14(月) 11/15(木) 12/ 9(月) 1/13(月) 2/10(月) 3/10(月)	- 学校保健のあり方について研修を深める。 - 学校における保健指導の実態のもとに情報を交換し、望ましいあり方について研究する。 - 分科会研究 - 研究発表	市 役 所 又 は 学 校	保 健 主 任
進 路 指 導 主 任 会	中学校の進路指導の基本的なあり方について研修するとともに、進路情報を交換する。 (榎本・原田)	4/19(金) 5/17(金) 6/14(金) 7/12(金) 9/13(金) 10/18(金) 11/15(金) 12/20(金) 1/24(金) 2/14(金) 3/14(金)	- 全校的な指導体制を確立し、進路指導の充実をはかる方法を研究する。 - 各校の進路指導上の問題点の整理と検討。 - 進路指導の全体計画 - 各学年の指導の重点 - 進路指導を推進するための組織運営 - 指導資料	市 役 所	進 路 指 導 主 任
社 会 科 副 読 本 改 訂 委 員 会	小学校社会科副読本「わたしたちの日野」、中学校社会科副読本「のびゆく日野」の改訂を行う。 (原田・榎本)	年 間	学習指導要領の改訂にそって日野市小中学校社会科副読本の部分改訂を行う。	市 役 所	委 員
学 校 連 絡 協 議 会	心身共に健康で明るい児童・生徒の育成のため、健康・安全に係る諸業務の運営について連絡協議する。 (榎本・原田)	未 定	- 保健業務に係る連絡調整 - 健康・安全に関する情報交換 - 健康・安全のための教育指導に関する研修 - 研究発表	市 役 所 又 は 中 央 公 民 館	養 護 教 諭

名 称	ね ら い ・ 方 針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
就学相談委員会	心身に障害のある幼児・児童・生徒の障害及び発達に応じて適切な教育措置を行う。 (原田・榎本)	第一回 10/12(土) 13(日) 第二回 12/ 7(土) 8(日)	○東京都教育委員会、教育相談所及び児童相談所等と連絡をとりながら就学に関する継続相談を行う。 ○障害児の立場に立って適切な教育を行うため、各種専門家による就学相談を行う。	第 三 幼 稚 園	就学 教育 指導 相談 委員 員
授業研究委託	幼児・児童・生徒の実態に応じて個々の能力を伸ばす指導法の改善のため授業研究を行う。 (榎本・原田)	4 月委託 申込受付 3 月記録 提 出	○各小・中学校に授業研究委託費 15 万円支給 ○年度末に授業記録（3 事例）を提出する。 ○研究授業を日野市内校に公開する。		小・ 中 学 校
教ケース 相会議	事例研究を通して、望ましい教育相談技術等を探る。 (榎本・原田)	未 定	事例研究	市 役 所	教育 相談 員
体 育 委 員 会	児童の健康・運動能力の実態を把握し、その増進を図るための具体的方策を考え、学校教育活動全体を通じた体育指導の実践化と生活化を図る。 (榎本・原田)	4/23(火) 5/21(火) 6/18(火) 7/16(火) 9/19(木) 10/ 8(火) 11/21(木) 12/ 3(火) 1/28(火) 2/18(火) 3/11(火)	○体位・体力向上のための学校教育活動全体の検討に關すること。 ○体育科の教科指導充実のための研究・研修に關すること。 ○「体力づくりの日」の効果的実践のための検討に關すること。	市 役 所 又 は 学 校	体 育 主 任
教育 作成 課程 編成 委員 會	特色ある教育課程の編成及び教育内容の充実を図るための資料を作成する。 (原田・榎本)	年 間	地域に根ざした教育を推進するための資料を作成する。	市 役 所 又 は 学 校	作 成 委 員
一編集 まどべ 委員 會	教育委員会と学校とを結ぶ機関紙を発行する。 (榎本・原田)	年 間	「まどべ」の企画・原稿依頼、編集、校正を行う。	学 校	編 集 委 員

名 称	ね ら い ・ 方 針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
音楽鑑賞委員会	音楽鑑賞教室で優れた音楽を鑑賞させることにより、情操を養い、正しい鑑賞マナーを身につけさせる。 (榎本・原田)	年 間	音楽鑑賞教室の企画、連絡、調整を行い、運営する。	市役所 及び 現 地	運営委員
水泳記録委員会	水泳記録会で、児童・生徒が日ごろの学習の成果を競い、体力の向上を図るとともに、学校間の交流を図る。 (榎本・原田)	年 間	水泳記録会の企画、連絡、調整を行い、運営する。	市役所 及び 現 地	運営委員
日光移動教室会	日光移動教室を連合で行うに際し、円滑な運営が行われるよう連絡、調整にあたる。 (榎本・原田)	年 間	日光移動教室の企画、実地踏査、連絡、調整にあたり、運営する。	市役所 及び 現 地	運営委員
教科用図書採択会	教科用図書採択にともなう調査研究を行う。 (原田・榎本)	5 月 ～ 7 月	教科用図書採択にともなう調査研究を行い報告書を作成する。	市役所 及び 学 校	調査科委員

昭和 60 年度 日野市教育委員会
指導室関係及び幼小中学校行事予定表

△午前
○午後
□全日

4 月

日	曜	市	都
1	月	△新任校長・新任教頭	
2	火	△校長会	
3	水	□新採教諭研修会	
4	木		
5	金	(春季休業日終)	
6	土	第一学期始業 △小学校入学式	
7	⑨		
8	月	△中学校入学式	○都市指導主事会二地区会
9	火		
10	水		△学校訪問協議会
11	木		□都市指導主事会
12	金		
13	土		
14	⑨		
15	月	○生活指導主任会	△生活指導担当指導主事連絡協議会
16	火	○保健主任会	
17	水		△指導主事連絡協議会 ○多摩地区指導主事連絡協議会
18	木	○教務主任会	
19	金	△教頭会 ○進路指導主任会	
20	土		
21	⑨		
22	月	○中学校生活指導主任会	
23	火	○体育委員会	△体育・学校保健・給食担当 指導主事連絡協議会
24	水	○幼児教育研修会	
25	木		
26	金	□A訪問(日野第六小)	
27	土		△都市指導主事会
28	⑨		
29	⑩	(天皇誕生日)	
30	火	□A訪問(日野第三小)	
辞令伝達式 都一般訪問締切 4月15日(月) 定期健康診断(4~6月)			

(20日)

5月

日	曜	市	都
1	水		
2	木	○生活指導主任会 ○学校教養・教育課程研修会	△都市指導主事会二地区会
3	金	(憲法記念日)	
4	土		
5	日	(子どもの日)	
6	月		
7	火	△校長会	平山 中修
8	水	△日野市めぐり説明会	
9	木		△同和教育指導推進委
10	金		
11	土	○小学校科センター開校式	△都市指導主事会
12	日		
13	月		△生活指導相当指導主事世話人会 ○男女平等教育推進委員会
14	火	○保健主任会	三 中 移
15	水	○幼児教育研修会	
16	木	○教務主任会	△心障担当指導主事連絡協議会
17	金	△教頭会 ○連絡指導主任会	
18	土	△教育課程編成資料作成委員会	
19	日		
20	月	○学校経営・教育課程研修	南 平 小
21	火	○体育委員会	
22	水	□B訪問(平山台小)	□一般訪問(平山台小)
23	木	□日光移動教室実踏	□区市指導主事研究会議
24	金	□	七 生 中 修
25	土		
26	日		
27	月	○中学校生活指導主任会	八
28	火	□A訪問(第三幼稚園)	小 三
29	水	□B訪問(第四幼稚園) ○学校保健会総会	四 中 修 高 幡 台 小
30	木	○幼児教育研修会 ○性教育研修会	小 合
31	金	○新採、6年時学級経営、教育相談研修 ○学校給食会総会	旭 東 光 寺

(25日)

6 月

日	曜	市	都
1	土		△都市指導主事会二地区会
2	①		
3	月	○生活指導主任会 ○教科書選択説明会	二程小久
4	火	△校長会 ○日光移動教室運営委員会 ○新採、6年時研修会	七保小
5	水		三小
6	木		三小・仲田小
7	金	○学校経営研修会 ○音楽鑑賞教室運営委員会	四小
8	土	○中学校科学センター開講式	四小
9	①		中移
10	月		平山小
11	火		平山小
12	水	□B訪問（第二幼稚園）	中修
13	木	○教務主任会 ○教科書選択説明会	三
14	金	○進路指導主任会	中
15	土		修
16	①		
17	月	○保健主任会	
18	火	○体育委員会 ○学級経営研修会	
19	水	□B訪問（第六幼稚園）	三
20	木	○性教育研修会 ○心障教育研修会	中
21	金	△教頭会	修
22	土		
23	①		
24	月	○中学校生活指導主任会 ○体育実技・新採・体育実技研修会	
25	火	□B訪問（日野第一中）	大坂上
26	水		中修
27	木	○人権尊重教育研修会	修
28	金		
29	土		
30	①		

(25日)

7月

日	曜	市	都
1	月	○生活指導主任会 ○学校保健研修会	
2	火	△校長会 ○教務主任会	○道徳教育指導助言者研究協議会
3	水		□一般訪問
4	木	○学校経営・教育課程研修会	△都市指導主事会二地区会
5	金	○体育実技研修会（水泳）	△指導主事連絡協議会 ○男女平等教育推進委員会
6	土		△都市指導主事会
7	日		
8	月	○保健主任会 ○中学校生活指導主任会	
9	火	□A訪問（第一幼）	
10	水	□B訪問（南平小）	□一般訪問（南平小）
11	木	□A訪問（三沢中）	
12	金	○進路指導主任会	
13	土	△教頭会	
14	日		
15	月		
16	火		
17	水	○体育委員会	
18	木		
19	金		
20	土	第一学期終業	
21	日		
22	月	（夏季休業日始）	
23	火		
24	水		
25	木	□実技研修会（陶芸）	
26	金	□実技研修会（陶芸）	
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		

指導主事プール訪問
都一般訪問締切 7月12日（金）

（18日）

8月

日	曜	市	都
1	木		
2	金	☐ 新採教諭宿泊研修会	
3	土	☐	
4	(日)		
5	月	○学校経営研修会	
6	火	○教育相談研修会	
7	水	○教育相談研修会	
8	木		
9	金		
10	土		
11	(日)		
12	月		
13	火		
14	水		
15	木		
16	金		
17	土		
18	(日)		
19	月		
20	火		☐ 教育研究員宿泊研修会
21	水		(小)
22	木		☐
23	金		(中)
24	土		☐
25	(日)		(高)
26	月		☐
27	火		
28	水		
29	木		
30	金	△体育実技研修会	
31	土	(夏季休業日終)	
プール訪問			

9 月

日	曜	市	都
1	⑩		
2	月	(第二学期始業) △防災の日	
3	火	△校長会	△都市指導主事会二地区会
4	水	○水泳記録会(川北)	
5	木	○水泳記録会(中)	△学校訪問協議会
6	金	○水泳記録会(川南)	
7	土		△都市指導主事会
8	⑩		
9	月	○生活指導主任会 ○保健主任会 水泳記録会(中予備日)	
10	火	○水泳記録会(小予備日)	△指導主事連絡協議会 ○多摩地区指導主事連絡協議会
11	水		□音楽鑑賞教室①(中、中)
12	木	○教務主任会	〃 ②(中、小)
13	金	○進路指導主任会	〃 ③(小、小)
14	土		
15	⑩	(敬老の日)	
16	⑪		
17	火	□進路指導主任宿泊研修会	
18	水	□	□一般訪問
19	木	○新規採用教諭研修会 ○体育委員会	△生活指導担当指導主事連絡協議会
20	金	○人権尊重教育研修会 △教頭会	△心障担当指導主事連絡協議会
21	土		
22	⑩		
23	⑪	(秋分の日)	
24	火		
25	水		□一般訪問
26	木		△同和教育指導推進委員会 ○男女平等教育推進委員会
27	金		△都市指導主事会
28	土		
29	⑩		
30	月	○中学校生活指導主任会	

(23日)

10 月

日	曜	市	都
1	火	(都民の日)	
2	水	☐ B 訪問 (大坂上中)	☐ 一般訪問
3	木	○園長・副園長会	△幼稚園担当指導主事連絡協議会
4	金	○新採・六年児・学習指導法研修会	○多摩地区生活指導研究協議会
5	土		△都市指導主事二地区会
6	⑩		
7	月	○生活指導主任会	
8	火	△校長会 ○体育委員会	
9	水	☐ B 訪問 (日野第二中)	☐ 一般訪問 (日野第三中)
10	⑪	(体育の日)	
11	金	☐ A 訪問 (日野第八小)	☐
12	土	○第 1 次就学相談委員会	☐ 同和教育指導推進委員会
13	⑫	☐ 第 1 次就学相談委員会	
14	月	○保健主任会 ○教育相談研修会	
15	火	☐ A 訪問 (潤徳小)	
16	水		☐ 一般訪問
17	木	○教務主任会	○多摩地区健全育成行政連絡会議 ○消費者教育推進委員会
18	金	△教頭会 ○進路指導主任会	
19	土		△都市指導主事会
20	⑬		
21	月	○中学校生活指導主任会 ○教育課程研修会	
22	火	○体力づくりの日	
23	水		☐ 一般訪問
24	木	○心障教育研修会	
25	金	☐ B 訪問 (日野第四中)	
26	土		
27	⑭		
28	月	☐ A 訪問 (日野第一小)	
29	火	(○体力づくりの日予備日)	△都市指導主事会
30	水	☐ B 訪問 (高幡台小)	☐ 一般訪問 (高幡台小)
31	木	☐ 教務主任・生活指導主任宿泊研修会	
(25 日)			

11月

日	曜	市	都
1	金	☐	
2	土		△都市指導主事会二地区会
3	⑩	(文化の日)	
4	⑪		
5	火	△校長会 ○新採・六年児・学習指導法研修会	
6	水	□B訪問(日野第四小)	
7	木	○教育課程研修会	○男女平等教育推進委員会
8	金	□B訪問(日野第二小)	
9	土		△都市指導主事会
10	⑫		
11	月	○生活指導主任会	○帰国子女教育連絡協議会
12	火	□A訪問(第三幼稚園)	
13	水		□一般訪問
14	木	○教務主任会 ○道德教育研修会	△心障担当指導主事連絡協議会
15	金	△教頭会 ○保健主任会 ○進路指導主任会	
16	土		
17	⑬		
18	月	○人権尊重教育研修会	○体育・学校保健・給食担当指導主事 連絡協議会
19	火	□A訪問(日野第七小)	
20	水	□B訪問(平山小)	□一般訪問(平山小)
21	木	○体育委員会 ○六年児・学級経営・学習指導法研修会	△都市指導主事会
22	金	□A訪問(平山中)	
23	⑭	(勤労感謝の日)	
24	⑮		
25	月	○中学校生活指導主任会 ○道德教育研修会	△生活指導担当指導主事連絡協議会
26	火	□A訪問(日野第五小)	
27	水	□B訪問(滝合小)	□一般訪問(滝合小)
28	木		
29	金	○新規採用教諭研修会	○多摩地区生活指導世話人会
30	土		
就学児健康診断			
(24日)			

12月

日	曜	市	都
1	(日)		
2	月	○生活指導主任会 ○保健主任会	
3	火	△校長会 ○体育委員会	
4	水		☐ 一般訪問
5	木	○教育相談研修会	○体育担当指導主事連絡協議会
6	金	○学校保健研修会	△指導主事連絡協議会
7	土	○就学相談委員会	△都市指導主事会
8	(日)	☐ 第2次就学相談委員会	
9	月	○新規採用教諭研修会	
10	火		△都市指導主事会二地区会
11	水	☐ B訪問（仲田小学校）	
12	木	△教務主任会 ☐ 保健主任1日研修会	
13	金		
14	土		
15	(日)		
16	月	○中学校生活指導主任会	
17	火		
18	水		
19	木		○都市指導主事会
20	金	△教頭会 ○進路指導主任会	
21	土		
22	(日)		
23	月		
24	火		
25	水	第二学期終業	
26	木	（冬季休業日始）	
27	金		
28	土		
29	(日)		
30	月		
31	火		
(21日)			

1月

日	曜	市	都
1	(水)	元 旦	
2	木		
3	金		
4	土		
5	(日)		
6	月		
7	火	(冬季休業日終)	○都市指導主事会二地区会
8	水	第三学期始業	
9	木	△校長会	
10	金		
11	土		△都市指導主事会
12	(日)		
13	月	○生活指導主任会 ○保健主任会	
14	火		○男女平等教育推進委員会
15	(水)	(成人の日)	
16	木	□A訪問(東光寺小学校)	
17	金	△教頭会	○多摩地区生活指導研究協議会
18	土		
19	(日)		
20	月	○中学校生活指導主任会 ○新規採用教諭研修会	
21	火		
22	水		
23	木	○教務主任会	△同和教育指導推進委員会
24	金	○進路指導主任会 ○人権尊重教育研修会	△指導主事連絡協議会
25	土		
26	(日)		
27	月	□A訪問(旭が丘小学校)	
28	火	○体育委員会	△都市指導主事会
29	水	□B訪問(第二中学校)	□一般訪問(第二中学校)
30	木		△心障担当指導主事連絡協議会
31	金	□A訪問(百草台小学校)	○消費者教育推進委員会

(20日)

2月

日	曜	市	都
1	土	○中学校科学センター閉校式	
2	①		
3	月	○生活指導主任会	△都市指導主事会二地区会
4	火	△校長会 ○新規採用教諭研修会	△体育・学校保健・給食担当指導科連絡協議会 ○男女平等教育推進委員会
5	水		□一般訪問
6	木	□A訪問（七生中学校）	
7	金		
8	土		△都市指導主事会
9	②		
10	月	○保健主任会	
11	③	（建国記念の日）	
12	水		□一般訪問
13	木	○教育課程届出説明会	
14	金	△教頭会 ○連絡指導主任会	○帰国子女教育指導推進委員会
15	土		
16	④		
17	月	□B訪問（三沢合小学校）	
18	火	○体育委員会	○多摩地区健全育成行政連絡会議
19	水		△生活指導担当指導主事連絡協議会
20	木	○六年時研修会	△都市指導主事会
21	金	○新規採用教諭研修会	
22	土		
23	⑤		
24	月	○中学校生活指導主任会	
25	火		
26	水		
27	木		
28	金		
小学校科学センター閉校式			
(23日)			

3月

日	曜	市	都
1	土		
2	日		
3	月	○生活指導主任会	
4	火	△校長会	
5	水		△同和教育指導推進委員会
6	木		△都市指導主事二地区会
7	金	○園長、副園長会	
8	土		△都市指導主事会
9	日		
10	月	○保健主任会 ○中学校生活指導主任会	△生活指導担当指導主事世話人会
11	火	○体育委員会	
12	水		△指導主事連絡協議会 ○多摩地区指導主事連絡協議会
13	木	○教務主任会	○帰国子女教育連絡協議会
14	金	△教頭会 ○進路指導主任会	△学校訪問協議会
15	土		
16	日		
17	月	△幼稚園修了式	△都市指導主事会
18	火		
19	水		
20	木	△中学校卒業式	
21	金	(春分の日)	
22	土		
23	日		
24	月	△小学校終了式	
25	火	△小学校卒業式 △中学校終了式	
26	水	(春季休業日始)	
27	木		
28	金		
29	土		
30	日		
31	月		

(20日)

日 野 市 教 育 相 談 室

設置の趣旨

日野市に在住する幼児・児童・生徒（高校生を含む）及びその保護者を対象とする教育相談に応ずる。
また、学校の行う教育相談への協力・援助を行い、教育相談活動への促進と充実を図る。

○ 一般教育相談

幼児・児童・生徒の学習、性格、行動、性癖、進路適性等についての相談に応じ、治療や助言・援助を行う。

○ 心身障害教育相談

心身に障害をもつ幼児・児童・生徒についての相談に応じ、障害の種類や程度、及び発達の状況の把握に努め、一人一人の能力を十分に伸長させるために就学相談及び教育措置に関する相談を行う。

○ 生活指導相談

幼児・児童・生徒の問題行動、非行等についての相談に応じ保護者、学校、関係諸機関と協力し、指導、助言、援助を行う。

○ 電話相談

電話による相談に非常勤専任相談員が応じ、指導、助言、援助を行う。

構 成

相 談 室 長 園 田 匠（日野市教育委員会指導室長）

教 育 相 談 員

吉 沢 佐 久 子（日野二小教諭）	土 方 久 枝（仲 田 小教諭）	河 井 英 子（教育委員会）
越 村 あ や 子（日野七小 "）	菊 次 生 子（日野三中 "）	奥 田 良 子（ " ）
川 原 田 和 子（程久保小 "）	川 本 浩 子（日野四中 "）	御 子 柴 万 里 子（ " ）
石 原 八 重 子（旭が丘小 "）	平 向 邦 江（四幼副園長）	渡 辺 満 子（ " ）
		松 延 耕 作（ " ）
		村 田 安 正（ " ）

教育相談研修員

中 村 麗 子（日野一小教諭）	永 野 修 二（日野一小教諭）	長 浜 和 子（日野二小教諭）
海老原真知子（日野二小 "）	宮 本 京 子（日野三小 "）	蜂 谷 道 恵（日野三小 "）
倉 津 節 子（日野四小 "）	佐 藤 操（日野四小 "）	小 島 典 子（日野五小 "）
内 木 志 づ 子（日野六小 "）	安 井 寿 子（日野六小 "）	西 村 正 裕（日野八小 "）
岡 本 美 治（滝 合 小 "）	前 沢 美 佐 江（高幡台小 "）	栞 田 環（南平小 "）
細 川 容 子（南 平 小 "）	吉 川 美 幸（程久保小 "）	内 堀 陽 子（程久保小 "）
加 藤 幸 子（平山台小 "）	川 井 田 和 子（東光寺小 "）	荻 原 洋 子（日野一中 "）
山 田 恵 照（七 生 中 "）	御 子 柴 昭 治（七 生 中 "）	国 信 武 司（平山中 "）
朝 倉 由 美（二 幼 "）	塚 田 千 尋（二 幼 "）	井 上 る り 子（三 幼 "）
佐 々 木 展（三 幼 "）		

担当指導主事 榎本 和男 原田 修一

担当指導係長 土方 重男

顧問 佐藤 正（東京女子体育大学教授）

石島 徳太郎（精神医）

福島 脩美（東京学芸大学教授）

運 営

保護者、又は幼稚園・小中学校を通じての申込により、下記日時に無料で相談に応じる。

- 。 場 所 教育委員会内 日野市教育相談室
- 。 申 込 み 先 教育委員会指導室内 日野市教育相談室
(TEL 85-1111 内線424)
- 。 教育相談事務担当 大日向 均 (月～金 9:00～17:00)
土 9:00～12:00)
- 。 一般教育相談担当 河井 英子 (火・木 10:00～16:00)
相談は 1:00～16:00)
奥田 良子 (火・木 10:00～16:00)
相談は 1:00～16:00)
- 。 心身障害教育相談担当 御子柴万里子 (月・金 9:00～16:00)
渡辺 満子 (月・水 9:00～16:00)
- 。 生活指導相談担当 松延 耕作 (水・金 9:00～16:00)
村田 安正 (月・水 9:00～16:00)
- 。 電 話 相 談 各 相 談 員 (月～金 9:00～14:00)
土 9:00～12:00)

教育相談概要

主訴別件数

種別	対 象 分 類	幼 児	小学生		中学生	高校生	その他	計
			1～3	4～6				
性 格 ・ 行 動 に 関 する もの	登 園 ・ 登 校 拒 否		8	3	10	6	1	28
	集団不適応（内気・いじめ）	2	1	2	2			7
	落 ち つ き な し		1					1
	わ が ま ま		1					1
	家 庭 内 暴 力				1			1
	無 気 力			1	2			3
	非 行 及 び 問 題 行 動			3	3			6
	反 抗 的				1			1

種別	対 象 分 類	幼 児			中学生	高校生	その他	計
			1～3	4～6				
精神・身体に関するもの	ことば（吃音構音障害）	7	1	1				9
	緘 黙		1	1				2
	神経性習癖（夜尿、チック）	3	2	2				7
	自 閉 傾 向	2						2
	精 神 病 、 同 疑				1			1
	神 経 症 、 同 疑					1	1	2
知能・学業	精 神 発 達 遅 滞	2						2
	学 業 不 振			2				2
	進 路		2	1	2			5
その他	知 能 テ ス ト		1	1				2
	し っ け 方	1	1					2
	家 庭 環 境 問 題		1	2			1	4
	そ の 他	1			2		1	4
計		18	20	19	24	7	4	92

。 心身障害児の相談

就 園 相 談	7
---------	---

就 学 相 談		小	中
内 訳	養 護 学 校	5	7
	心 障 学 級	3	7
	普 通 学 級	13	1
	猶 予	2	0
	訪 問 学 級	0	1
	計	23	16

措 置 替 ・ 転 学 相 談		
内 訳	普 通 → 心 障	7
	普 通 → 訪 問	1
	普 通 → 病弱養護	2
	病弱養護 → 普 通	2
	心 障 → 肢体不自由養護	1
	心 障 → 精薄養護	6
	計	19

日野市心身障害教育推進協議会

目 的

この協議会は、日野市から研究委託を受けて、心身障害教育の充実を図るために、心身に障学のある児童・生徒に適切な教育を保障するための教育措置のあり方、教育条件の整備、指導内容・方法の改善に関する研究及び、一般職員の心身障害教育に対する意識・理解を深めるための研修等の諸事業を企画し実践することを目的とする。

事業の内容

この目的を達成するため、協議会会長校に事務局を置き協議会の運営にあたる。主な事業として、次のことを行う。

- (1) 心身障害学級の適正配置に関する将来的構想の検討
- (2) 心身障害児童及び心身障害教育の正しい理解に関する資料の作成
- (3) 心身障害学級の教育計画の作成と教材教具の研究と開発
- (4) 就学相談の充実と相談活動への協力と援助
- (5) 教育措置者の学校への適応状況及び発達状況の追跡調査
- (6) 学校における相談組織と機能の充実

組 織

- (1) この会は、次に掲げる者をもって組織する。

日野市教育委員会教育長、指導室長、指導主事、指導係長、日野市立心身障害学級設置校長、心身障害学級担任、幼小中学校(園)の各校1名以上の教員、教育相談室専任相談員、顧問医

- (2) この会には、次の専門部を置き、それぞれの活動を行う。

- | | |
|-------|---|
| ア 研究部 | 教育措置者の学校への適応状況と発達状況の追跡調査
学校における相談組織と機能の充実を図る研究 |
| イ 研修部 | 心身障害児及び心身障害教育の正しい理解に関する資料の作成に関する研究 |
| ウ 相談部 | 就学相談の充実と相談活動への協力と援助 |

研究委託

今年度は、日野市教育委員会から別紙の内容についての研究を委託されている。

昭和60年 5 月 7 日

日野市中心身障害教育推進協議会

会長 古 田 耿 介 様

日野市教育委員会

教育長 長 沢 三 郎

昭和60年度 日野市中心身障害教育推進 協議会への事業委託について

日野市教育委員会は、心身障害教育の充実を期すために、心身障害教育に関する教育条件の整備、指導内容・方法の検討、教育措置のあり方等の調査研究及び実践活動の諸事業を日野市中心身障害教育推進協議会へ委託する。

記

1. 心身障害学級の適正配置に関する将来的構想の検討

日野市には、知恵遅れ学級が小学校に2校3学級、中学校に2校3学級、情緒障害学級が小学校に1校1学級、病弱学級が小学校に1校1学級、訪問学級が中学校に1校1学級設置されている。

各学校は、学校間及び都立養護学校と緊密に連携を保ちながら心身障害児の教育措置を行っているが、このような現状をふまえ心身障害教育における課題や改善への方策を検討し、日野市としての心身障害学級をどのように配置していったらよいか、その基本構想についての調査研究を願いたい。

2. 心身障害児及び心身障害教育の正しい理解に関する資料の作成

日野市では、国際障害者年の行動計画として、昭和57年2月「日野市の心身障害教育」を作成し、心身障害教育の啓蒙に努めてきた。

心身障害児の教育には、障害の状況を医学及び教育の分野から正しく把握し、心身障害児が障害を克服するための教育的手だてをきめ細かく設計し、心身障害児を援助していくための具体的な活動を推進するとともに、障害の有無を超えて共に生き、社会参加のできる地域づくりを進めることが大切である。

そのためには、すべての児童・生徒及び保護者に対して心身障害児及び心身障害教育に対する正しい理解を深めなければならない。そのための資料を人権尊重の視点に立って作成願いたい。

3. 就学相談の充実と相談活動への協力と援助

日野市では、精神科医、小児科医、心理学者、心身障害教育関係者、心身障害学級設置校校長及び

教諭、それに教育相談員を含めた委員により就学相談委員会を組織している。

そこで、就学相談活動の望ましい方法及び相談者の専門的力量を高めるための研修を推進するとともに、きめ細かな相談活動が継続的に行われるように相談活動への協力と援助を願いたい。

4. 教育措置者の学校への適応状況及び発達状況の追跡調査

就学相談の結果に基づいて教育措置を決定した後、その児童・生徒が学校や学級にどう適応しているか。また、期待する教育効果が得られているか。学校及び学級担任に悩みや問題がないか等、継続的に追跡調査することが大切である。

そこで、日野市公立学校及び都立養護学校等の義務教育機関に在学している心身障害児の適応状況や発達状況を追跡研究し、今後の教育問題に関する相談の充実に資する資料を作成願いたい。

5. 学校における相談組織と機能の充実

各学校では、心身障害児への相談や心身障害児を担任している教師への援助や協力の体制を整えておくことが大切である。

そこで、各学校における心身障害児の教育相談のあり方、担任教師への協力のあり方等について研究・調査するとともに、校内での教育相談充実のために教職員の研修について推進願いたい。

日野市立小学校科学教育センター

1. 名称・所在

日野市立小学校科学教育センターと称し、昭和60年度は、北部センターが日野市立東光寺小学校に、南部センターを日野市立日野第八小学校の校内に設置する。

2. 設立の趣旨

日野市立小学校における科学教育の振興をはかるために設置し、日野市の教員の理科指導の充実向上のための研修と児童の科学的態度・能力・技術の向上に役立つ諸事業を行う。

3. センター長・センター次長・指導員

南部センター		学校名	電話	北部センター		学校名	電話
センター長	澁谷 義一	八 小	91-2411	センター長	志村 桂次	東光寺小	84-6200
次 長	渡邊 孝	"	"	次 長	秋永 悦郎	"	"
主 任	石野日出夫	"	"	主 任	江口 耕一	"	"
指 導 員	太田 价子	"	"	指 導 員	西田 敦子	"	"
"	丸茂 洋子	"	"	"	新井 由人	"	"
"	鈴木 節子	"	"	"	上山美智子	"	"
"	川田 浩子	"	"	"	川井田和子	"	"
"	畑中 隆宏	"	"	"	鈴木 則子	一 小	81-0073
"	大谷 直子	"	"	"	杉本 快枝	"	"
"	吉岡 興村	"	"	"	渋谷 一彦	二 小	81-0070
"	佐久間久美子	潤 徳 小	91-0409	"	綾部 耕基	"	"
"	中村 大	"	"	"	西川 征矢	三 小	81-0101
"	塚本 純子	百草台小	91-0997	"	白石きよみ	"	"
"	長谷川まゆみ	滝 合 小	83-5172	"	次田 圭三	四 小	81-0038
"	長沼 正幸	高幡台小	91-7011	"	清水しずか	五 小	81-0407
"	佐藤 正信	"	"	"	福地 保	"	"
"	森 清晃	南 平 小	92-2021	"	河西 洋子	六 小	81-0366
"	兼島 政邦	"	"	"	安達 美武	"	"
"	川上 卓一	程久保小	92-5014	"	安井 寿子	"	"
"	加藤 タイ	"	"	"	秋山 憲一	七 小	83-3907
"	吉川 郁子	平山台小	92-6381	"	高橋 和代	旭が丘小	83-3733
"	小山 治男	"	"	"	斉藤 弥生	"	"
"	森田 弘文	"	"	"	渡辺 健一	仲 田 小	81-8511
"	斉藤 正子	三沢台小	93-2351				

南部センター		学校名	電 話	北部センター		学校名	電 話
指 導 員	吉川 郁子	平山台小	92-6381	指 導 員	秋山 憲一	七 小	83-3907
"	小山 治男	"	"	"	西村 幸江	"	"
"	白鳥みのる	三沢台小	93-2351	"	岡田寿美子	旭が丘小	83-3733
				"	野村 治子	"	"
				"	渡辺 健一	仲 田 小	81-8511

4. センター員

校 名	南 部 セ ン タ ー											北 部 セ ン タ ー											合 計
	潤 徳 小	平 山 小	八 小	百 草 台 小	滝 合 小	高 幡 台 小	南 平 小	程 久 保 小	平 山 台 小	三 沢 台 小	小 計	一 小	二 小	三 小	四 小	五 小	六 小	七 小	旭 が 丘 小	東 光 寺 小	仲 田 小	小 計	
男	2	3	4	2	2	3	2	5	1	1	25	3	4	0	2	2	2	6	4	0	1	24	49
女	2	0	7	2	0	0	2	0	4	4	21	1	2	3	1	0	2	0	0	5	1	15	36
計	4	3	11	4	2	3	4	5	5	5	46	4	6	3	3	2	4	6	4	5	2	39	85

5. 年間指導日程

南 部 セ ン タ ー				北 部 セ ン タ ー			
回数	月日	内 容	指 導 者	回数	月日	内 容	指 導 者
1	5. 12	開校式	全員	1	5. 11	開校式	全員
2	18	オリエンテーション① Cグループ	川上・森田・大谷	2	18	オリエンテーション(1) (生物・顕微鏡)	渋谷・綾部・高橋 ・斉藤・江口
3	25	オリエンテーション② Bグループ	吉川・小山・石野	3	25	オリエンテーション(2) (多摩動物園)	河西・安井・白石 ・新井
4	6. 1	オリエンテーション④ (多摩動物園昆虫館)	森・兼島・長谷川	4	6. 8	課題研究(1) (化学)	鈴木・杉本・福地 ・清水・西田
5	8	オリエンテーション③ Aグループ	石野・谷・太田 ・鈴木	5	15	課題研究(2)	渡辺・安達・白石 ・新井
6	15	課題研究 ①	A 森 B 佐久間 C 加藤	6	22	自由研究 (テーマ決定) (1)	秋山・高橋・次田 ・斉藤・江口
7	22	課題研究 ②	長沼 鈴木 石野 森田	7	29	自由研究 (計 画) (2)	渡辺・白石・河西 ・安井・西田

回数	月日	内 容	指 導 者	回数	月日	内 容	指 導 者
8	6.29	自由研究 テーマ決定①	森・吉川・川上・石野 太田・長谷川・佐久間 小山・森田・加藤	8	7. 6	自由研究 (実験・観察) (3)	鈴木・杉本・安達 ・次田・江口
9	7. 6	" 計 画②	長沼・兼島・斉藤・中 村・丸茂・大谷・森・ 佐藤・塚本・吉川・川上	9	9. 7	" (") (4)	福地・清水・河西 ・安井・江口
10	9. 7	" 実 験 観 察③	A 長谷川 川上 加藤 斉藤 佐藤	10	14	課題研究 (3)	秋山・渋谷・綾部 ・西田
11	9.21	" " ④	森 長沼 兼島 中村 長谷川	11	10.12	" (4)	福地・清水・白石 ・西川・新井
12	10.12	" " ⑤	佐久間 吉川 森	12	19	自由研究 (実験・観察) (5)	鈴木・杉本・白石 ・秋山・西田
13	10.19	" " ⑥	吉川 斉藤 川上	13	26	" (") (6)	渋谷・綾部・次田 江口
14	10.26	" 原稿の書き方⑦	長沼 石野 兼島	14	11. 2	" (") (7)	河西・安井・安達 渡辺・西田
15	11. 9	" ま と め①	森 川上 佐久間 吉川 長沼	15	16	" (ま と め) (8)	秋山・白石・福地 ・清水・新井
16	11.30	" 原稿完成①	吉川 小山 塚本 石野 森	16	12. 7	" (原稿完成) (9)	全 員
17	12. 7	" 発表準備③	川上 佐藤 中村	17	1.11	" (発表準備) (10)	渡辺・渋谷・綾部 ・江口
18	1.18	研究発表会①	森・長沼・兼島・ 石野・吉川	18	18	研究発表会 (1)	半 数 (どちらかに出る)
19	1.25	" ②	川上・小山・丸茂 ・佐久間・太田	19	25	" (2)	半 数 (どちらかに出る)
20	2.15	閉校式	全員	20	2.15	閉校式・研究発表 (南北合同)	全 員

6. 連絡協議会

委 員 長	日野市教育委員会教育長	長沢 三郎	電話	0425-85-1111
南部センター長	渋谷 義一	日野市立日野第八小学校長		0425-91-2411
次 長	渡辺 孝	" 教頭	" " "	
主 任	石野日出夫	" 教諭	" " "	
北部センター長	志村 桂次	日野市立東光寺小学校長		0425-84-6200
次 長	秋永 悦郎	" 教頭	" " "	
主 任	江口 耕一	" 教諭	" " "	
顧 問	日野市教育委員会指導室長	園田 匠		0425-85-1111
	" 指導主事	榎本 和男	" " "	
	" 指導主事	原田 修一	" " "	

日野市立中学校科学センター

1. 名称・所在

日野市立中学校教育センターと称し、昭和60年度はセンターを日野市立日野第四中学校の校内に設置する。

2. 設立の趣旨

小学校科学センター設立の主旨に準ずる。

3. センター長・センター次長・指導員

センター長	日野市立日野第四中学校長	立川 泰司
次長	教頭	安谷 功
主任	教諭	稲川 正義
指導員	高崎 郷二（一中）	岡 悦子（二中）
	菅野 剛（七生中）	辰己 恵子（三中）
	橋本 貴幸（三沢中）	谷 丈太郎（大坂上中）
	富士 堯（二中）	前田 博（四中）
		福地 和子（平山中）

4. センター生

日野市立中学校生徒 定員40名（各校5名程度）

5. 指導計画（年間10回とし、6月より、原則として土曜日の午後とする。）

第1回	6月 8日	開校式	第6回	8月	校外指導
第2回	6月15日	講座1	第7回	8月	〃
第3回	6月22日	講座2	第8回	9月 7日	講座4
第4回	7月 6日	講座3	第9回	10月12日	校外指導
第5回	7月13日	一斉指導	第10回	2月 1日	研究発表・閉校式

6. 中学校科学センター運営委員会

委員長	日野市教育委員会教育長	長 沢 三 郎
委 員	センター長	立 川 泰 司
	次長	安 谷 功
	主任	稲 川 正 義
	高崎 郷二（一中）	富士 堯（二中）
	辰己 恵子（三中）	大島 幸雄（四中）
	橋本 貴幸（三沢中）	谷 丈太郎（大坂上中）
		菅野 剛（七生中）
		柏木 実（四中）
		福地 和子（平山中）
顧 問	日野市教育委員会指導室長	園田 匠
	指導主事	榎本 和男
		原田 修一

昭和60年度 日野市立小・中学校使用教科書

1. 小 学 校

国 語 科	「小学国語」	(日 本 書 籍)
	「小学書き方」	(日 本 書 籍)
社 会 科	「新しい社会」	(東 京 書 籍)
	「小学校社会科地図帳」	(帝 国 書 院)
算 数 科	「小学校算数」	(学 校 図 書)
理 科	「新しい理科」	(東 京 書 籍)
音 楽 科	「新しい音楽」	(東 京 書 籍)
図 画 工 作 科	「図画工作」	(日本文教出版)
家 庭 科	「新しい家庭」	(東 京 書 籍)

2. 中 学 校

国 語 科	「国 語」	(光 村)
	「改訂中国書写」	(教 育 出 版)
社 会 科	「社会科中学新地理」	(帝 国 書 院)
	「中学社会 歴史的分野」	(日 本 書 籍)
	「改訂新しい社会 公民」	(東 京 書 籍)
	「中学校社会科地図」	(帝 国 書 院)
数 学 科	「改訂新しい数学」	(東 京 書 籍)
理 科	「改訂新しい科学(1・2分野)」	(東 京 書 籍)
音 楽 科	「改訂中学音楽」	(教 育 出 版)
	「改訂中学生の器楽」	(教 育 出 版)
美 術 科	「美 術」	(日本文教出版)
保 健 体 育 科	「改訂中学保健体育」	(学 習 研 究 社)
技 術 家 庭 科	「技術・家庭上・下」	(開 隆 堂)
外 国 語 科	「THE NEW CROWN ENGLISH SERIES」	(三 省 堂)

昭和 60 年 度 指 導 主 事 分 担 表

日野市教育委員会

指導主事 榎 本 和 男
" 原 田 修 一

1. 校種別分担

◦ 幼 雅 園 教 育 — 原 田 ◦ 小 学 校 教 育 — 原 田 ◦ 中 学 校 教 育 — 榎 本

2. 教科・領域別分担

◦ 国 語 (書 写) — 榎 本	◦ 社 会 — 原 田	◦ 算 数 ・ 数 学 — 原 田
◦ 理 科 — 原 田	◦ 音 楽 — 原 田	◦ 図 工 ・ 美 術 — 原 田
◦ 体 育 ・ 保 健 体 育 — 榎 本	◦ 家 庭 ・ 技 術 家 庭 — 榎 本	◦ 外 国 語 — 榎 本
◦ 道 徳 — 原 田	◦ 生 活 指 導 — 榎 本	◦ 特 別 活 動 — 原 田
◦ 学 校 行 事 等 — 榎 本	◦ 学 校 経 営 — 榎 本	◦ 教 育 相 談 — 原 田
◦ 心 障 教 育 — 原 田	◦ 視 聴 覚 教 育 — 榎 本	◦ 図 書 館 教 育 — 原 田
◦ 学 校 給 食 — 榎 本	◦ 保 健 教 育 — 原 田	◦ 安 全 教 育 — 榎 本
◦ 同 和 教 育 — 原 田	◦ 公 害 教 育 — 原 田	◦ 進 路 指 導 — 榎 本
◦ 幼 児 教 育 — 原 田	◦ 学 校 事 務 — 榎 本	◦ 心 障 相 談 — 原 田
◦ 帰 国 子 女 教 育 — 原 田	◦ 男 女 平 等 教 育 — 榎 本	◦ 消 費 者 教 育 — 原 田

3. 施設・行事等分担

◦ 教 育 相 談 室 — 原 田	◦ 心 障 学 級 — 原 田	◦ 科 学 セ ン タ ー — 原 田
◦ 教 科 書 セ ン タ ー — 榎 本	◦ 文 化 行 事 — 榎 本	◦ 体 育 行 事 — 榎 本
◦ 修 学 旅 行 — 榎 本	◦ 移 動 教 室 — 榎 本	◦ 日 野 市 め ぐ り — 原 田

4. 指導事務分担

- | | | |
|----------------------|---------------------|----------------|
| ◦指導部・都研 — 榎本 | ◦研究員
◦教育開発委 — 榎本 | ◦教育課程届出 — 原田 |
| ◦研究集録 — 原田 | ◦学校訪問 — 榎本 | ◦教材届出承認 — 原田 |
| ◦遠足修学旅行
届出 — 榎本 | ◦調査資料収集 — 榎本 | ◦指導要領 — 原田 |
| ◦まどべ編集発行 — 榎本 | ◦月行事予定 — 原田 | ◦教育実習 — 榎本 |
| ◦授業研究 — 原田 | ◦都・研究奨励 — 榎本 | ◦社会科副読本 — 原田 |
| ◦教育課程
年間指導計画 — 原田 | ◦就学・措置替
指導 — 原田 | ◦教科書採択 — 原田 |
| ◦文部省中央研修 — 榎本 | ◦帰国子女教育
推進校 — 原田 | ◦健康づくり推進校 — 榎本 |
| ◦教育課程編集
資料作成 — 原田 | | |

5. 涉外分担

- | | | |
|-----------------------|-------------|---------------------|
| ◦校長会 — 榎本 | ◦教頭会 — 原田 | ◦教務主任会 — 原田 |
| ◦生活指導主任会 — 榎本 | ◦保健主任会 — 原田 | ◦進路指導主任会 — 榎本 |
| ◦都市指導主事会 — 榎本 | ◦日野市教研 — 原田 | ◦第2地区
指導主事会 — 原田 |
| ◦心身障害教育
推進協議会 — 原田 | ◦体育委員会 — 榎本 | |

6. 研修等分担

- | | | |
|--------------------|---------------------|---------------|
| ◦学校経営研修会 — 榎本 | ◦新規採用
教諭研修会 — 榎本 | ◦性教育研修会 — 榎本 |
| ◦学習指導研修会 — 榎本 | ◦実技研修会 — 榎本 | ◦教育相談研修会 — 原田 |
| ◦幼児教育研修会 — 原田 | ◦人権尊重
教育研修会 — 原田 | ◦心障教育研修会 — 原田 |
| ◦教育課程研修会 — 原田 | ◦学校保健研修会 — 原田 | ◦事務職員研修会 — 榎本 |
| ◦六年時教諭
研修会 — 榎本 | ◦学級経営研修会 — 原田 | ◦道德教育研修会 — 原田 |

昭和60年度 日野市教育委員会

名	称	小学校長	中学校長	小学校教頭	中学校教頭
1	教 務 主 任 会	◎伊 藤 智 章	川 崎 昭 三	長谷川 鉄 夫	高 木 宏 史
2	生 活 指 導 主 任 会	村 松 徹 二	◎立 川 泰 司	高 橋 立 身	市 塚 正 史
3	進 路 指 導 主 任 会		◎降 旗 経 雄		
4	保 健 主 任 会	◎大 島 昭 子 和 田 国 平	降 旗 経 雄	古 屋 光 男	
5	就 学 相 談 委 員 会	◎蓮 地 守 一 古 田 田 一 上 山 山 郎	長谷川 辰 美 山 本 保	小 形 裕 小 林 繁 金 田 義 田 直	
6	心 身 障 害 教 育 会 推 進 委 員 会	◎古 蓮 田 守 介 上 運 地 田 一 上 上 山 山 郎	長谷川 辰 美 山 本 保	小 小 形 裕 小 小 林 繁 金 田 義 田 直	白 田 重 孝
7	科学教育センター	◎渋谷 義 一 ◎志 村 桂 次	◎立 川 泰 司	渡 辺 孝 秋 永 悦 郎	安 谷 功
8	教 育 課 程 編 成 会 資 料 作 成 委 員 会	◎松日 楽 敬 治		内 藤 原 平 山 穀 渡 山 孝 小 幡 建	
9	小学校社会科副読本 改 訂 委 員 会	◎篠 宮 忠 男		渡 辺 孝	
10	中学校社会科副読本 改 訂 委 員 会				
11	授業研究連絡協議会	◎石 井 三 士 野 口 昭 平	小 林 節 夫	波多野 坦	綿 引 正 己
12	音 楽 鑑 賞 教 室 会 運 営 委 員 会	上 山 洋 一 郎	◎降 旗 経 雄	富 田 洋 子	
13	小 中 水 泳 記 録 会	◎山 口 武 彦 志 村 桂 次	◎山 本 保	内 藤 康 小 幡 建 有 泉 徹 平 山 郎 福 地 穀 藤 田 保 小 田 彦 幡 孝 彦 建	小 高 辰 雄
14	日 光 移 動 教 室 会 運 営 委 員 会	◎津 野 田 昭 二 山 野 口 武 彦 野 口 昭 平 篠 宮 忠 男		有 泉 徹 平 山 郎 福 地 穀 藤 田 保 小 田 彦 幡 孝 彦 建	
15	体 育 委 員 会	◎山 口 武 彦 志 村 桂 次		内 藤 康 小 幡 建	
16	中 学 校 修 学 旅 行		◎山 本 保		
17	まどべ編集委員会	◎大 熊 喜 一		黒 沢 源 太 郎	

委嘱事業等担当校長、教頭

◎……会長・委員長

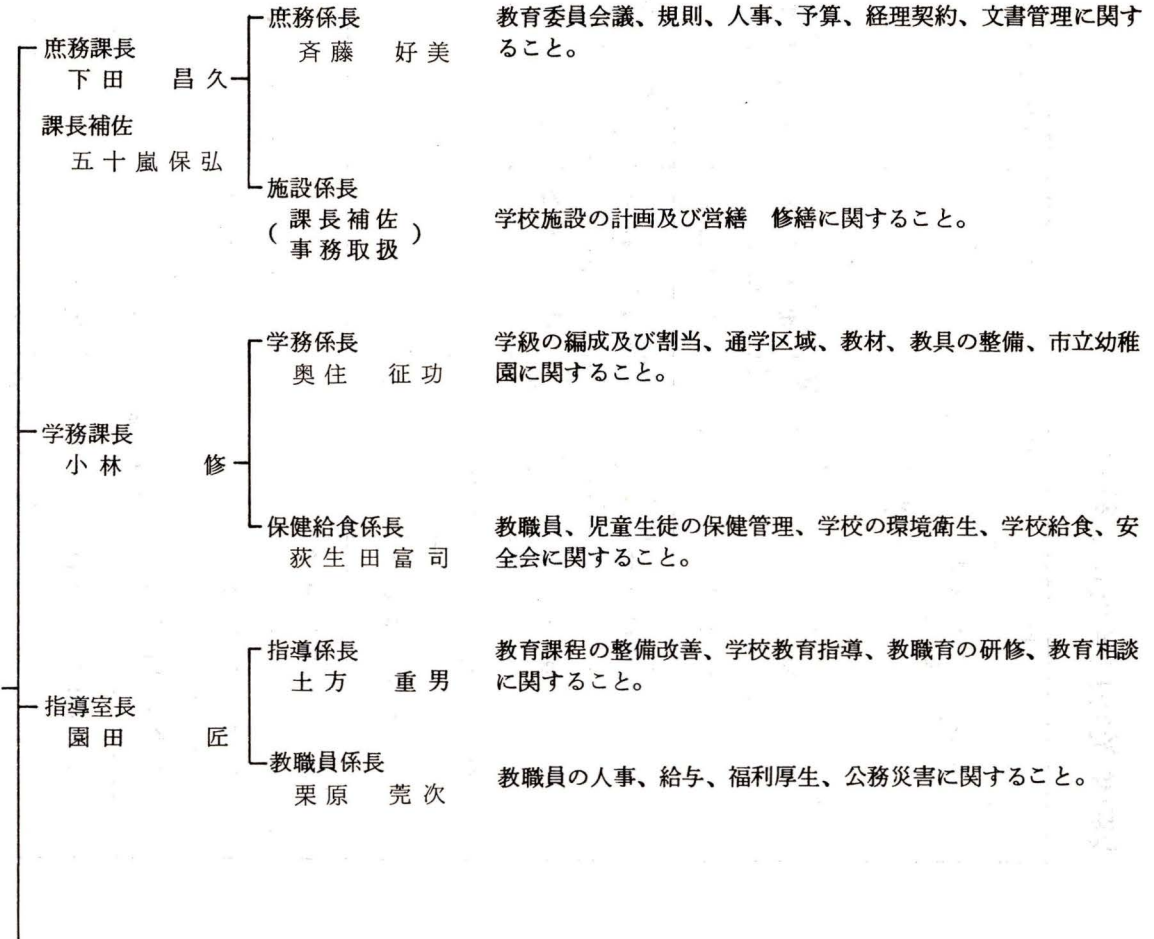
名 称	小学校長	中学校長	小学校教頭	中学校教頭
18 教科用図書採択 調査委員会	◎古谷大嶽 伊藤山和 大嶽山和 谷藤熊谷 山口洋昭 熊谷武洋 昭敏二 太郎平子 敏二			
学 校 給 食 会	◎鈴木 村松	奥村節生	有泉徹郎	
防 災 対 策 委 員 会		小林節夫		
日野市教育研修会	◎古田耿介 石井三士	◎降旗 経雄	高橋立身 増賀従男	清水春海
学 校 保 健 会	◎大島昭子 和田国平	降旗 経雄	古尾光男	
幼 雅 園	◎津野田 昭二			
公民館運営審議会	黒沢保雄			
図書館運営審議会	大熊喜一			
社会教育委員会	古谷洋太	立川泰司		
青少年問題協議会	古谷洋太 村松徹二	山本 保 立川泰司		
環境週間行事運営委員		奥村節生		
市 P 協	黒古鈴木 沢谷木 保洋敏 雄太郎	山本 保 千葉廣志		
書 初 展	◎田中光穂	奥村節生		
小 体 連	◎津野田 昭二			
中 体 連				◎古屋登吾
市教職員互助会 副理 理事 会長	古谷洋太		上辻敏雄	

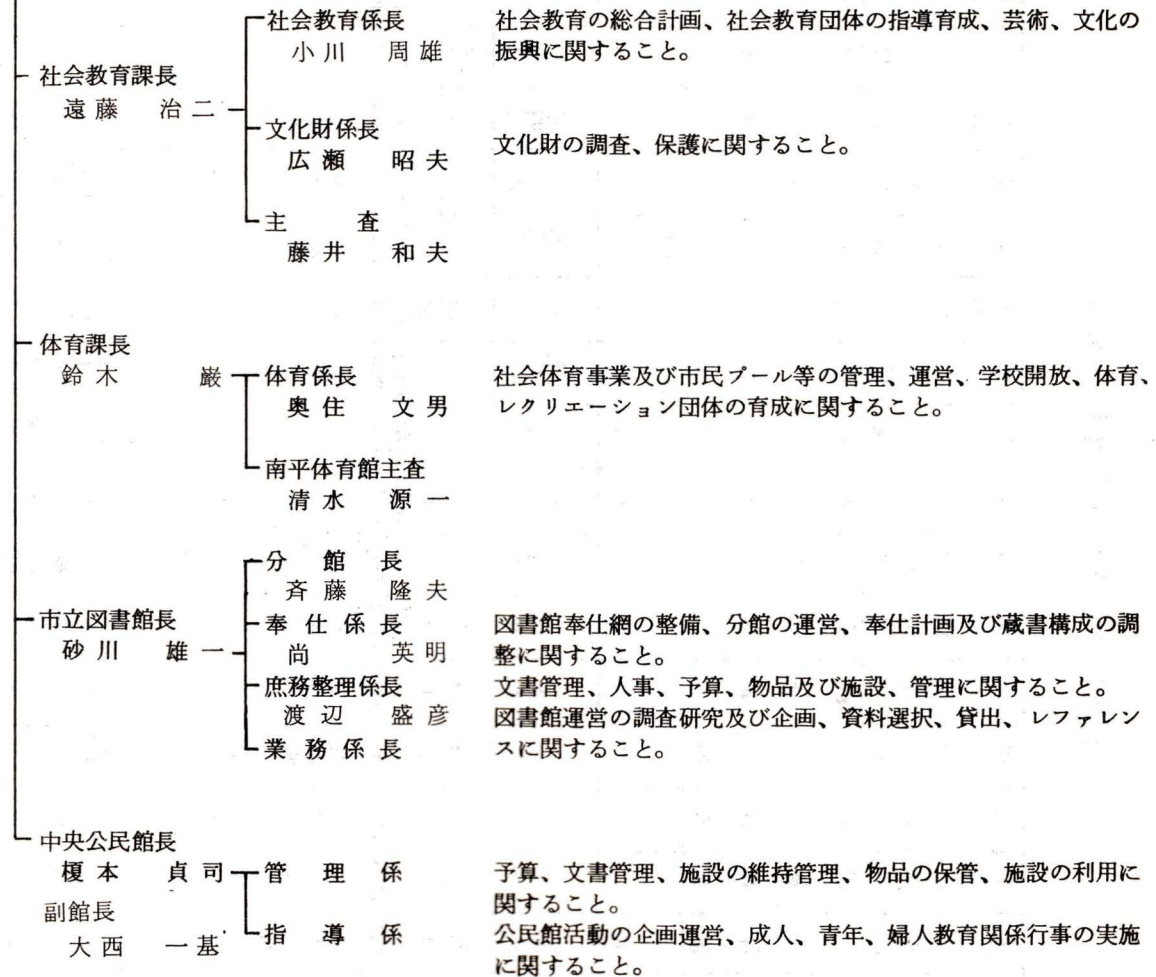
日野市教育委員会事務局組織

教育委員会

委員長
森久保 敏 治
職務代理
池 尾 テル子
委員
肥 後 和 夫
委員
野 呂 昭 朗
委員
長 澤 三 郎

教育長
長 澤 三 郎
教育次長
—— 小 山 哲 夫





日野市公立学校・幼稚園一覧表

学校名	第一幼稚園	第二幼稚園	第三幼稚園	第四幼稚園	第五幼稚園	第六幼稚園	第七幼稚園	第一小学校	第二小学校	第三小学校	第四小学校	第五小学校	第六小学校	潤徳小学校	平山小学校	第七小学校	第八小学校
校(園)長名	上山洋一郎	伊藤智章	古谷洋太	田中光穂	渋谷義一	津野田昭二	石井三士	古谷洋太	篠宮忠男	古田耿介	田中光穂	上山洋一郎	石井三士	黒沢保雄	伊藤智章	和田国平	渋谷義一
学級数	五	三	三	二	二	二	二	一九	二四	特普 三九	一七	特普 二一	一九	一五	二一	一九	一九
児童数	一六八	八一	九三	六七	六七	六九	四九	六九〇	九六三	七二三	六〇九	八六〇	七三八	五四八	七六〇	七二八	七六八
教員数	七	五	五	四	四	四	四	二九	三一	三一	二四	三一	二七	二三	二八	二六	二七
電話	81 4124	91 4125	81 7127	83 3903	92 0423	92 6330	86 3770	81 0073 0061	81 0070 0851	81 0101 0850	81 0038 3076	81 0407 0445	81 0366 4686	91 0409 0410	4123 0512	83 3907 3908	91 2411 2412
所在地	多摩平四一三	平山四一五―四	日野本町二―一四―一	石田四三一―六	三沢一七三	程久保八七六―二	旭が丘二―四一	日野本町二―一四―二	東豊田二―一四―一	日野台二―一―一	石田四三〇	多摩平六―二二―一	多摩平三―二二	高幡四〇三	平山四一八―六	神明三―二	三沢二〇〇
交通機関	中央線豊田駅下車、徒歩十分	京王線平山城址公園下車、徒歩十分	中央線日野駅下車、徒歩七分	口、高幡不動駅より京王バス四小前下車、徒歩四分 日野駅より都バス日野橋南詰下車徒歩七分、立川駅北	京王線高幡不動駅下車、徒歩十二分	高幡不動駅下車、百草団地行バス高幡台団地下	車、徒歩五分 中央線豊田駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩六分	京王線南平駅下車、徒歩十五分 中央線豊田駅下車、徒歩十分	京王バス日野自動車前下車、徒歩七分 中央線日野駅下車、徒歩十五分	北口、高幡不動駅より京王バス四小前下車、一分 日野駅より都バス日野橋南詰下車、徒歩七分。立川駅	中央線日野駅下車バス日野自動車前下車 中央線豊田又は日野駅下車、バス日野五小前、	中央線豊田駅北口下車、徒歩十二分 京王バス小西六裏門下車、三分	京王線高幡不動駅下車、東北へ徒歩五分	京王線平山城址公園下車、徒歩八分	中央線日野駅下車、徒歩十五分	京王線高幡不動駅下車、徒歩十五分

昭和60年4月8日現在

百草台小学校	滝合小学校	高幡台小学校	南平小学校	程久保小学校	旭が丘小学校	平山台小学校	東光寺小学校	三沢台小学校	仲田小学校	第一中学校	第二中学校	七生中学校	第三中学校	第四中学校	三沢中学校	大坂上中学校	平山中学校
村松徹二	野口昭平	津野田昭二	鈴木敏郎	大島昭子	大熊喜一	蓮池守一	志村桂次	松日榮敬治	山口武彦	奥村節生	小林節夫	山本保	千葉広志	立川泰司	降旗経雄	長谷川辰美	川崎昭三
一八	二四	一七	一九	一四	二〇	特普 一五	一四	一五	一二	二〇	二三	特普 二八	二八	二二	二二	特普 二二	二二
六四七 二五	九三 三一	六四二 二五	七〇五 二七	五〇四 二二	八三 二八	五三 一四五 二五	五〇四 二二	五六四 二三	三八一 一九	八七〇 三六	九四五 四〇	七七九 一八 三四	二六九 四八	九五 四〇	八八八 三九	八七三 一四 四一	九一三 三八
91 0997 0998	83 5172 5173	91 7011 7012	92 2021 2022	92 5014 5015	83 3733 3748	92 6381 6382	84 6200 6201	93 2351 2352	81 8511 8512	81 0009 0261	81 0056 0262	91 0174 0175	91 2228 2229	83 3905 3906	92 5017 5018	83 9755 9756	93 3015 3016
百草九九九	西平山二一三一	程久保五五〇	南平四一八一一	程久保五〇四一一	旭が丘五二一一	平山二一一一	新町三一四一一	百草八九六一	日野本町六一七四	日野本町七一七七	多摩平四一五二三	南平六一七一	程久保六五〇	旭が丘二四二二	三沢二五	大坂上四一七	平山四二一一三
高幡不動駅より百草団地行バス百草センター下	京王線平山城址公園、長沼駅下車	徒歩十分 京王線高幡不動駅から百草団地行又は桜ヶ丘行	京王線南平駅下車、徒歩十二分	高幡不動駅より多摩動物公園行バス中程久保下	中央線豊田駅下車、徒歩二十五分	京王線平山城址公園下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車豊田方面徒歩十三分	京王線百草駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩	中央線日野駅下車立川方面、徒歩十分	中央線豊田駅北口下車、徒歩十分	京王線南平駅下車、徒歩七分	徒歩七分 高幡不動駅より百草団地行バス高幡台団地下車	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	京王線高幡不動駅又は百草園駅下車、徒歩十二分	中央線日野駅下車、徒歩十二分	京王線南平駅、平山城址公園駅下車徒歩八分 中央線豊田駅下車、徒歩十八分

管理運営規則第八条

	学 校 名	教 務 主 任	生 活 指 導 主 任	保 健 主 任	進 路 指 導 主 任
1	日 野 一 小	香 川 善 平	武 内 忠 雄	中 村 麗 子	
2	日 野 二 小	石 岡 信 行	関 根 敦 子	菊 地 直 子	
3	日 野 三 小	上 田 憲 二	松 本 順 子	伊 佐 弘 江	
4	日 野 四 小	田 森 脩 詮	山 下 法 昭	佐 野 純 子	
5	日 野 五 小	笠 井 祐 子	石 川 忠 男	小 島 典 子	
6	日 野 六 小	依 田 逸 夫	遠 田 弘	高 橋 悦 子	
7	潤 徳 小	中 村 大	小笠原 久 雄	松 井 玉 江	
8	平 山 小	沢 田 末 吉	諏 訪 英 樹	松 尾 けさみ	
9	日 野 七 小	秋 山 憲 一	長 田 正 夫	三 村 礼 子	
10	日 野 八 小	末 継 逸 夫	畑 中 隆 宏	鈴 木 節 子	
11	百 草 台 小	高 倉 教 行	向 節 雄	佐々木 加津子	
12	滝 合 小	宮 川 征三郎	増 田 潔	逸 見 黎 子	
13	高 幡 台 小	長 沼 正 幸	坂 井 ミチ子	金 野 峰 子	
14	南 平 小	進 真 郎	片 岡 千寿子	南 沢 芳 子	
15	程 久 保 小	土 方 邦 男	加 藤 タ イ	吉 野 美智子	
16	旭 が 丘 小	渡 辺 馨 鴻	石 井 和 子	奈 良 悦 子	
17	平 山 台 小	古 山 郁 夫	高 浜 富 子	上 篠 ゑみ子	
18	東 光 寺 小	江 口 耕 一	西 田 敦 子	本 多 和 美	
19	三 沢 台 小	間 瀬 静 夫	後 藤 楚 子	中 島 寿 子	
20	仲 田 小	渡 辺 健 一	雨 宮 充	清 水 妙 子	
1	日 野 一 中	古 厩 清 史	村 田 志 信	鈴 木 美代子	松 原 清
2	日 野 二 中	池 田 友 彦	中 根 勉	寺 田 年	中 沢 昭 和
3	七 生 中	天 野 敏 明	大 谷 良 光	近 藤 康 代	辻 野 良 子
4	日 野 三 中	山 本 康 郎	橘 陽 臣	市 川 佐和子	松 沢 茂 久
5	日 野 四 中	吉 見 光 雄	鈴 木 浩	高 橋 恵 子	鈴 木 清 司
6	三 沢 中	橋 本 貴 幸	佐 藤 至 正	島 田 きく子	宮 下 文 夫
7	大 坂 上 中	野 沢 昭 兆	加 藤 常 光	神屋敷 和 子	大 山 正 昭
8	平 山 中	三 浦 義 次	佐 藤 恒	鈴 木 由紀子	紺 野 栄治郎

に基づく主任一覧表

学 年 主 任					
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
品 田 久美子	伊 山 節 雄	長 沢 佳津子	長 門 彰	畑 野 元 一	井 尻 武 子
吉 澤 佐久子	斉 藤 八重子	山 浦 幸 子	比 嘉 道 子	大 竹 三 郎	木 内 秀 雄
久保田 由 子	市 川 純 子	金 子 直 子	長 沼 良 子	鈴 木 利恵子	八 木 文 夫
久 保 起 世	宗 近 孝 子	田 森 傍 詮	藤 岡 和 子	小 柳 利栄子	会 田 尚 子
桑 沢 悦 子	山 本 千 秋	後 藤 絢 子	岩 尾 ふ き	和 田 常 雄	山 田 久 代
西 川 朝 子	小 松 美代子	小坂橋 五佐男	安 達 美 武	式 守 保 幸	窪 田 正 子
秋 山 照 子	小 林 浜 子	西 山 正 文	小笠原 久 雄	佐久間 久美子	石 川 輝 子
廣 島 桂 子	星 野 友 子	中 島 志 郎	菊 池 和 子	末 次 久 利	田 美枝子
渡 邊 か ほ	小 林 弘 子	榎 圭 子	伊 勢 恒 二	川 上 美穂子	榊 原 一 男
窪 田 弥 生	安 西 利 江	末 継 逸 夫	川 田 浩 子	丸 茂 洋 子	太 田 价 子
霜 島 幸 子	宇 野 有斐子	星 野 正 治	石 黒 芳 子	玉 置 順 子	高 橋 茂 子
来 間 志 信	野 口 すみ子	高 橋 孝 子	増 賀 久 子	大 上 琢 磨	今 野 すみ子
大 鳥 ルミ子	福 田 信 子	前 沢 美佐江	木 下 淑 子	富 田 康 司	野 口 真佐子
尾 上 章 子	関 恒 夫	兼 島 政 邦	泉 芳 夫	片 岡 千寿子	富 間 千寿子
河 野 千 秋	吉 野 美智子	鷹 尾 富貴江	井 浦 弘	上 野 森 良	岡 島 政 吉
高 橋 和 代	野 村 治 子	赤 井 光 子	前 川 せ っ	金 畑 昭 正	石 原 八重子
小 島 義 範	上 篠 めみ子	溝 江 恵美子	加 藤 暉 子	古 山 郁 夫	森 孝
川井田 和 子	浅 野 昭 雄	小 林 妙 子	入 倉 美恵子	佐 藤 カヨ子	内 田 美代子
成 井 朝 雄	鉄炮塚 克 子	内 藤 洋 子	後 藤 楚 子	柳 沼 敏 男	斉 藤 正 子
志 茂 正 夫	小 山 富 子	吉 田 弘	品 田 敏 男	雨 宮 充	渡 辺 健 一
河 手 達 治	清 水 崇 仁	榊 原 紀 子			
内 山 芳 雄	小 川 涉 三	野 村 文 男			
菅 野 剛	岩 木 翼 翼	白 井 攻			
福 田 慶 罔	大 宅 寛	天 野 正 治			
鈴 木 良 身	大 島 幸 雄	稲 川 正 義			
鈴 木 邦 吉	田 熊 裕	新 井 教 旦			
真 柴 哲 子	村 上 敏 雄	六 本 木 茂			
設 楽 益 穂	阿 部 晃 一	北 原 景 昭			

日野市立小・中学校

	学校 担当	日野一小	日野二小	日野三小	日野四小	日野五小	日野六小
1	研究・研修主任	伊山 節雄	小笠原本江	井上 文子	和田実千代	曾我 哲夫	式守 保幸
2	人権尊重教育担当	○中村 麗子	○渋谷 一彦	○金子 直子	○飯田 国代	○山田 久代	○遠田 弘
3	国語科主任	三浦理恵子	吉川 都子	岩本 典子	宗近 孝子	安達 江美	小松美代子
4	社会科主任	香川 善平	木内 秀雄	田 佳伸	田中 延子	岩本 高明	遠田 弘
5	算数・数学科主任	伊山 節雄	川島 弘己	佐々木 厚	小柳利恵子	石川 忠男	古川 明子
6	理科主任	鈴木 則子	渋谷 一彦	西川 征矢	次田 圭三	和田 常雄	石川 敏夫
7	音楽科主任	村上 悦子	板野 宏	伊藤 直美	斉藤富美子	山田 只夫	越智 忠司
8	図工・美術科主任	山本 雅子	宮崎 美穂	吉田 智恵	金子 光雄	高篠 雅子	武蔵希久子
9	体育・保健体育科主任	足立 博志	斉藤八重子	猪俣 幸雄	高田 光夫	小暮 彰	石川 繁夫
10	技術家庭科(男)主任						
11	技術家庭科(女)主任	山岸 明子	長浜 和子	鈴木利恵子	会田 尚子	本保 陽子	難波 和子
12	外国語(英)科主任						
13	道徳主任	中村 麗子	小笠原本江	金子 直子	田森 脩詮	山田 久代	五十嵐一郎
14	特別活動主任	畑野 元一	大竹 三郎	長沼 良子	飯田 国代	小暮 彰	上條かなえ
15	学校行事主任	井尻 武子	木内 秀雄	上田 憲二	飯田 国代	曾我 哲夫	越智 忠司
16	視聴覚主任	永野 修二	板野 宏	市川 純子	次田 圭三	伊東 学	式守 保幸
17	学校図書館主任	中村 麗子	茅野とめ子	岩本 典子	宗近 孝子	針田 和子	依田 逸夫
18	給食主任	井尻 武子	比嘉 道子	恒松 道子	会田 尚子	江口 悦子	難波 和子
19	安全教育主任	武内 忠雄	赤松 紀子	八木 文夫	久保 起世	秋野美津子	遠田 弘
20	養護主任	佐藤ヒサ子	菊地 直子	伊佐 弘江	佐野 純子	小島 典子	高橋 悦子
21	管財主任	藤本 新八	大久保 正	上辻 敏雄	古河 哲三	須藤 茂	渡辺 英夫
22	事務担当	○藤本 新八	○大久保 正	○三輪佐和子	○古河 哲三	○須藤 茂	○渡辺 英夫

主任（代表）一覧表

○は担当

潤 徳 小	平 山 小	日野七小	日野八小	百草台小	滝 合 小	高橋台小	南 平 小
石川 耀子	石郷岡日出子	小杉 博司	丸茂 洋子	椿坂 俊夫	石川 成子	三浦 仁	券島 政邦
○小笠原久雄	○沢田 末吉	○尾崎みち子	○畑中 隆宏	○玉置 順子	○田辺 友子	○坂井ミチ子	○片岡千寿子
宇田川清和	菊池 和子	小木美智子	丸茂 洋子	高倉 教行	矢野百合子	国領美那子	渡辺 キヨ
渋江 美雪	星野 友子	長田 正夫	柴田美智子	椿坂 俊夫	今野すみ子	富田 康司	佐藤 智子
伊沢 裕一	末次 久利	金山 邦子	菊地 義光	宇野有斐子	平島 孝史	須藤 貞雄	菊地紀久江
中村 大	奥山 優	秋山 憲一	太田 价子	塚本 純子	長谷川まゆみ	長沼 正幸	森 清晃
飯島 睦子	福田 栄子	山本 邦子	桜川 順子	内山美知子	川村 史代	安藤美佐子	立花せつ子
古谷 孝太	沢田 末吉	伊東 学	丸 カズ子	高尾三枝子	岡本 義治	人見 明美	関 賀穂留
西山 正史	平良 格	榊原 一男	篠田 幹男	浅沼 節子	林 亀三	小原 良雄	駒井 隆治
石川 耀子	若松富紀子	三村 礼子	樋口江以子	志茂 和枝	石川 成子	川原田和子	高橋 智子
小笠原久雄	田 美枝子	尾崎みち子	末継 逸夫	向 節雄	丹羽 亮典	大鳥ルミ子	片岡千寿子
石川 耀子	小島 清	渡邊 かほ	小林 互	村松 幹雄	小林 和子	富田 康司	関 恒夫
中村 大	沢田 末吉	秋山 憲一	末継 逸夫	村松 幹雄	宮川征三郎	長沼 正幸	當間 糸子
佐久間久美子	三谷 真弓	○小杉 博司	篠田 幹男	星野 正治	丹羽 亮典	佐藤 正信	泉 芳夫
品田 楨子	若松富紀子	○高橋真知子	田中 静江	高尾三枝子	増賀 久子	三浦 仁	阿部二三子
小林 浜子	福田 栄子	楨 圭子	樋口江以子	宇野有斐子	田辺 友子	服部 都	高橋 智子
飯島 睦子	廣島 桂子	○伊東 茂	栗原 典子	高倉 教行	来間 志信	坂井ミチ子	片岡千寿子
松井 玉江	松尾けさ美	○小島 幸代	石塚 晶子	佐々木加津子	大神田美津江	金野 峰子	南沢 芳子
佐藤 裕之	橘田 晟	○藤井 悦子	吉岡 興村	志波 恵子	横田 昭子	西川 芳子	原 草苗
○佐藤 裕之 土方 聖子	○橘田 晟	○藤井 悦子	○吉岡 興村	○志波 恵子	○堀辺 美子	○西川 芳子	○原 草苗

	学校 担当	程久保小	旭が丘小	平山台小	東光寺小	三沢台小	仲田小
1	研究・研修主任	上野 森良	馬場 富男	信夫 清彦	川井田和子	斉藤 正子	馬場 延子
2	人権尊重教育担当	加藤 タイ	渡辺 警鴻	高浜 嘗子	川井田和子	斉藤 正子	雨宮 充
3	国語科主任	安藤みち子	柴 順子	小島 義範	本多 和美	野沢 紀代	土方 久枝
4	社会科主任	吉野美智子	佐々木玄吾	古山 郁夫	内田美代子	中島 寿子	吉田 弘
5	算数・数学科主任	石川 茂子	馬場 富男	高浜 嘗子	入倉美恵子	上田美知子	小俣 靖江
6	理科主任	加藤 タイ	高橋 和代	古川 郁子	沢山 茂夫	柳沼 敏男	渡辺 健一
7	音楽科主任	馬場美津子	伊東 春子	村田邦智子	東 絵里子	土師 慶子	保坂たか子
8	図工・美術科主任	藤沢由美子	加納 博之	北野 義昭	中尾 公治	安室 清治	鶴田久美子
9	体育・保健体育科主任	川上 卓一	金畑 悦子	森 孝	加賀美綾子	藤井 徹郎	志茂 正夫
10	技術家庭科（男）主任						
11	技術家庭科（女）主任	鷹尾富美子	奈良 悦子	洲上かおる	林 茂子	青山真紀子	佐藤玲玲子
12	外国語（英）科主任						
13	道徳主任	上野 森良	石原八重子	上篠あみ子	川井田和子	斉藤 正子	雨宮 充
14	特別活動主任	岡島 政吉	斉藤 弥生	溝江恵美子	浅野 昭雄	安室 清治	佐藤 玲子
15	学校行事主任	川上 卓一	野村 治子	古山 郁夫	沢山 茂夫	間瀬 静夫	渡辺 健一
16	視聴覚主任	加藤 タイ	野村 治子	小山 治男	中尾 公治	藤井 徹郎	吉田 弘
17	学校図書館主任	安藤みち子	志村 道子	小島 義範	小林 妙子	川井 尚美	小俣 靖江
18	給食主任	西森 恵子	花野 知子	赤松 昭子	林 茂子	土師 慶子	小口 澄代
19	安全教育主任	井浦 弘	馬場 富男	高浜 嘗子	西田 敦子	野沢 紀代	土方 久枝
20	養護主任	原田 暢恵	佐々木ちかや	田島 佳子	上山美智子	西村 美子	清水 妙子
21	管財主任	石田 義一	上原 和美	新沼 敏和	露木 早苗	郷原 敦	伊東 淳司
22	事務担当	石田 義一	上原 和美	新沼 敏和	内田 真弓	滝瀬 松枝	伊藤 淳司

日野一中	日野二中	七生中	日野三中	日野四中	三 沢 中	大坂上中	平 山 中
松原 清	中里 久子	大久保由起子	樋口 恢武	田中 栄一	○西村美紗子	村上 敏雄	上沼 利行
○古厩 清夫	○光岡 肇	○大久保由起子	○乙黒 義夫	○小林 敏朗	○山口 律子	○秋山 侑司	○上沼 利行
石井 哲也	北原八重子	大久保由起子	大石 千秋	天野 節子	矢代 昌幸	丹 美喜男	古橋あつ子
石堂 正行	光岡 肇	吉岡 和宏	望月 大助	黒沢谷五郎	森 紀子	岩村 武	上沼 利行
森尾 文子	野村 文男	大坪久美子	賀川 郁子	水野 英士	新井 教旦	長坂 俊哉	大坂 崇
高崎 郷二	森川 覚	辻本 昭彦	北岡 俊治	稲川 正義	原沢 和江	谷 丈太郎	福地 和子
村田 志信	吉村富美子	大沢 津香	大宅 寛	大野 滯子	佐藤 禎磨	村上 敏雄	山田よし子
尾関いずみ	中里 久子	吉成 幹雄	新保 邦明	近藤 智春	朝 永子	市川 和彦	阿部 晃一
佐藤ナホ子	丹下 知男	白井 攻	市川佐和子	鈴木 浩	山本 暁子	小沼 治美	桜井 絢子
小林 則義	片桐 豊昭	大谷 良光	鈴木 偉生	鈴木 良身	宮下 文夫	池田 孝	紺野栄治郎
鈴木美代子	猪股三枝子	田倉 正子	高見登志子	高橋 清子	秋庭 英子	土田キヨミ	佐藤 寿枝
川野 真一	小川 涉三	柳沢 美澄	小林 和子	木村 守	広瀬 昭	吉峯 譲	深田美紀子
松原 清	大山 裕子	大久保由起子	○松井 保子	鈴木世津子	○矢代 昌幸	村上 敏雄	○深田美紀子
古厩 清夫	○高橋 章次	大久保由起子	○鈴木 涉	田中 栄一	○矢代 昌幸	村上 敏雄	○国信 武司
古厩 清夫	○池田 友彦	大久保由起子	○泊生 幸一	吉見 光雄	○橋本 貴幸	野沢 昭兆	○三浦 義次
高崎 郷二	高橋 章次	高野 徐一	○鈴木 偉生	近藤 智春	○田熊 裕	岩村 武	○益田 志郎
佐藤 朋子	○岡部 純子	若宮 美鈴	○福田 慶罔	山本 玲子	○森 紀子	落合 勲	○古藤斗糸子
荒川 歌津	永谷 豊	松尾 晴至	○飯島 利三	川本 浩子	秋庭 英子	丹 美喜男	佐藤 寿枝
川野 真一	○小川 涉三	管野 剛	○新保 邦明	鈴木 浩	○須貝 光一	蓑輪 博美	○北原 景昭
鈴木美代子	中山ひとみ	近藤 康代	小池 泰子	高橋 恵子	島田きく子	神尾敷和子	○鈴木由紀子
○越智 有吾	森 昇一	富田 且枝	嶋村 真	金子 好一	山口 朝子	伊東 三枝	大野 馨
○越智 有吾	○小林 春江	○松尾 晴至	○松村 大	○金子 好一	○吉田久美子 ○小林寿美子	○伊東 三枝	○馬場 静枝 ○田代 邦子

昭和60年度 授業研究主題一覧

No.	小 学 校 名	研 究 テ ー マ
1	日 野 第 一 小 学 校	児童ひとりひとりが運動の楽しさを体得し自ら体の健康づくりに取り組むための指導法の研究
2	日 野 第 二 小 学 校	児童が進んで学習する指導法の研究
3	日 野 第 三 小 学 校	児童理解を根底にすえた学級経営
4	日 野 第 四 小 学 校	集団の中で生き生きと学習する子ども
5	日 野 第 五 小 学 校	学習意欲を高める指導法の研究
6	日 野 第 六 小 学 校	たしかな読みを育てる指導法の研究
7	潤 徳 小 学 校	主体的な学習態度を育てる指導法の研究
8	平 山 小 学 校	子どもに基礎的な学力をつけさせるための国語の指導法について
9	日 野 第 八 小 学 校	児童の主体性を高める指導法の研究
10	百 草 台 小 学 校	ひとりひとりを生き生きと学習にとりくませる授業
11	滝 合 小 学 校	豊かな表現力を育てる指導法の研究
12	高 幡 台 小 学 校	器機運動の効果的な指導法
13	日 野 第 七 小 学 校	豊かな心を育てる学習活動の工夫
14	南 平 小 学 校	児童一人一人が主体的に取り組む学習指導法の改善
15	程 久 保 小 学 校	ひとりひとりが生き生きとする学習指導
16	旭 が 丘 小 学 校	子どもによく考えさせる授業のあり方
17	平 山 台 小 学 校	子ども自らが課題をもって進める体力づくりをめざして
18	東 光 寺 小 学 校	自主的な学習態度を育てる指導法の研究
19	三 沢 台 小 学 校	授業への参加意欲を高める手だてのくふう
20	仲 田 小 学 校	一人一人の児童が生き生きと学習にとりくむための授業の創造をめざして

No.	中 学 校 名	研 究 テ ー マ
1	日 野 第 一 中 学 校	どの子にもわかる授業の工夫
2	日 野 第 二 中 学 校	生徒が自主的に学習する指導法の工夫
3	七 生 中 学 校	基礎学力の定着を目指す指導方法の研究
4	日 野 第 三 中 学 校	生徒が意欲的に取り組む学習と自主活動のあり方
5	日 野 第 四 中 学 校	生徒の学習への興味・関心を育てる指導のあり方
6	三 沢 中 学 校	生徒の学習意欲を高める授業の工夫
7	大 坂 上 中 学 校	基礎学力を定着させるための教師のあり方
8	平 山 中 学 校	自主的学習態度の育成をめざす授業の展開

昭和 60 年度 都教育研究員等一覧

1. 教育研究生

特別活動 平 山 中 和 田 孝

2. 教育研究員

小学校	国 語	百草台小	小 滝 岩 夫
	体 育	南 平 小	駒 井 隆 司
	特別活動	日野四小	飯 田 国 代
	教育課題	潤 徳 小	伊 沢 裕 一
	書 写	日野五小	伊 東 学
	保 健	日野一小	佐 藤 ヒ サ 子
中学校	保健体育	日野一中	渡 辺 讓
	特別活動	平 山 中	上 沼 利 行
	教育課題	日野三中	飯 島 利 三
	心障教育	平 山 中	益 田 志 郎

3. 教育開発委員

小学校	算 数	平 山 小	末 次 久 利
	図画工作	平山台小	北 野 義 昭
	家 庭	東光寺小	西 田 敦 子
中学校	技術家庭	三 沢 中	佐 藤 至 正

4. 道德教育指導助言者

小学校	日野八小	川 田 浩 子
	南 平 小	片 岡 千 寿 子
中学校	日野二中	中 根 勉
	日野三中	松 井 保 子

5. 多摩教育推進委員

日野三中 市 塚 正 史

6. 東京都研究奨励費受給者

グループ研究 A	社 会	代表者	吉野美智子 (程久保小)
グループ研究 B	特別活動	代表者	奈良 悦子 (旭が丘小)

7. 東京都研究推進校

健康づくり推進校	日野一小	校長	古 谷 洋 太
帰国子女教育推進校	日野八小	校長	波 谷 義 一

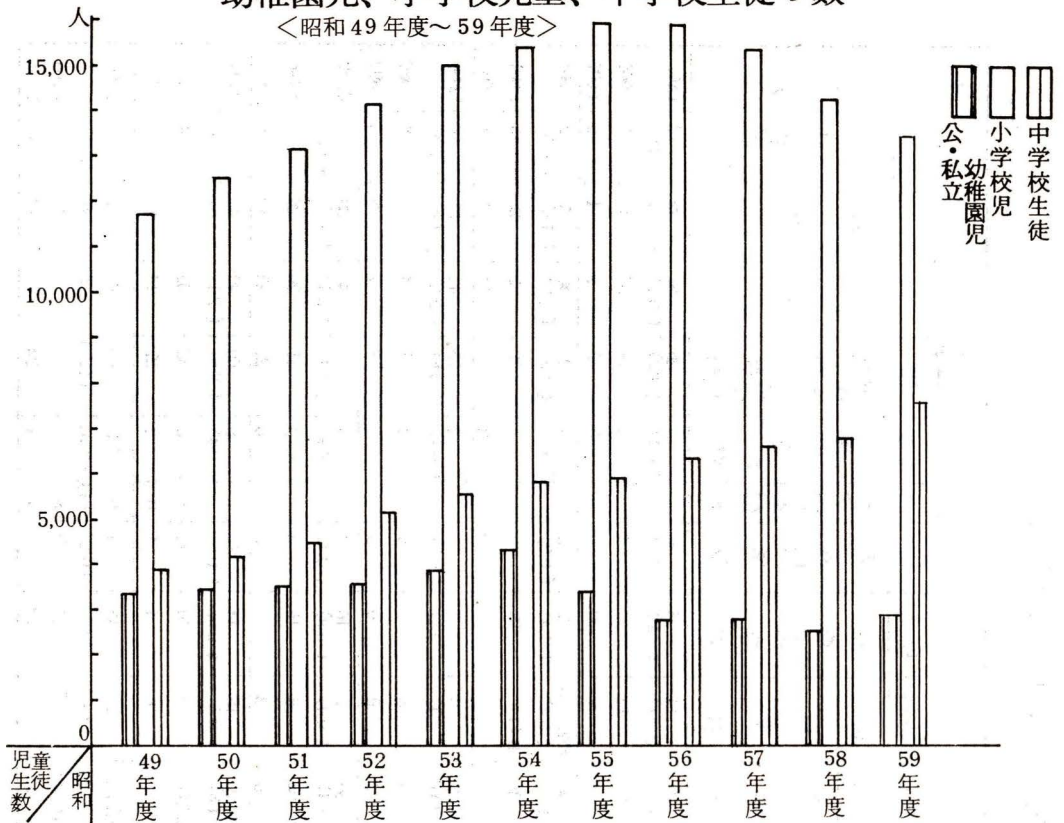
就学・進学状況の推進（S.54～59年度）

（ ）はパーセント

年 度	性 別	高 等 学 校 本 科															職業教育機関 等	就 業 ・ そ の 他			卒 業 者 総 数
		総 計	高等学校全日制課程							高等学校定時制課程			高 等 専 門 学 校	高 等 学 校 通 信 制	盲 養 ・ ろ う 学 校						
			計	公 立			私 立			計	公 立					就 職 進 学 者					
				普 通 科	職 業 科	小 計	普 通 科	職 業 科	小 計		普 通 科	職 業 科									
54	計	1,885	1,834 (93.0)	1,060 (53.7)	149 (7.6)	1,209 (61.3)	581 (29.5)	44 (2.2)	625 (31.7)	43 (2.2)	29 (1.3)	14 (0.71)	15 (1.0)	6 (0.3)	2 (0.1)	26 (1.3)	61 (3.1)	49 (2.5)	12 (0.6)	1,972	
	男	900	857	494	74	568	264	25	289	35	23	12	9	6	2	13	52	45	7	965	
	女	985	977	566	75	641	317	19	336	8	6	2	6	0	0	13	9	4	5	1,007	
55	計	1,892	1,845 (93.9)	988 (50.3)	122 (6.2)	1,110 (56.5)	695 (35.4)	40 (0.2)	735 (37.4)	39 (2.0)	30 (1.5)	8私立(1) (0.4)	27 (1.4)	5 (0.3)	3 (0.2)	26 (1.3)	46 (2.3)	37 (1.8)	9 (0.5)	1,964	
	男	957	914	470	76	546	337	31	368	37	28	8(1)	25	5	1	12	32	26	6	1,001	
	女	935	931	518	46	564	358	9	367	2	2	0	2	0	2	14	14	11	3	963	
56	計	1,824	1,801 (95.8)	838 (44.6)	154 (8.2)	992 (52.8)	729 (38.8)	80 (4.3)	809 (43.0)	16 (0.8)	8 (0.4)	8 (0.4)	7 (0.4)	5 (0.3)	2 (0.1)	15 (0.8)	41 (2.2)	31 (1.6)	10 (0.5)	1,880	
	男	946	925	413	82	495	377	53	430	14	6	8	7	5	2	8	34	26	8	988	
	女	878	876	425	72	497	352	27	379	2	2	0	0	0	0	7	7	5	2	892	
57	計	2,142	2,097 (94.5)	994 (44.8)	162 (7.3)	1,156 (52.1)	871 (39.3)	70 (3.2)	941 (42.4)	39 (1.8)	30 (1.4)	9 (0.4)	16 (0.9)	3 (0.1)	3 (0.1)	32 (1.4)	48 (2.1)	38 (1.7)	7 (0.3)	2,219	
	男	1,105	1,069	487	92	579	442	48	490	30	24	6	15	3	3	11	30	28	2	1,146	
	女	1,037	1,028	507	70	577	429	22	451	9	6	3	1	0	0	21	15	10	5	1,073	
58	計	2,208	2,133 (92.0)	1,002 (43.0)	158 (7)	1,167 (50.0)	910 (39.3)	63 (2.7)	973 (42.0)	55 (2.4)	37(私3) (1.8)	15 (0.6)	14 (0.6)	11 (0.5)	8 (0.4)	60 (2.6)	49 (2.1)	42 (1.8)	7 (0.3)	2,317	
	男	1,118	1,059	493	84	583	434	48	482	42	30(3)	9	10	10	6	33	35	31	4	1,186	
	女	1,090	1,074	509	74	584	476	15	491	13	7	6	4	1	2	27	14	11	3	1,131	
59	計	2,184	2,099 (90.9)	1,102 (47.7)	163 (7.1)	1,265 (54.8)	778 (33.7)	56 (2.4)	834 (36.1)	64 (2.8)	39(私2) (1.8)	23 (1.0)	43 (1.9)	4 (0.2)	9 (0.4)	63 (2.7)	62 (2.7)	46 (2.0)	16 (0.7)	2,309	
	男	1,124	1,062	562	85	647	367	48	415	46	27(私2)	17	31	3	8	39	38	32	6	1,201	
	女	1,060	1,037	540	78	618	411	8	419	18	12	6	12	1	3	24	24	14	10	1,108	

幼稚園児、小学校児童、中学校生徒の数

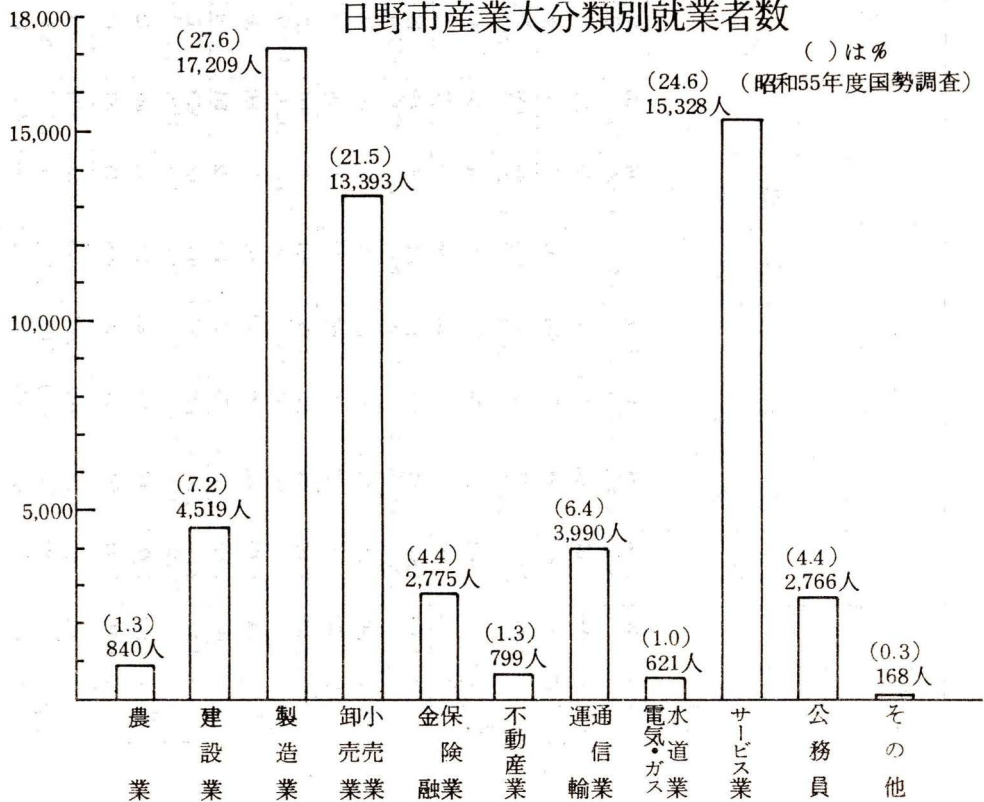
＜昭和49年度～59年度＞



日野市産業大分類別就業者数

()は%

(24.6) (昭和55年度国勢調査)



園児・児童・生徒・学級数調べ

< 60. 5. 1 現在 >

上段 59年度
下段 60年度 () 内学級数

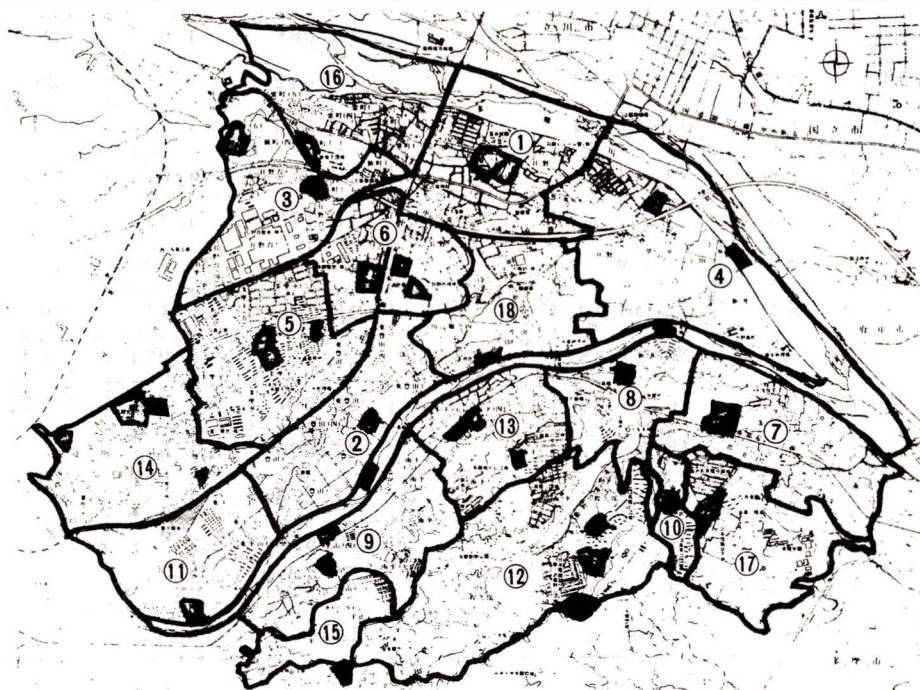
№	小学校名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計	心 障
1	日野第一小学校	111(3) 93(3)	116(3) 111(3)	111(3) 115(3)	114(3) 112(3)	141(4) 119(3)	115(3) 140(4)	708(19) 690(19)	
2	日野第二小学校	171(4) 131(3)	146(4) 173(4)	166(4) 146(4)	156(4) 159(4)	198(5) 154(4)	188(5) 202(5)	1,025(26) 965(24)	
3	日野第三小学校	107(3) 101(3)	104(3) 113(3)	123(3) 107(3)	146(4) 125(3)	133(3) 144(4)	136(4) 133(3)	749(20) 723(19)	25(3) 21(3)
4	日野第四小学校	100(3) 90(2)	104(3) 96(3)	91(3) 100(3)	108(3) 90(3)	129(3) 109(3)	128(3) 122(3)	660(18) 607(17)	
5	日野第五小学校	161(4) 120(3)	142(4) 160(4)	136(4) 134(3)	160(4) 133(3)	170(4) 146(4)	155(4) 168(4)	924(24) 861(21)	6(1) 4(1)
6	日野第六小学校	121(3) 125(3)	115(3) 115(3)	125(3) 119(3)	119(3) 123(3)	140(4) 118(3)	116(3) 137(4)	736(19) 737(19)	
7	潤徳小学校	85(2) 70(2)	91(3) 81(2)	100(3) 88(2)	114(3) 94(3)	110(3) 111(3)	99(3) 104(3)	599(17) 548(15)	
8	平山小学校	115(3) 112(3)	108(3) 114(3)	136(4) 108(3)	138(4) 136(4)	150(4) 138(4)	138(4) 150(4)	785(22) 758(21)	
9	日野第七小学校	123(3) 120(3)	106(3) 123(3)	132(3) 103(3)	122(3) 125(3)	138(4) 120(3)	114(3) 136(4)	735(15) 727(19)	
10	日野第八小学校	106(3) 98(3)	98(3) 105(3)	107(3) 98(3)	136(4) 105(3)	144(4) 134(3)	153(4) 139(4)	744(21) 679(19)	
11	百草台小学校	118(3) 119(3)	97(3) 112(3)	119(3) 100(3)	101(3) 114(3)	107(3) 95(3)	111(3) 108(3)	653(18) 648(18)	
12	滝合小学校	140(4) 138(4)	146(4) 140(4)	171(4) 144(4)	166(4) 166(4)	172(4) 163(4)	172(4) 171(4)	967(24) 922(24)	
13	高幡台小学校	120(3) 97(3)	113(3) 116(3)	94(3) 106(3)	117(3) 90(2)	123(3) 113(3)	135(3) 120(3)	702(18) 642(17)	
14	南平小学校	142(4) 99(3)	94(3) 141(4)	112(3) 94(3)	126(3) 113(3)	139(4) 124(3)	142(4) 136(3)	755(21) 707(19)	
15	程久保小学校	81(2) 54(2)	87(2) 88(2)	80(2) 84(2)	95(3) 77(2)	106(3) 97(3)	107(3) 104(3)	556(15) 504(14)	
16	旭が丘小学校	144(4) 123(3)	133(3) 144(4)	130(3) 125(3)	125(3) 126(3)	178(4) 129(3)	140(4) 176(4)	850(21) 823(20)	
17	平山台小学校	65(2) 58(2)	68(2) 67(2)	88(2) 75(2)	103(3) 93(3)	133(3) 109(3)	133(3) 134(3)	590(15) 536(15)	12(1) 14(2)
18	東光寺小学校	75(2) 67(2)	85(2) 75(2)	82(2) 82(2)	100(3) 82(2)	107(3) 93(3)	87(2) 105(3)	536(14) 504(14)	
19	三沢台小学校	82(2) 69(2)	66(2) 87(2)	91(3) 68(2)	107(3) 96(3)	125(3) 115(3)	120(3) 132(3)	591(16) 567(15)	
20	仲田小学校	55(2) 58(2)	57(2) 55(2)	67(2) 53(2)	68(2) 68(2)	81(2) 66(2)	83(2) 82(2)	411(12) 382(12)	
計		2,222(59) 1,942(54)	2,076(58) 2,216(59)	2,261(60) 2,049(59)	2,421(65) 2,227(59)	2,724(70) 2,397(64)	2,572(67) 2,699(69)	14,276(379) 13,530(361)	43(5) 39(6)

No	中学校名	1 年	2 年	3 年	計	心 障
1	日野第一中学校	313(7) 290(7)	264(6) 315(7)	289(7) 265(6)	866(20) 870(20)	
2	日野第二中学校	314(7) 308(7)	312(7) 315(8)	299(7) 319(8)	925(21) 942(23)	
3	七 生 中 学 校	260(6) 261(6)	265(6) 260(6)	255(6) 262(6)	780(18) 783(18)	13(2) 9(1)
4	日野第三中学校	386(9) 374(9)	416(10) 387(9)	456(11) 409(10)	1,258(30) 1,170(28)	
5	日野第四中学校	306(7) 330(8)	300(7) 296(7)	251(6) 299(7)	857(20) 925(22)	
6	三 沢 中 学 校	335(8) 324(8)	229(6) 334(8)	235(6) 230(6)	799(20) 888(22)	
7	大坂上中学校	317(8) 284(7)	267(6) 318(8)	230(6) 271(7)	814(20) 873(22)	16(2) 14(2)
8	平 山 中 学 校	320(8) 287(7)	303(7) 320(8)	280(7) 305(7)	903(22) 912(22)	
計		2,551(60) 2,458(59)	2,356(55) 2,545(61)	2,295(56) 2,360(57)	7,202(171) 7,363(177)	29(4) 23(4)

No	幼稚園名	4 歳 児	5 歳 児	計
1	第一 幼稚園	60(2)	143(4) 108(3)	143(4) 168(5)
2	第二 幼稚園	40(1) 30(1)	55(2) 52(2)	95(3) 82(3)
3	第三 幼稚園	40(1) 30(1)	67(2) 62(2)	107(3) 92(3)
4	第四 幼稚園	39(1) 29(1)	39(1) 38(1)	78(2) 67(2)
5	第五 幼稚園	30(1)	18(1) 38(1)	18(1) 68(2)
6	第六 幼稚園	30(1)	37(2) 39(1)	37(2) 69(2)
7	第七 幼稚園	30(1)	19(1)	49(2)
計		119(3) 239(8)	359(12) 356(11)	478(15) 595(19)

避難場所と地区割当表

番号	避難場所	収容人口	避難地区	番号	避難場所	収容人口	避難地区
1	第一中学校地 仲田緑地	28,000人	日野の一部	11	滝合小学校	8,500人	東平山1.2.3丁目 西平山1.2.3.4丁目
2	豊田児童公園 第二小学校	11,000	東豊田1.2.4丁目 豊田1～4丁目	12	高幡台小学校 第三中学校 明星大	22,000	程久保の大部分 高幡台団地
3	第三小学校 日野自動車ランド	23,000	新町1.2.4.5丁目 日野台1.2.3.4.5丁目	13	鹿島台公園 南平小学校 南平体育館	12,500	南平1～5丁目
4	日野総合ランド 第四小学校	22,500	日野の一部、新井 石田、下田の一部	14	旭が丘小、第四中 都立工科短大 旭が丘東公	30,000	旭が丘の全部 西平山5丁目
5	多摩平団地自然公園 第二中学校 多摩平第一公園	21,000	多摩平1～6丁目 東豊田3丁目	15	平山台小学校	7,500	平山1.2.3丁目 平山苑
6	第七小学校 日野中央公園 実践女子大	23,000	多摩平の一部、神 明区画整理区域内	16	東光寺小学校	8,600	栄町1～5丁目 新町3丁目
7	第八小学校 三沢中学校	16,000	百草、落川、三沢 の一部	17	三沢台小学校 百草台自然公園	13,000	百草、三沢の一部 日本信販造成地
8	新井橋際河川敷 潤徳小学校	11,000	高幡、新井の一部	18	駒形公園	10,000	日野の一部、堀之内 上田、宮の全部
9	平山小学校 平山中学校	13,000	平山4.5.6丁目 南平6.7.8.9丁目	計	18箇所	286,600	
10	百草台小学校	6,000	百草団地、百草、 程久保の一部				



市立小中学

番 号	校 名	開 校 年 度	建 築 年度 増改築	校地面積 m^2	校舎保有 面 積 m^2	普 通
						教 室
1	一 小	M 6	37. 38. 39.	20, 947	4, 370	25
2	二 小	M 7	42. 43. 48. 53~54	11, 640	4, 757	27
3	三 小	S 23	41. 42. 47. 49~50	16, 806	6, 007	30(5)
4	四 小	M 6	39. 40. 44.	15, 292	3, 839	19
5	五 小	S 34	36. 39. 40. 43	18, 435	5, 284	34
6	六 小	S 40	38. 39. 43. 48	19, 833	6, 098	31
7	潤 徳 小	M 6	39. 40. 45.	15, 376	4, 907	28
8	平 山 小	M 6	39. 40. 41. 44	13, 349	4, 450	24
9	八 小	S 44	44. 47. 49	17, 061	5, 102	25
10	百草台小	S 45	44. 48. 50	15, 143	5, 248	26
11	滝 合 小	S 46	45~46	20, 545	5, 506	27
12	高幡台小	S 47	46. 48. 52.	16, 017	4, 983	27
13	七 小	S 48	47~48. 52~53. 57.	13, 509	4, 806	22
14	南 平 小	S 49	48~49. 53. 55	16, 569	5, 254	27
15	程久保小	S 52	49~51	16, 988	4, 092	18
16	旭が丘小	S 52	51~52 56	16, 642	5, 463	26
17	平山台小	S 53	52~53. 54	18, 536	4, 939	20(2)
18	東光寺小	S 54	53~54	19, 586	4, 356	18
19	三沢台小	S 55	54~55	15, 170	4, 483	18
20	仲 田 小	S 59	58~59	15, 660	3, 434	12
1	一 中	S 22	37. 38. 40. 47. 50. 58	19, 186	6, 118	26
2	二 中	S 29	34. 35. 38. 40. 41. 49~50	21, 150	6, 274	28
3	七 生 中	S 22	36. 38. 44. 45. 50~51. 59	20, 367	5, 831	21(3)
4	三 中	S 45	45. 47. 49. 59	21, 520	6, 958	28
5	四 中	S 48	47. 49. 52.	17, 278	6, 168	27
6	三 沢 中	S 52	51~52 58~59	20, 679	7, 572	25
7	大坂上中	S 55	54~55 57	19, 389	6, 996	23(3)
8	平 山 中	S 56	55~56	18, 200	5, 967	24

校 施 設 一 覧

昭和60年5月1日現在

教室									体育館 ㎡	プール 大(25×11m) 小(10×5m)	給食室 ㎡	実学級
特別教室												
理科	音楽	図工	美術	技術	家庭	視覚	図書	食堂				
1	1				1		1		760	大、小	179	19
1	1	1			1		1		761	〃	172	24
1	1	1			1		1		761	〃	144	19(3)
1	1	1			1		1		765	〃	130	17
2	2	1			1		1		761	〃	273	21(1)
1	2	1			1		1		765	〃	213	19
1	1	1			1		1		779	〃	204	15
1	1	1			1		1		545	〃	147	21
1	1	1			1		1		710	〃	231	19
1	1	1			1		1		752	〃	188	18
1	2	1			1		1		701	〃	256	24
1	1	1			1		1		714	〃	226	17
1	1	1			1		1		736	〃	219	19
1	1	1			1		1		734	〃	188	19
1	1	1			1		1		760	〃	216	14
1	1	1			1		1		760	〃	213	20
1	1	1			1		1		760	大、12×5m	268	15(1)
1	1	1			1		1		760	大、小	214	14
1	1	1			1		1		757	〃	215	15
1	1	1			1		1					12
2	2		2	2	2		1	1	842	大	765	20
2	2		1	2	2		1		1,075	〃		23
2	2		2	3	3		1	1	765	〃	()	18(2)
3	3		2	3	2		1		1,067	〃		28
2	2		2	2	2		1		1,136	〃		22
2	2		2	2	2		1	1	1,118	〃	()	22
2	2		2	2(1)	2(1)		1	1	〃	〃	599	22(2)
2	2		2	2	2				1,189	〃	230	22

() 心障教室



園 名 日野市立第一幼稚園

所 在 地 日野市多摩平4-3

電 話 0425-81-4124・4105

順 路 豊田駅より北へ徒歩約10分

園 児 数 男94名 女73名 計167名

園長氏名 上 山 洋一郎

副園長氏名 高 橋 千鶴子

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第一幼稚園として設置
さる・学級7、定員280名、
職員教諭8名、用務員1名。
園敷地2,700㎡、園舎777㎡
プレハブ1棟。
4. 10 開園、園児280名
5. 25 創立記念日とす
5. 30 園章制定
- 昭43. 9. 6 プール第一次計画完成（中庭）
12. 20 ホール増築完成
2. 10 プール第二次計画完成
（プールサイド、シャワー）
- 昭44. 6. 1 プレハブ園舎、ベランダ増設工
事完成
7. 15 運動場拡張完成
- 昭48. 3. 14 東京都交通安全教育実験学校
研究発表会（第一年次）
10. 23 東京都交通安全教育実験学校
研究発表会（第二年次）
- 昭50. 3. 10 10周年記念研究発表会開催
園歌制定
12. 20 園舎増築完成
保育室3、プレイコーナー、図
書コーナー各1、保健室1、資
料室1、屋上、トイレ、物置1
- 昭57. 8. 31 園庭の整地完成
- 昭58. 9. 1 幼児教育センターの開設にあ
たり2教室を提供

2. 歴代園長

氏 名	年 月～年 月
江 角 正 子	昭40.4.1～昭56.3.31
光 永 久 夫	昭56.4.1～昭57.3.31
田 中 光 一	昭57.4.1～昭60.3.31
上 山 洋一郎	昭60.4.1～現在

3. 地域の環境

市の一大集団住宅地域である多摩平団地およ
び周辺住宅の中心にある。近くには公園もあり
比較的閑静な環境にあったが、甲州街道と平行
してそのバイパス的役割をなす道路に面してい
るため近年は交通量も多くなり危険になってき
た。

4. 教育目標

心身ともに健全で豊かな心をもつ子供を育て
るために、

- 健康で明るい子供
- 元気に遊びがんばる子供
- やさしい心をもつ子供

5. 本年度指導の重点

- ひとりひとりの個性や能力を見つめ理解し集
団の中で望ましい友達関係のあり方や、正しい
生活習慣の確立をはかり、主体性・協調性
を培い園生活を楽しく安全にすごせる子ども
を育成する。
- 地域の豊かな自然を生かし、丈夫なからだど
心情を培う経験や活動の場を設定し実践す
る。
- 家庭との連携を密にし、父母との交流の場を
通して相互理解をはかり、信頼関係を高める
ことによって、幼稚園教育活動の円滑化と活
性化をはかる。

6. 本年度の研究主題

「発達過程に即した経験や活動の選択と配列」

7. 本校の特色

- 地域と園とのつながりを大切に考え、母親コ
ーラスなどを通して教育の場を豊かにしてい
る。
- 自然を活用した園外保育に力を入れている。



園 名 日野市立第二幼稚園
所 在 地 日野市平山 4-5-4
電 話 0425-91-4125
順 路 京王線平山城址公園下車徒歩10分
園 児 数 男 41 名 女 41 名 計 82 名

園長氏名 伊 藤 智 章 副園長氏名 沖 山 英 代

1. 沿革の概要

- 昭 40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山小学校内に設置
5. 10 開園記念日と定める。
5. 30 園章制定
昭 46. 3. 10 日野市研究協力園として研究発表を行う
昭 48. 2. 21 東京都交通安全教育推進学校研究発表会（第一年次）
昭 49. 10. 22 東京都交通安全教育推進学校研究発表会本発表（第二年次）
12. 14 創立10周年記念式典開催
昭 51. 4. 6 保育室、廊下、職員室、医務室床、改装完成
昭 53. 9. 30 玄関入口広場を図書コーナーに改装完成
昭 55. 9. 1 図書コーナー本棚設置
昭 56. 4. 6 市水道管引込工事完了
昭 57. 3. 8 屋根・ホール床塗装完成
昭 57. 4. 10 二年保育再開
昭 58. 8. 23 園舎内装完成
昭 60. 4. 1 新園舎完成移転

2. 歴代園長

氏 名	年 月～ 年 月
後 藤 正 太	昭 40. 4～昭 42. 3
安 積 利 治	昭 42. 4～昭 47. 3
小 野 晃	昭 47. 4～昭 51. 3
深 澤 真 人	昭 51. 4～昭 55. 3
林 元 美	昭 55. 4～昭 58. 3
伊 藤 智 章	昭 58. 4～

3. 地域の環境

市の南西部にあり、平山小学校に隣接している。南の多摩丘陵がたなり、近くには平山城址公園、浅川土手、梨畑や田んぼなどがあり自然環境に恵まれている。四季を通じて野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

- (1) 明るく元気に遊べる子ども
- (2) やる気のある子ども
- (3) 思いやりのある子ども

5. 本年度の指導の重点

- ひとりひとりの幼児が積極的に遊びにとりくみ存分に楽しみながら、充実感、満足感もち、生き生きと活動したり、ともだちのことも考えてあげられるような、子どもの育成につとめる。
- 地域の自然を活用し園外保育を多くとり入れて自然に親しみ、感動、探求心、興味など、豊かな心の子どもの育成につとめる。

6. 本年度の研究主題

- 幼児の発達にあった経験や活動の選択、配列を考えた、教育課程編成する。

7. 本園の特色

- 平山城址公園や河原など、園周辺の自然環境を利用し、四季を通じて自然に親しめる活動を、多くとり入れている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内 訳	研 究 員
1		沖 山 英 代



園 名 日野市立第三幼稚園
所 在 地 日野市日野本町 2-14-1
電 話 0425-81-7127
順 路 国電 日野駅下車 東へ10分
園 児 数 男43名 女51名 計 94名

園長氏名 古 谷 洋 太 副園長氏名 坂 口 嘉津子

1. 沿革の概要

- 昭 41. 4. 11 日野市立第三幼稚園として
日野第一小学校内に設置
学級数 4 園児数 143 名
5. 4 開園記念日と定める
- 昭 42. 5. ブロック塀完成
11. 観察池設置
- 昭 46. 4. 市研究協力園
- 昭 47. 3. 屋外飼育舎新設
- 昭 51. 2. 区画整理のため、正門移動
園庭整備
10周年記念研究発表
- 昭 53. 8. ホール 保育室等床改装完成
- 昭 54. 8. 廊下床改装完成
- 昭 56. 4. 2年保育再開
- 昭 56. 8. 園舎外装

2. 歴代園長

氏 名	
吉 田 辰 次	昭 41. 4 ~ 41. 5
永 野 林 弘	昭 41. 6 ~ 42. 3
吉 田 辰 次	昭 42. 4 ~ 44. 3
下 田 忍	昭 44. 4 ~ 50. 3
溝呂木 桂 次	昭 50. 4 ~ 55. 3
村 田 安 正	昭 55. 4 ~ 58. 3
古 谷 洋 太	昭 58. 4 ~ 現在

3. 地域の環境

交通量の多い甲州街道、川崎街道、市道に囲まれた所に位置する。数年前までは、周囲にれんげ畑、梨畑などがあり、四季の変化を身近に感じることができた。こども達も自然を利用した遊びを楽しむこともできたが、最近では宅地化が進み、周囲の自然もすっかり失われてしまい、こども達の遊び場も限られてきている。市役所、市民会館、図書館、公園など文化的な環境に恵まれた場所になりつつある。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本として、幼児に望ましい環境を整え、豊かな経験とおして、心身の調和的な発達を図り、社会人としての基礎を養う。

- 豊かな心を持つこども
- 進んで取り組み最後までやりとおすこども
- 丈夫な身体で元気に遊ぶこども

5. 本年度の指導の重点

- 一人一人の幼児が遊びに熱中し、自ら取り組んでいく指導を心がける中で、遊びの楽しさ満足感、充実感、連帯感、協力、創意工夫などを育てる配慮を行う。
- 集団の一員として、けじめのある幼児を育てる。
- 思いやりと感謝の気持のもてる温かい人間関係を育てる。

6. 本年度の研究主題

指導の充実をめざして

「経験や活動の選択、教材教具の工夫のあり方」

7. 本園の特色

- 幼児期の思い出が豊かであるよう考えて、親子で共体験できる活動を組み立てている。
- 地域の自然に触れる活動を多く取り入れ、動植物への興味、関心、いたわりの気持を育てている。また自然とかかわる中で、遊び方、遊びの楽しさ、ダイナミックさなどを味わわせるよう考えている。

8. その他

教員の研究歴

内訳 No	研 究 員	開 発 委 員
1	坂口嘉津子 (44年)	坂口嘉津子 (51年)



園 名 日野市立第四幼稚園

所 在 地 日野市石田431-6

電 話 0425-83-3903

順 路 立川-高幡不動 京王バス四小前下車 徒歩5分

園 児 数 男32名 女35名 計67名

園長氏名 田 中 光 穂 副園長氏名 平 向 邦 江

1. 沿革の概要

- 昭48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として開園
学級数2、園児数41名
教諭数3名、用務員1名
4. 10 第一回入園式挙行
10. 29 落成式挙行
11. 1 開園記念日と定める。
11. 7 園庭の植樹完了
12. 1 鉄骨製藤棚完成
- 昭49. 3. 20 第一回修了児46名
- 昭51. 8. 30 各保育室前、テラス完成
- 昭53. 10. 11 観察池完成
- 昭54. 9. 8 廊下床、足洗い場改装完成
- 昭56. 9. 30 各保育室、教材・教具整理棚完成
- 昭57. 11. 11 創立10周年記念式典挙行
園歌制定
- 昭59. 8. 31 保育室等内部塗装、改装完了

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
内 藤 達 夫	昭48.4.1～52.3.31
釜 池 博	昭52.4.1～57.3.31
竹 永 秀 雄	昭57.4.1～60.3.31
田 中 光 穂	昭60.4.1～現在

3. 地域の環境

国道20号線（甲州街道）の日野橋より東へ約1Km入った多摩川の土手近くにあって、日野第四小学校に隣接している。

前面に中央高速道路が東西に走り、コアラ人

気の多摩動物園に通じる都道は交通量も多く道幅も狭いため危険である。多摩川、浅川に囲まれ田畑や梨園、農業用水路など自然環境にめぐまれ四季を通じて水と緑と太陽がある。近年少しずつ宅地化が進み住民層にも変化を生じている。通園区域内には小学校5校、中学校2校があり園児の殆んどは四小学区からである。

公園等子どもたちが安心して遊べる場所は、極めて少い。

4. 教育目標

人間性豊かな子どもの育成をめざし

- (1) 明るく元気な子ども
- (2) よく考え、やりぬく子ども
- (3) 思いやりのある子ども

5. 本年度の指導の重点

- 幼児自ら選んで行う経験や活動の充実を図るとともに、異年令の幼児と一緒に活動できるような教材・教具の提示方法・保育形態・活動内容を精選し、環境構成を工夫する。
- 幼児が自発的・主体的に取り組み、幼児の生活により良い変化をもたらし、その成長に効果のある園行事のあり方を工夫する。
- 幼児の表現活動がより豊かに創造的に内容充実するよう、経験や活動の段階的・系統的な選択・配列化につとめる。

6. 本年度の研究課題

自発的に活動に取り組む幼児を育てる指導
ー 幼児の実態を的確に把握する方法ー

7. 本園の特色

- 河原遊び、草摘み、梨もぎなど、園の周りの環境を利用した四季折々の経験や活動を通して「自然」に思う存分親しませている。
- 園内では小動物や草花の飼育栽培を通し科学性の芽ばえを培うよう環境整備に配慮している。
- 身近な施設や教材・教具を利用した運動遊びを多くとり入れ、運動機能の発達を助長したり、体力増強を図っている。

8. その他（教職員の研究歴）

No. \ 内訳	研 究 員	開 発 委
1	平 向 邦 江（４９年）	平 向 邦 江（５８年）



園 名 日野市立第五幼稚園

所 在 地 日野市三沢175

電 話 0425-92-0432

順 路 京王線 高幡不動駅下車 東へ約13分

園 児 数 男36名 女32名 計68名

園長氏名 渋谷 義 一

副園長氏名 上 野 美津枝

1. 沿革の概要

- 昭49. 4. 1 日野市立第五幼稚園として設置される。
学級数2、定員80名
教諭3名、用務員1名
4. 15 第一回入園式举行 園児数62名
11. 1 落成式を举行 同日を開園記念日とする。
- 昭50. 1. 20 園庭拡張される。
- 昭50. 3. 20 第1回修了式 修了児70名
- 昭53. 4. 1 1学級増のためプレハブ教室増築、学級数3、定員120名
- 昭56. 4. 1 学級数2、定員80名
- 昭59. 2. 25 創立10周年記念式举行
- 昭59. 3. 31 プレハブ教室撤去
- 昭60. 4. 10 第12回入園式举行
二年保育4歳児30名
一年保育5歳児37名計67名
入園

2. 歴代園長

氏 名	年 月～年 月
岡 本 省 吾	昭49.4.1～53.3.31
古 谷 洋 太	昭53.4.1～58.3.31
渋谷 義 一	昭58.4.1～現在

3. 地域の環境

京王線高幡不動駅と百草園駅のはぼ中間の位置にあり、周囲は田んぼ、畑が多く、自然に恵まれ、小学校、中学校に隣接している。近くには、高幡不動、多摩動物公園、百草園などがあり、四季折々の野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

- よく遊び、よく考える子
- 豊かな心を持ち、思いやりのある子
- 望ましい生活習慣を身につけた子

5. 本年度の指導の重点

- (1) 自ら進んで遊びにとりくみ、知的好奇心をもった子どもを育てる。
- (2) 自然環境とのふれあいの中で、感動する心、豊かな心情をもった子どもを育てる。
- (3) 健康、安全に留意し、自主性を育て、けじめのある生活ができる子どもを育てる。

6. 本年度の研究主題

“ 4歳児・5歳児の発達と特性 ”

個人記録、行動観察をとおして、ひとりひとりの子どもを理解し、育てていく。

7. 本園の特色

- 園外保育を多くとりいれ、自然の中で遊ぶ楽しさ、解放感を味あわせている。
- 園庭に畑をつくり、こどもたちが自らの手で育て、収穫する喜びを味あわせている。
- 広い園庭を生かした遊びを多くとり入れている。

8. その他（教職員の研究歴）

内 No	研 究 員	開発委員（現代化）
1	上野美津枝（53年）	上野美津枝（52年）



園 名 日野市立第六幼稚園

所 在 地 日野市程久保876-2

電 話 0425-92-6330

順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスで
高幡台団地下車 徒歩5分

園 児 数 男43名 女27名 計70名

園長氏名 津野田 昭 二

副園長氏名 石 川 和 子

1. 沿革の概要

昭50. 9. 6 園舎新築工事起工

昭51. 3. 19 園舎完成

4. 1 日野市立第六幼稚園として開園
鉄筋平屋建園舎

学級数2、定員80名

教諭3名、用務員1名

4. 10 入園式挙行、園児数73名

5. 29 落成式挙行、開園記念日とする

昭52. 5. 30 プール(ヤマ・キューティメイトDX)設置

昭53. 3. 12 1学級増設のためプレハブ教室
増設

昭55. 4. 3 1学級減、プレハブ教室撤去

8. 31 保育室床改装完成

昭58. 8. 5 プールのフェンス、園庭フェン
ス防球ネット完成

昭60. 4. 1 2年保育4歳児開始

2. 歴代園長

氏 名	年 月～年 月
手代木 和 夫	昭51.4.1～54.3.31
近 内 信 輝	昭54.4.1～58.3.31
津野田 昭 二	昭58.4.1～現在

3. 地域の環境

日野市の東南部にある多摩丘陵に造成された高幡台団地と百草団地との分岐点に位置し、園舎は緑の森林に囲まれ、起伏に富んだ所である。近くには多摩動物公園、百草園、高幡不動尊などがあり、野外遊びのできる場所も多く、自然に親しむことができる。

4. 教育目標

- 明るく元気なこども
- やさしい心で助け合うこども
- 最後までがんばるこども

5. 本年度の指導の重点

- (1) 大勢の友だちといっしょに運動遊びを行い体を動かす楽しさを味わわせ、活動意欲を高める。
- (2) 活動への取り組みを充分に行わせ、ひとりひとりの発達に応じた幅広い経験活動の場を生かし、物事に対する興味関心を持たせる。
- (3) 望ましい友達関係を育て、心身共に健全な幼児の育成につとめる。

6. 本年度の研究主題

動植物に対する異年令幼児の興味や関心の持ち方について実態把握を行い、指導のあり方を深める。

7. 本園の特色

- 動植物の飼育栽培を子ども達が行い、育てることの喜びを味あわせている。
- 園周辺の自然環境を利用した園外保育を多く取り入れ、思う存分に体を動かし、自然に親しませている。

8. その他

教職員の研究歴

内 訳 No	研 究 員	現代化委員
1	石川 和子(54年)	石川 和子(53年)



園 名 日野市立第七幼稚園
所 在 地 日野市旭が丘 2 - 4 2
電 話 0425-86-3770
順 路 国電 豊田駅下車 京王バス 都立工科短大
入口下車 徒歩 5 分
園 児 数 男 27 名 女 22 名 計 49 名

園長氏名 石 井 三 士 副園長氏名 田 中 澄 子

1. 沿革の概要

- 昭 59. 10. 6 園舎新築工事起工
昭 60. 4. 1 日野市立第七幼稚園として設置
鉄筋コンクリート 2 階建
学級数 2、定員 70 名
教職員 3 名 園地面積 2,599m²
昭 60. 4. 10 第 1 回入園式挙行園児数 49 名
昭 60. 6. 30 開園記念日とする

2. 歴代園長

氏 名	年 月～年 月
石 井 三 士	昭 60.4.1 ～

3. 地域の環境

市の西端に位置し、地域の約半分が工業地区になっているが、文化福祉ゾーン地域としても発展しつつある。周辺には、大学、中学校、保育園、障害者や老人のための施設も建設され、児童館建築の予定地も確保されている。

近くには、甲州街道、都道、市バイパスと、幹線道路が 3 本もあり、交通量は非常に多い。

4. 教育目標

一人一人を尊重し、心の触れ合いを基調にした教育の中で、幼児が豊かに健やかに育つことを目指す。

○明るい子ども

健康であり、情緒が安定し、自己表出ができる。

○がんばる子ども

ねばり強く、意欲をもつことができる。

○心のやさしい子ども

自然や友だちに関心を示し、思いやりをもつことができる。

5. 本年度指導の重点

基本的生活習慣の自立をはかり、自信をもった生活や遊びの中で、よい人間関係を育てながら、一人一人の向上を目ざした指導に努める。

6. 本年度の研究主題

教育課程の編成と指導計画の作成

7. 本園の特色

幼児の積木による造形を基に建築された園舎である。子どもの夢を大切に、日々の生活の中で、創造性や情緒の豊かな子どもを育てることに力を入れる。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳 No.	開発委員（現代化）
1	田 中 澄 子（48.経営）



学 校 名 日野市立日野第一小学校

所 在 地 日野市日野本町 2-14-1

電 話 0425-81-0073・0061

順 路 中央線日野駅下車 徒歩 6 分

児 童 数 男 367 名 女 323 名 計 690 名

校長氏名 古 谷 洋 太

教頭氏名 長谷川 鐵 夫

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 土淵山普門寺の本堂をあて開校。第一大学区第八中学区第五十四番小学日野学校と称す。(現在の中央公民館のとなり。当時、神奈川県)
- 明 45. 2. 11 校歌、校章制定、校舎増改築、校地拡張
- 昭 11. 4. 29 校旗寄贈 (古谷剛次郎氏)
- 昭 15. 日野 2800 番地 (現在地) に土地 900 余坪、新校舎建築開始。(戦時中、軍徴用)
- 昭 23. 4. 25 新校舎に移転完了
- 昭 25. 4. 1 東京都指定実験学校となり、教育課程の研究発足
- 昭 27. 3. 5 上記の研究発表
- 昭 28. 8. 22 80 周年記念プール竣工
- 昭 38. 11. 3 日野市制施行により日野市立日野第一小学校と校名を変更
- 昭 43. 4. 1 日野市研究協力校として「教育環境の整備」を主題として研究発足。
8. 1 日野市集会場を屋内運動場 兼講堂として移管
- 昭 44. 2. 21 日野市研究協力校として「教育環境の整備について」発表
5. 1 東京都学校花壇協力校となる。
- 昭 46. 4. 1 日野市小学校訪問学級設置。5 月 17 日開級。
- 昭 47. 2. 都市計画神明上区画整理事業開始。校庭南側一部縮少。
- 昭 48. 11 創立百周年記念祭
- 昭 51. 8. 給食室改修。理科室整備。

- 昭 53. 2. 理科室、家庭科室改修
- 昭 54. 4. 訪問学級を日野第三小学校へ移設
- 昭 55. 8. 排水溝改修、受水槽設置
- 昭 57. 6. 体育館新設
58. 8. 校内塗装、窓アルミサッシ化
- 昭 58. 11 開校 110 周年記念集会、式典
- 昭 59. 3. 仲田小分離
- 昭 59. 8. 屋上全面防水、プレハブ撤去
- 昭 60. 3. 体育倉庫新設

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ~ 年 月
1	日野 義順	明 6. 5 ~ 明 9. 7
2	国府田 学	明 9. 7 ~ 明 11. 3
3	小川 則要	明 11. 4 ~ 明 15. 3
4	鈴木 宗也	明 15. 4 ~ 明 16. 8
5	上野 兼松	明 16. 9 ~ 明 18. 3
6	二見友三郎	明 18. 4 ~ 明 19. 4
7	八木岡寛制	明 19. 5 ~ 明 21. 10
8	佐野 鶴松	明 21. 11 ~ 大 5. 3
9	古谷剛次郎	大 5. 4 ~ 大 12. 1
10	河合 平作	大 12. 2 ~ 大 15. 3
11	古谷剛次郎	大 15. 4 ~ 昭 11. 1
12	宮川 海三	昭 11. 2 ~ 昭 18. 3
13	貫井 半蔵	昭 18. 4 ~ 昭 23. 8
14	小池 嘉一	昭 23. 9 ~ 昭 34. 3
15	尾崎半次郎	昭 34. 4 ~ 昭 37. 3
16	五十嵐 光	昭 37. 4 ~ 昭 38. 3
17	木村 清	昭 38. 4 ~ 昭 41. 3
18	吉田 辰次	昭 41. 4 ~ 昭 44. 3
19	下田 忍	昭 44. 4 ~ 昭 50. 3
20	溝呂木桂次	昭 50. 4 ~ 昭 55. 3
21	村田 安正	昭 55. 4 ~ 昭 58. 3
22	古谷 洋太	昭 58. 4 ~ 現 在

3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅の南方に位置し、農地、工場、商店、住宅により構成される地域を校区としている。駅に近く、交通の更はたいへんよい。しかし、甲州街道及び川崎街道は交通量もたいへん多い。校区内は、区画整流も進み、地番の整理も行われた。駅周辺の開発も進み、かつての日野宿のおもかげも失われつつある。しかし、歴史をとどめるものも残り、自然も美しく、心やすまる環境も残されている。

4. 教育目標

本校の教育は、地域社会、児童の実態に即し、自主的に人格の完成につとめる児童の育成を目ざし、次のことを中心に展開する。

- | | |
|------------------|---|
| 1. 科学性を身につける子ども | 事実を正しくみる力を養い、正しい判断力、順序立った思考力を伸ばして、基礎的学習の充実をはかる。 |
| 1. 豊かな心情をもつ子ども | 真、善、美に対する感受性を養うと共に、自然、動植物愛護、他人に対する思いやりの気持を深める。 |
| 1. 強い意志を育てる子ども | 目標に向かって最後までやりとげる実行力を培い、困難にあってもくじけない気持を育てる。 |
| 1. じょうぶな体をつくる子ども | 節度のある生活態度を身につけ、継続して体力の増進をはかる児童を育成する。 |

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

- | | |
|--------|--|
| ア 各教科 | 基本方針を受けて、その具体化につとめること、指導要領の趣旨、内容の理解につとめ、指導法の改善、資料の整備活用をはかる。特に発達段階を考慮して基礎的な学習が身につくようにする。1単位時間は45分とし、授業にゆとりを持たせ、ひとりひとりの学習の定着に十分配慮する。また低学年においては合科的な学習も取り入れるようにする。特に体育をとおして心と体の健康づくりをはかることを重点研究の中心におく。 |
| イ 道徳 | 互いに人格を尊重し、協力し合える集団づくりを実践的活動をとおしてすすめる。道徳性の強化をはかり、指導法についても工夫、改善を加え、全生活場面で児童に生しい価値観や判断力、豊かな心情が身につくようにする。特に、「おちついてよく聞く」を基盤に、指導の深化をはかる。 |
| ウ 特別活動 | 児童ひとりひとりが集団の中で自分の役割を自覚し、進んで行動できるように指導する。学級会・学級指導の場では、児童ひとりひとりの心情や考えをひき出すようにし、他人の発言には特に耳を傾けて、相互理解・相互尊重の望ましい生活態度の確立を目指していく。また、クラブ活動の充実をはかり、クラブ発表会を学校行事に位置づける。委員会の常時活動も、児童の創意を生かして意欲をもって取り組むようにし、活動の評価についても一層の工夫を加える。 |

(2) その他の活動

学校裁量の時間の活用には、学級における児童ひとりひとりの係り活動等の充実、学年活

動、学校諸行事の準備活動等にあて、高学年児童としての学校における立場の自覚を強めるようにする。特別活動の指導組織の機能を生かし、各種行事が計画的に行われるようにし、また、児童朝会、音楽朝会、体育朝会、マラソン大会に向けての全校的な取り組みに意欲を持たせる。夏季における水泳指導については、特に水泳初心者指導の期間を設けて、全職員でこれに当る。

(3) 生活指導・進路指導

個の尊重・個性の伸長、相互のふれ合い、連帯感の強化を大切にし、児童ひとりひとりの心身の安定に絶えず目を向け意欲的に学校生活を送り、自らの進路を見定めるよう特に配慮し、児童理解を深化する。集団の秩序と安全保持の立場から指導の徹底をはかる。特に次の5つの約束を、本校生活指導の重点として基本的生活習慣の定着を全教職員の共通理解のもと意欲的に進める。

- | | | |
|--------------|-----------------|-----------|
| (1) 人の話をよく聞く | (2) せいいりせいとんをする | (3) 時間を守る |
| (4) あいさつをする | (5) 正しい歩行をする | |

6. 本年度の研究主題 「児童が意欲的に学習に参加するための指導法の研究」

学校生活を児童にとって充実した生きがいのある場にすることを目指し、学校生活の大部分を占める授業を、児童にとって意欲的に活動する場にすることが今特に重要であると考え、主題を設定した。本年度は、前年度にひき続き、体育をとりあげ、各学年の発達段階にふさわしい指導法を工夫・開発する。ひとりの発達向上とともに、集団の中での自己の力量発揮が進んでできることが授業の中で定着していくことにも視点をあてたい。また、心身の健康づくりをめざし、保健、給食等にも研究の視点をおく。

7. 本校の特色

- (1) 本校は、開校112年を誇る歴史と伝統のある学校で、父母・地域の方の中にも卒業生が多く、地域の学校に対する愛情や期待は大きい。古き良きものを愛し、大切にし、地域からの信頼、地域との連帯を深めながら更により校風を築く努力を重ねている。
- (2) 教科指導と両輪をなす生活指導に教職員の結束をはかり、生活指導報告日、生活指導協議会の設置により、「全校児童、わがクラスの子」を合言葉にして指導にあたり、児童の健全な成長を計っている。
- (3) 新しい体育館もでき、教育は環境からの意識で、有形・無形の環境美化に全校一致してあたっている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	そ の 他
1	古谷 洋太 45(図工)	香川 善平 54(社会)	長谷川鉄夫 ^{48(都体力測定委員)} ^{54(指導基準作成協力委員)}
2	村上 悦子 45(音楽)	武内 忠雄 59(体育)	香川 善平 ^{55(兵庫教大大学院留学)} ⁵⁶
3	長谷川鉄夫 47(体育)		
4	中村 麗子 47(給食)		
5	香川 善平 49(特活)		
6	武内 忠雄 52(体育)		
7	井尻 武子 55(教育相談)		
8	佐藤ヒサ子 60(保健)		



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 二 小 学 校

所 在 地 日 野 市 東 豊 田 2 - 1 4 - 1

電 話 0 4 2 5 - 8 1 - 0 0 7 0 0 8 5 1

順 路 中央線豊田駅南口下車 徒歩10分
京王線南平駅下車、徒歩15分

児 童 数 男 4 8 8 名 女 4 7 5 名 計 9 6 3 名

校長氏名 篠 宮 忠 男

教頭氏名 金 田 義 直

1. 沿革の概要

- 明 7. 3. 神奈川県 9 大区小 4 区豊田村尋常
小学校として創設、戸長山口平大
夫氏長屋を仮校舎にする。
- 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下 2 等
級に分け、上等小学校は満十歳か
ら十三歳までとする。
- 明 12. 2. 豊田 1 3 2 0 番地、善生寺の西隣
に新校舎建築。
- 明 26. 4 東京府に編入される。
- 明 41. 3 日野小学校豊田分教場となる。
- 昭 17. 豊田 2 1 8 番地に新校舎建築、平
屋建 6 教室
- 昭 21. 6 南多摩郡豊田国民学校として再び
独立
- 昭 27. 12 第 1 次増築、2 階建 8 教室。日野
町立日野第二小学校と校名変更。
- 昭 31. 4 第 2 次増築、2 階建 6 教室
- 昭 38. 11 日野市立日野第二小学校と校名変
更。
- 昭 43. 6 第 1 次防音、4 階建校舎完成。
- 昭 44. 3 第 2 次防音、4 階建校舎完成。
- 昭 46. 2 体育館工事、落成。
- 昭 49. 3 第 3 次防音、4 階建校舎完成。
- 昭 49. 11 創立百周年記念式典を行う。
- 昭 55. 3 1 階建校舎完成。
- 昭 56. 5 新プール完成。
- 9 校庭整備完成。
- 昭 57. 8 普通教室内部塗装完了。
- 昭 58. 12 校庭歩道完成。
- 昭 59. 2 グランドピアノ 1 台配当。
- 昭 60. 6 創立百十周年記念式典を行う。

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
小山 茂平	昭 21. 6～27. 9
増島 光一	" 27. 10～34. 3
小池 嘉一	" 34. 4～38. 3
森久保惣次	" 38. 4～42. 3
後藤 正太	" 42. 4～47. 3
安積 利治	" 47. 4～50. 3
永井 雅夫	" 50. 4～53. 3
鈴木 英夫	" 53. 4～57. 6
篠宮 忠男	" 57. 7～現 在

3. 地域の環境

- 本校の学区は、かつては「豊田の里」と呼ばれた静かな農村であった。ところが、近年になって急に宅地造成が進み、農家の割合が 4 %にも激減している。
- それでも、浅川を中心として田畑が広がり、屋上から見る景観はすばらしい。
- また、近くにローラースケートのできる駒形公園、市民プール、市立中央図書館など、公共施設にも恵まれている。
- さらに保護者は、学校教育に対する関心が深い。登校時の交通指導を積極的に進めるなど、きわめて建設的であり、また、協力的である。
- 一方、学校前の都道をはじめとして学区内の道路はどれも道幅がせまく、そのほとんどに歩道がない。しかも交通量がしだいに増加し、登下校の安全が憂慮される状況になってきている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

◎からだも心も強く明るい子（重点目標）

○みんなと仲よく力を合わせられる子

○よく考え進んで行動する子

○責任をもって最後までやりぬく子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

人間尊重の精神に徹し、心身ともに豊かな子どもの育成をめざして

① 教育目標について、学年に相応した具体的目標をたてて、学年会で話し合い徹底をはかる。

② 授業の研究を全職員の協力によって行い、主体的な学習態度を育て、基礎学力を充実し、思考力を伸ばす指導を徹底する。

③ 教育活動の全体をととして、人権、人命の尊重の教育に徹し、豊かな情操を育て、体力の向上をはかる。

④ 教育活動全体に、児童を自主的に参加させるようくふうし、みんなと仲よく力を合わせられる子どもの育成をはかる。

⑤ 教職員の話し合いをいせつにし、共通理解を深め、協力して指導にあたる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

○指導内容を精選し、学習到達目標を明確にして、指導の効果を高める。

○主体的な学習態度を育て、基礎的な学力の向上をはかる。

イ 道徳

○愛情豊かな情操を育てる指導を行う。

○教育目標と道徳の関連をはかり、実践意欲を高める指導を行う。

ウ 特別活動

○集団行動をととして、心身の調和的発達をはかる。

○児童会、学級会、委員会活動、クラブ活動、学校行事等をととして、自主的、実践的な態度を育てる。

(2) その他の活動

○なわとび、うす着、急歩等の指導をととして、体力の向上をはかり、連帯感を育てる。

○地域の豊かな自然を生かして、自然に親しむ態度の育成をはかる。

○学級、学年、学校の諸行事に自主的に参加させ、みんなと仲よく楽しい学校生活ができる児童の育成をはかる。

○日常生活の中の手仕事を重視し、巧み性、集中力を養い、あわせて、働く喜びを味わわせる。

(3) 生活指導・進路指導

生活指導についての全職員の共通理解をもとにして

① 児童の基本的な生活習慣の育成をはかる。

② 話をよく聞く子の育成をはかる。

③ 避難訓練をととして、防災指導の徹底をはかる。

④ 事例研究をととして、児童への共通理解を深め、協力して指導にあたる。

6. 本年度の研究主題

楽しくやりながら力がつく運動の指導法

7. 本校の特色

本校は創立111年という伝統をもつ歴史のある学校である。昨年度は創立110周年記念式典およびその思い出をつくる活動として「米づくり」「いもづくり」の体験学習を行い生産にまつわる苦労や自然とのかかわりあい、さらには構造的思考力育成など、物心両面で大きな収穫を得た。学校が子どものために努力すれば、それに対し全面理解と協力を図ってくれる地域である。本年度はこれらのことをふまえ、地域の教育力をもって本校児童を育てることを推し進めたい。

一方、本校は市内随一の大規模校である。それに反し、校庭は狭少である。このことから、昨年度に引き続き「からだも心も強く明るい子」を重点目標としてその具現化をすすめていく。授業分析を通して児童が主体的、意欲的に学習していく指導法をうち出していきたい。その他なわとび、急歩大会や薄着の奨励などを行い、心身ともに健康な児童の育成に努力していく。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	中 央 研	研 究 員	研 究 生	都・文部省委員
1	篠宮 忠男 (56年)	篠宮 忠男 (38社会)	篠宮 忠男 (40社会)	金田 義直 (47～51文)
2		金田 義直 (46国語)		金田 義直 (47都)
3		高木 映子 (50教育方法)		
4		木内 秀雄 (44社会)		
5		菊地 直子 (51学校保健)		



学 校 名 日野市立日野第三小学校
所 在 地 日野市日野台2丁目1番地1号
電 話 0425-81-0101・0850
児 童 数 男383名 女361名 計744名
(内 ひばり21)(他にひばり通級1名)

校長氏名 古 田 耿 介 教頭氏名 上 辻 敏 雄

1. 沿革の概要

- 昭23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童1～3年340名、教室4、全学年2部授業
- 昭25. 6. 10 日野台小学校として独立する。児童数696名、教室9、4年生迄2部授業
7. 18 校章制定
9. 19 4教室増築、教室数13、3年まで2部授業
- 昭27. 4. 15 4教室増築、教室数17、2年まで2部授業
6. 10 校歌制定
- 昭28. 6. 10 校地850坪拡張、6教室増築教室数23、2部授業解消される。
- 昭30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
- 昭32. 3. 4 旧教室4を取除き6教室を増築教室数25、児童数869名。
- 昭33. 8. 3 給食調理室完成
8. 3 大小プール落成
- 昭34. 3. 校地1100坪拡張
- 昭35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される。
- 昭38. 11. 3 日野市制施行に伴い日野市立日野第三小学校と校名を変更。
- 昭42. 4. 7 防音校舎新築起工式
- 昭43. 11. 15 校地地番変更、日野市日野台2丁目1番地1号
- 昭46. 2. 16 体育館落成式、校章制定
- 昭48. 4. 1 鉄筋新技舎9教室増築落成
- 昭50. 2. 25 鉄筋新校舎(5教室、職員室、校長室、事務室、放送室など)竣工
6. 1 校旗制定
- 昭54. 4. 1 東光寺小と分離
- 昭56. 12. 9 校内緑化整美植樹(1273本)
- 昭58. 3. 5 小鳥小屋新設
- 昭 3. 25 危険物貯蔵庫新設
給食生ゴミ及び焼却物置場新設

- 昭58. 4. 2 ひばり学級教室増設(普通教室を二分)
4. 20 無人化(夜間・日曜・祝祭日等)機械警備始
10. 27 体育館ステージボード及び調光器設備
- 昭59. 3. 10 藤だな改修
3. 25 給食調理室天井塗装
体育館渡り廊下天井改修
体育館ステージ Horizont 幕改修
- 昭59. 8. 29 音楽室床全面改修・黒板灯設備
用務員室改修
- 昭59. 12. 20 南校舎非常階段手すり改修
- 昭60. 3. 20 給食雑排水経路改修・浄化槽整備
プール内シート防水・排水バルブ改修・消防水利設備
- 昭60. 3. 31 裏門拡張・門扉改修

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
高野 忠正 (事務取扱)	昭25. 6. 10 ～ 26. 3. 12
高野 忠正 (校 長)	昭26. 3. 13 ～ 27. 9. 30
尾崎半次郎	昭27. 10. 1 ～ 34. 3. 31
五十嵐葆光	昭34. 4. 1 ～ 37. 3. 31
塚本 正	昭37. 4. 1 ～ 41. 3. 31
池田 瑞男	昭41. 4. 1 ～ 47. 3. 31
岩井 庄三	昭47. 4. 1 ～ 50. 3. 31
平松健太郎	昭50. 4. 1 ～ 54. 3. 31
竹永 秀雄	昭54. 4. 1 ～ 57. 3. 31
古田 耿介	昭57. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔80mの日野台地を中心とした地域である。
日野自動車工場とともに発展した地域であり台地のため公害も少ない。

日野台地（学区）の北部は多摩川をへだて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子市が眺望できる
すぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法及び教育基本法に基づき民主的社會人としての人間形成の基礎づくりを旨とし次の目標を定める。

- じょうぶな子ども
- よく考える子ども
- 明るく思いやりのある子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

人間尊重の教育の立場にたち、心身ともに健康で人間性豊かな人間形成の基礎づくりをめざして、特に「主体的に学習に取り組む子どもの育成」を指導の重点として具現化をめざす。

- すべての子どもを公平に愛し、個性能力を伸長する。
- 具体的な学年学級目標を設定し、その具現化をめざし学年学級経営を充実する。
- 創意ある教育活動をすすめる。
- 指導体制と授業を充実し、主体的に学習に取り組む子どもの育成をはかる。
- 生命を大切にする子どもを育てる。
- 学校と家庭、地域の協力連携を深める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

子どもが主体的に学習する授業の実践をめざし、めあてを持って学習に取り組み、満足感成就感を味わうことのできる指導法の改善をすすめる。

- 基礎的基本的学習事項の定着をめざした指導の充実をはかる。
- 学習効果を高める学習方法を工夫する。

イ. 道徳

子どもがすすんでやりぬく道徳的実践力の育成をめざし、充実した道徳指導を行う。

- 人や動植物の生命を大切にし、思いやりのある心を育てる指導を充実する。

ウ. 特別活動

子どもの自主的実践力と連帯感を培うことをめざし、集団活動を充実する指導を行う。

- 楽しい学校生活を経験させる学校行事の追求と、学級会活動、委員会活動、クラブ活動の指導を充実する。

(2) その他の活動

- 遊びの時間を設定、いきいきとした楽しい教育の場とし、体力の向上をめざす。
- 火曜日六校時を児童会活動の日と設定、集団活動を通して心身の調和のとれた発達を図る。
- 学年の日を有効に使用し学年経営の充実をはかり、個別指導の徹底をはかる。
- 心身障害学級と普通学級との教師相互児童相互の交流の場を積極的に設ける。

(3) 生活指導・進路指導

心身ともに健全な子どもの育成をめざし、指導体制を整え、全職員の組織を通じた指導を徹底する。

- 三小のきまりを守り、基本的生活習慣を身につけさせる。
- 心のふれあいを大切にする指導を充実する。
- 自他の生命を大切にする指導を徹底する。
- 父母、地域との連携を深め、協力して指導にあたる。

6. 本年度の研究主題

主体的に学習する子どもの育成をめざし、指導法の改善をはかる。

7. 本校の特色

児童は明るくすなおであるが、やや主体性を欠き、ねばり強くやりぬこうとする力がたりない。

校内研修で、市教委の委託研究を受け、児童の主体性を高める授業研究を実施している。また、心障学級（ひばり学級）があり、交流教育にも力を入れている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員	現 代 化
1	古 田 耿 介 （50教育経営）	上 辻 敏 雄 （49学校経営）
2	上 辻 敏 雄 （48教育経営）	
3	伊 佐 弘 江 （52保 健）	
4	猪 俣 幸 雄 （58国 語）	
5	鈴 本 利恵子 （59国 語）	
6	八 木 文 夫 （59体 育）	
7	恒 松 道 子 （59心 障）	



学 校 名 日野市立日野第四小学校
所 在 地 日野市石田430番地
電 話 0425-81-0038・3076
順 路 日野駅から立川行バス南詰下車徒歩7分
立川駅北口から多摩動物公園行バス四小前
下車 徒歩2分
京王線高幡不動駅から立川北口行バス四小前
下車 徒歩2分
児 童 数 男306名 女303名 計609名

校長氏名 田 中 光 穂

教頭氏名 富 田 洋 子

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 下田学舎
明 21. 11. 下田小学校
明 41. 3. 日野小学校下田分教場
昭 29. 8. 18 校地決定 4,259.14 坪
昭 30. 4. 4 落成式並開校式 この日を開校
記念日とする。
12. 22 校章制定
12. 25 第三期校舎竣工
昭 31. 3. 5 校旗完成
昭 35. 7. 20 プール落成式並祝賀会
昭 36. 11. 1 校歌発表会、以後この日を開校
記念日とする。
昭 39. 6. 10 校地拡張及防音校舎に改築が決定
昭 40. 3. 31 防音校舎 9 教室完成
昭 41. 3. 31 防音校舎第 2 期工事完了
14 教室完成
7. 9 下田学舎創立 9 2 周年記念式典
昭 43. 11. 27 統計教育研究指定校として研究
発表会をする。(都、市指定校)
昭 45. 3. 31 体育館落成
防音校舎 7 教室増築完成
昭 54. 2. 13 1 年 2 教室掲示板張替
3. 20 受水槽改修、渡り廊下改修
3. 25 防火戸改修、非常放送装置設備、
老朽プレハブ撤去、学級増に伴
うプレハブ 3 教室増設
6. 20 教室スチール黒板 12 教室整備

6. 22 プールサイド全面コンクリート
塗装工事
昭 55. 2. 2 給食室作業場及び休憩室改修工
事
3. 31 プレハブ 2 教室増設
6. 20 プール内塗装工事
8. 29 黒板スチール 14 教室整備
昭 56 8. 25 新校舎への親子方式 TV 配線、
放送室内のスタジオ形式の改装
8. 27 屋上高置水槽改造
8. 30 都市ガス化にともなう配管取替
昭 57. 3. 27 旧校舎屋上ネットヘンス貼替
4. 4 プール便所の水洗化、更衣室等
の改修
9. 4 非常階段設置
昭 58. 3. 27 自転車置場設置
犬走り、裏庭舗装
昭 59. 3. 31 仲田小学校分離 141 名転出
9. 28 プレハブ教室(2)撤去
校庭の体育倉庫新設
10. 26 プールフェンス金網工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
浦 上 増太郎	昭 30.3.29～36.3.31
田 中 善 次	昭 36.4. 1～44.3.31
森 藤 厳	昭 44.4. 1～47.3.31
内 藤 達 夫	昭 47.4. 1～52.3.31
釜 池 博	昭 52.4. 1～57.3.31
竹 永 秀 雄	昭 57.4. 1～60.3.31
田 中 光 穂	昭 60.4. 1～現 在

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯8地区である。甲州街道から約1km南にへだたった多摩川あたりに位置し、田畑に囲まれ、前面に中央自動車道が走っている。米どころ日野の田園地帯と多摩川梨の産出地域である。

万願荘の集団住宅を始め近年宅地化が進められ、田園地域より住宅地化しつつある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

自ら考え正しく判断し、行動しうる児童の育成をめざして、次の教育目標を達成する。

- 心もからだも強い子
- すすんで勉強する子
- みんなと協力する子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア 授業の充実をはかり、子どもたちに基礎的な学力と豊かな情操を身につけさせるようにする。
- イ 体育的な指導・集団活動を通して強い意志力、集団の規範を身につけさせるとともに、共同協力の精神を養う。
- ウ 特別活動の充実と創意ある教育活動の効果をたかめる。
- エ 学校・家庭・地域の連携を深め、各教科等の指導に力をいれる。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- ① 具体的な学習経験を通して、確実な知識を身につけさせ創造的な能力の育成をはかる。
- ② 自主的な学習態度を育て、個々の児童の学力を高める。

イ 道徳

- ① 自他の生命や人格を大切にする心を育てる。
- ② 健康の増進と安全の保持につとめさせる。
- ③ 正しい勤労観を育て、社会連帯の意識をたかめる。

ウ 特別活動

- ① 望ましい集団の育成をはかり、あたたかい人間関係を育成する。
- ② 各種活動計画と実践の工夫をはかり、自発的・自治的活動の充実をはかる。
- ③ 児童のたて割活動・集会活動・委員会活動等全体を通して、上記目標の達成に努める。

(2) その他の活動

- ア 創意ある教育活動の必要性に基き、その内容の充実をはかる。
- イ 創意ある教育活動として学年をこえて協力しあうような集団活動の教育力に着目し、充実させる。またそのような活動が日常的に展開されるようにくふうする。

(3) 生活指導・進路指導

- ア 共同生活の中で必要なきまりを守るための実践活動・指導に力を入れる。
- イ 主体的に学ぶ喜びや充実感を身につけさせるとともに、中学校以降の学校生活における自覚責任感を養う。

6. 本年度の研究主題

集団の中で生き生きと学習する子ども

7. 本校の特色

本校は、昭和43年度に統計教育について研究発表を行い、その成果を更に深化拡充するために昭和46年より子どもの自主性を生かす授業の研究をすすめている。

昭和54年度、本校の教育目標の改訂に取り組み、教師、父母、子どものみた長所、短所を洗いだし、それぞれがどんなねがいをもっているかを調査した。その結果素直で明朗で活発である。

元氣よく遊び、与えられた仕事はよくやるが、自主性に乏しく、集中力に欠ける。ねばり強さがなく、発表力に欠ける。特に、基本的生活習慣が身についていない。という児童像がうかびでてきた。そこで、本校の教育課題として、自主性、集中力、耐性、発表力、自己実現、基本的生活習慣、心身の健康、創造性、社会連帯意識等の涵養としてとらえ前記の教育目標を設定した。

また、本校は創立113年の歴史を持つ学校である。そこで、この輝かしい歴史と伝統を継承しさらに飛躍発展させるために、教師、父母、子ども、地域住民一体となって、本校の教育を充実していく。

そのために、昨年度に引き続き「集団の中で生き生きと学習する子どもを育てる」をテーマに、子どもによくわかる授業の研究を深め、子どもたちが学校にくるのが楽しい……という明るい学校づくりに力を入れる。

さらに児童の健全育成を重視し、思いやりのある心の豊かな子どもを育て人間性豊かで、うるおいに満ちた学校づくりをめざしている。

8. その他（教職員の研究歴）

№	内訳	研 究 員	研 究 生	都・文部省委員
1		田中 光穂 (37・国語)	田中 光穂 (26・国語)	田中 光穂 (31、42文)
2		富田 洋子 (52・社会)		田中 光穂 (43・都)
3		田森 脩詮 (48・国語)		
4		山下 法昭 (51・体育)		
5		飯田 国代 (60・特活)		



学 校 名 日野市立日野第五小学校
所 在 地 日野市多摩平6-21-1
電 話 0425-81-0407(代)・0445
順 路 豊田駅北口より京王バス 日野駅行き
五小前にて下車 徒歩3分
甲州街道を通るバス(京王・都)に乗
り日野自動車工場前下車 徒歩5分
児 童 数 男464名 女396名 計860(内病弱児5)

校長氏名 上 山 洋一郎

教頭氏名 福 地 保

1. 沿革の概要

- 昭34. 4. 1 日野町立日野第五小学校開校
4. 6 日野第二小学校、日野第三小学校の校舎を借用し授業開始
6. 8 第1期工事完成 新校舎にて授業開始(現在地)
昭35. 9. 13 第2期工事完成 2部授業解消
昭36. 5. 31 第3期工事完成
8. 28 大プール、小プール竣工
昭38. 2. 20 校章制定
昭39. 3. 11 校歌発表会
3. 25 校旗制定(卒業記念寄贈品)
昭40. 4. 1 芝山分校日野六小として独立
昭42. 2. 23 都、市研究協力校発表会
昭43. 5. 20 体育館竣工
昭44. 3. 3 創立10周年記念式典
昭50. 4. 1 訪問学級設置
昭51. 3. 31 校舎全面的改修着手
昭54. 3. 31 校舎五教室改修
昭55. 3. 31 校舎五教室改修
昭56. 3. 31 校舎六教室改修(H校舎)
給食調理室サッシ改修(外側)
昭57. 3. 31 校庭側旧校舎サッシ改修(外側)
音楽室マド改修
昭58. 3. 31 南側旧校舎サッシ窓改修(1階)
H校舎2階廊下サッシ窓改修
昭59. 3. 31 H校舎1階廊下サッシ窓改修
理科室改修、玄関ドア取付
キューピクル取替、給水管埋設
全面取替、校舎南側生垣にする

昭60. 3. 31 体育館床研磨とボーダーライト
取付、第二音楽室改修

2. 歴代校長

氏 名	年 月	年 月
増 島 光 一	昭34. 4. 1	昭36. 3. 31
浦 上 増太郎	昭36. 4. 1	昭39. 3. 31
福寿寿 文雄雄	昭39. 4. 1	昭42. 3. 31
星 野 正 男	昭42. 4. 1	昭47. 3. 31
荒 井 一 男	昭47. 4. 1	昭49. 3. 31
三 井 知 夫	昭49. 4. 1	昭52. 3. 31
多 昌 直 之	昭52. 4. 1	昭56. 3. 31
田 中 光 一	昭56. 4. 1	昭59. 3. 31
上 山 洋一郎	昭60. 4. 1	

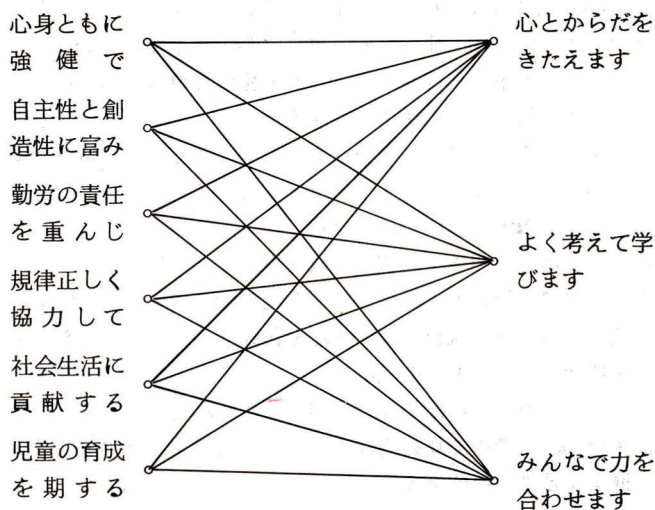
3. 地域の概況

昭和33年日本住宅公団により日野台地が開
発され、多摩平団地が建設された。この一角に
日野第五小学校が設置された。南は中央線、北
は国道20号線(甲州街道)にはさまれ、バス
網が発達し交通は便利である。

団地の住宅以外に住宅街、商店街をかかえ、
付近には日野自動車など4つの大会社があり近
代工業地域に接している。

団地内は公園、緑地、広場などが整備され立
木、芝生に囲まれた空間は静かな住宅地として
よい教育環境となっている。

4. 教育目標〈最後までねばり強く〉



5. 本年度の重点目標「最後までねばり強く、心とからだをきたえます」

6. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ひとりひとりの児童の基礎学力の伸長を期するために、指導計画、教材研究を十分行い児童の思考過程を重視しながら指導にあたる。
- 児童の興味や自発性を尊重し、協力して最後までねばり強く学習するように指導する。特に「学習意欲を高める指導法」の研究（国語・体育）を通して主体的に学習にとりくむ児童を育成する。

イ. 道徳

- 教育目標の具現化を図るため、特に本校児童の実態に即して、③整理、物・金銭の活用⑤自由、責任⑧不とう不屈⑨思慮、節度⑩親切⑪寛容⑫勤労の7項目を強調し、道徳的心情を深化して、道徳実践力のある児童の育成に努める。

ウ. 特別活動

- 毎週一定時程に設定し、学級会活動、委員会活動、委員会活動、学級指導の実践を通して、集団の一員としての自覚を深めるとともに、自主性、協力的態度をもった個性豊かな人間形成に努め、実践力を育成する。
- 代表委員会、各部委員会は、毎月一回ずつ設け、企画・調整・実践活動を行う。

(2) その他の活動

- 創意を生かした教育活動として、1～2時間の集会活動を企画し1年～6年のたてわり活動、兄弟学級の間を設定し、重点目標の達成を図る。
- 毎週火曜日を学級の日とし、各学級、学年で年間を通した計画をたて、個人指導、教育相談、花づくり活動、集会活動などを行う。

(3) 生活指導・進路指導

- 教育目標の具現化を図るため、重点を「きちんと集合する」とし、毎月の目標・具体的方法を設

定し計画・実践・評価のサイクルの中で徹底を図る。

- 4つの生活目標(1) 朝会には静かに早く集まろう。(2) 話をしっかり聞こう。(3) 天気のよい日は、外で元気よく遊ぼう。(4) 使ったものは、きちんとしまおう。
- 進路指導については、児童の個性や能力の伸長・生涯教育などの立場から中学進学・将来の希望などについて、道徳・特別活動の中で指導する。
(中学進学に対する不安を解消し、希望をもって進学するように留意する。)
- 「五小の子どもの一日」の児童用カードの指導を通して、学校および社会生活における基本的行動様式や望ましい生活習慣を身につけさせる。
- 安全指導・避難訓練は、年間11回実施し徹底を図る。
- 美化デー・安全点検日は年間11回設け、校舎内外の清掃・危険箇所を除く。
- 生活指導全体会(年間5回) 職員会議・土曜職員朝会で生活指導・教育相談・心身障害児の問題・指導について協議し、共通理解を図る。
- 進路指導については、児童の個性や能力の伸長、生涯教育の立場から中学進学・将来の希望などについて道徳・特別活動の中で具体的な場を設けて指導する(中学校進学に対する不安を解消し希望をもって進学するように留意する)。

7. 本年度の研究主題

学習意欲を高める指導法の研究(国語・体育)

8. 本校の特色

住宅公団の進出に伴ない、新しい建築様式により建設された。当時は少ない児童数と広く静かな校地の中で理想的教育活動をめざしていた。しかし児童数の急増により、8回に亘る増改築を行ない様相は一変したが、校地内には手入れの行届いた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるよう環境の整備ができています。児童は身長が高く胸囲が狭いという都市型の体位のものが多く、肥満児は最近減少している。学校では、地域や児童の実態に即し、創意をもって日々実践し、成果をあげている。

本年度は特に、心身ともに健全な児童の育成をめざし、望ましい基本的行動様式の習慣化・定着化をめざし、指導の徹底を図るため「最後までねばり強く、心とからだをきたえます」を重点目標にとり上げた。さらに具現化させるため、学級の日や学校行事では体力づくり・運動会・音楽会・演劇教室や兄弟学級による教育活動を設定した。

- 各学年では発達段階に応じ、学習意欲を高める指導法の研究を主題に校内研修活動に力を入れ、自主協力学習を進めていく。
- 火曜日に学級の日を設け、児童相互、児童・教師相互の交流を通じ、教育相談・個別指導・創意ある教育活動を実践していく。
- 兄弟学級の活動を通じ、児童の創意や発想を大切に、ミニハイキング・七夕行事等を通じ、最後までねばり強い活動を推進させる。
- 体力調査を基に、児童が自分の目標をもって、最後までねばり強く挑戦する児童を育成する。

9. その他(教職員の研究歴)

No.	内訳	研究員	開発員	道徳助言研	その他
1		上山洋一郎(42道徳)	高篠雅子(57図工)	上山洋一郎(42・44)	上山洋一郎(海外48)
2		福地保(49教育経営)			
3		伊東学(60書写)			



学 校 名 日野市立日野第六小学校
所 在 地 日野市多摩平3丁目21番地
電 話 0425-81-4686・0366
順 路 中央線豊田駅北口下車 徒歩13分
京王バス 小西六裏門下車3分
児 童 数 男389名 女349名 計738名

校長氏名 石 井 三 士

教頭氏名 増 賀 従 男

1. 沿革の概要

- 昭39. 1. 1 日野第五小学校芝山分校として
設置 児童1年～3年
7学級263名
- 昭40. 4. 1 日野第六小学校として開校
14学級 児童数515名
教職員21名
9. 6 プール完成(6コース25m)
- 昭42. 2. 21 校歌の発表会
- 昭43. 2. 22 児童の体力づくりの研究発表会
6. 19 南校舎(普通教室11、職員室、
校長室)完成
- 昭45. 2. 28 屋内体育館完成
3. 16 落成式挙行(学校、PTA共催)
- 昭47. 2. 28 正門前舗装、北西門取付
3. 「児童の社会性育成の実践指導」
発表(市研究協力校)
4. 「考えさせる授業への手だて」発足
- 昭49. 4. 南校舎3階増築(普通教室5、
音楽室、管理室4)
5. 南門完成
10. 26 給食調理室増改築完成
- 昭50. 3. 18 49年度都愛鳥モデル校に指定
6. 28 開校十周年を祝う会
12. 22 東京都選挙管理委員会より感謝
状を受ける。永年選挙ポスター
コンクールに協力したため。
- 昭52. 1. 10 体育倉庫完成
4. 1 日野市旭が丘小学校分離
- 昭54. 9. 北校舎非常階段完成
- 昭56. 11. 18 六小こどもまつりの実施
- 昭58. 11. 26 展覧会開催(昭和42年以来16

27年ぶり)。

- 昭58. 3.～ 体育館屋根等の塗装、大プール
ビニール張り、南校舎内装改修
- 昭59. 7. 北校舎廊下の張り替え
- 昭59. 8. 中庭の舗装及び排水溝の整備
- 昭60. 3. 小プールのプールサイドモルタル
舗装改修

2. 歴代校長氏名

氏 名	年 月	年 月
加々美 良 英	昭40.4.1	昭43.3.31
峰 岸 敬次郎	昭43.4.1	昭46.3.31
新 海 圭 三	昭46.4.1	昭50.3.31
安 積 利 治	昭50.4.1	昭53.3.31
光 永 久 夫	昭53.4.1	昭57.3.31
石 井 三 士	昭57.4.1	現 在

3. 地域の環境

日野市開発の先駆けとなった多摩平団地と静かな住宅地域の中に位置し、近くに小西六、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的よい。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は法規に基づき、地域社会の特性をふまえ、次のような児童の育成を旨とする。

- 身体と心をきたえる子
- 考えながら学ぶ子
- みんなと仲よくする子
- がんばりぬく子
- 進んで働く子

○生きものを大切にする子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 各教科の指導については、児童の「考えながら学ぶ」態度の育成をめざして、協力教授組織である「ふれあう授業方式」の特性を生かした実践をすすめていく。

イ 教育活動全体にわたって児童の自主的な活動および根気強さを育成するとともに、基本的な生活習慣の定着化をはかる。また特別教育活動を児童の主体的創造的な活動の場とし、協力し合う人間関係を育てる。

ウ たくましい体力づくりのために、全校的な行事や日常の実践活動を企画し、研究をすすめていく。

エ 愛鳥モデル校の指定を生かし、日常的な活動に取り組み児童の生きものを大切にする心をつかう。

オ 教育目標を達成するために、父母および地域との連携を深める。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

○授業研究「たしかな読みを育てる指導法の研究」を追求する。特に国語科を中心とするが、各教科道徳における読みのあり方も研究する。

○自主的な学習、つまづきをなくす授業を学年中心に研究していく。

○基礎学力の充実をはかるため、特に学習に遅れ気味な児童に対し、学年・学級を中心にして、個別的指導を計画する。

イ 道徳

○児童の感動を大切にし、心豊かでやさしさのある人間の育成をめざす。

○進んで働き、労働のすばらしさを感じながらがんばりぬく態度の育成をはかる。

ウ 特別活動

○代表委員会活動を、楽しい学校、規律ある生活をめざす児童の主体的な活動の場とする。特に委員会活動、学級会活との関連を重視する。

○児童の創意を大切にし、自発的に参加できる行事を企画実践する。

○たのしいクラブ活動をめざし、児童の主体的な活動を大切にする。

(2) その他の活動

○協力教授組織を単に、教科、道徳の指導にとどめず、教育活動全体にわたって生かしていく。特に学年集団指導体制を強化する。

○学級・学年・たてわり集団を中心にした創意ある教育活動をすすめていく。

(3) 生活指導・進路指導

○基本的な生活習慣の育成を図る中で、特に、「あいさつのできる子」に重点を置いた指導をする。

○児童の個性を理解し、ひとりひとりの心身の発達に応じた指導をはかる。

○心身に障害のある児童に対し、共通理解をはかり、学校全体で見守り、育成にあたる。

6. 本年度の研究課題

今年度授業研究のテーマを「たしかな読みを育てる指導法の研究」と定め、一人一人の児童の読みを深めていくことを課題として研究をすすめる。又日常の学習態度を育てるために、「聞くこと」の指導を全校で取組んでいく。

7. 本校の特色

- (1) 多摩平団地の造成に伴って新設された団地校である。
- (2) 児童は細長型、都会型の体位をしめし、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
- (3) 父母の教育的関心は高く、父母会の出席状況はよい。
- (4) 児童、教職員一体となって、花壇、自然林、情操池を作成し、学校緑化と環境整備に効果をあげている。都の愛鳥モデル校となり野鳥の愛護にも努めている。
- (5) 「ふれあう授業」として、協力教授組織を導入した指導を試みている。
- (6) 子供が創る学校づくりの一環として、すすんで働く子の育成を目ざしている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員	現 代 化 委 員
1	石 井 三 士 (44. 国 語)	小坂橋 五佐男 (50. 算 数)
2	増 賀 従 男 (56. 国 語)	
3	小坂橋 五佐男 (45. 算 数)	



学 校 名 日野市立潤徳小学校
所 在 地 日野市高幡402番地
電 話 0425-91-0409・0410
順 路 京王線高幡不動駅下車北へ徒歩5分
児 童 数 男278名 女270名 計548名

校長氏名 黒 沢 保 雄

教頭氏名 高 橋 立 身

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 三沢医王寺本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す。
- 明11. 11 三沢701番地に移転し、潤徳学校と称し校舎を新築する。
- 明20. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更。
- 明26. 4 校名を潤徳尋常小学校と変更。
- 明34. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更。
- 明42. 5 分学校昭景尋常小学校を廃止し、落川分校とする。
- 昭16. 4 校名を潤徳国民学校と変更。
- 昭22. 4 校名を七生村立潤徳小学校と変更。
- 昭27. 5 創立80周年記念として、白鳥省吾作詩、信時潔作曲の校歌を作成する。
- 昭33. 2 校名を日野町立潤徳小学校と変更。
- 昭34. 4 給食調理室完成。
- 昭37. 10 大・小プールならびに更衣室完成。
- 昭38. 11 校名を日野市立潤徳小学校と変更（90周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川模型完成）。
- 昭40. 12 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰される。
- 昭41. 3 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成、落川分校廃止。
- 昭44. 2 屋内体育館落成。
- 9 日野市立日野第八小学校分離開校。
- 昭45. 4 日野市立百草台小学校分離開校。
- 昭46. 2 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催。
- 4 普通教室9教室、学校図書館増築。
- 昭昭48. 5 開校百年記念式典挙行記念碑植樹完成

- 昭49. 4 日野市立南平小学校分離開校。
- 昭52. 4 日野市立程久保小学校分離開校。
- 昭55. 9 校庭整備完了。
- 昭56~57 校舎内の塗装完了。
- 昭58. 2 研究発表会（国語）
5 開校110周年記念式典挙行。
- 昭60. 2 研究発表会（全学級公開、国語）

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
大塚四郎右衛門	創 立
覚 井 諦 暁	明 9. 12~明11. 11
和 田 作太郎	明11. 11~明15. 11
土方 喜久太郎	明15. 11~明17. 2
宮 倉 保五郎	明17. 2~明19. 10
小 宮 太之助	明19. 10~明20. 10
須 崎 和 蔵	明20. 10~明31. 3
小 宮 彌一郎	明31. 2~明34. 4
加 藤 菊次郎	明34. 4~明36. 1
佐 藤 良 輔	明36. 1~明42. 4
沖 倉 与 一	明42. 4~明43. 4
荒木田 大 夫	明43. 5~明45. 3
小 宮 彌一郎	明45. 4~大12. 3
平 杉 蔵	大12. 4~大13. 3
矢 沢 久 司	大13. 3~大14. 9
小 泉 栄 一	大14. 10~昭 3. 3
広 井 博 昭	昭 3. 4~昭 7. 9
重 松 正 顕	昭 7. 9~昭14. 7
鈴 木 慶 蔵	昭14. 7~昭22. 2
赤 坂 元 春	昭22. 2~昭27. 9
塚 本 正	昭27. 10~昭37. 3
尾 崎 半次郎	昭37. 4~昭41. 3
塚 本 正	昭41. 4~昭43. 3
溝呂木 桂 次	昭43. 4~昭47. 3
星 野 正 男	昭47. 4~昭51. 3
村 田 安 正	昭51. 4~昭55. 3
黒 沢 保 雄	昭55. 4~現 在

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北は浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に団地や住宅がふえ、ベッドタウンとしての様相を呈するにいたった。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故の必配も多くなっている。また、平日は日野高校、実践女子大学、明星大学、中央大学生の通学に、休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等の行楽に高幡不動駅を中心にその乗降客でにぎわっている。

4. 教育目標

- | | |
|-----|------------|
| 敬 愛 | ◦わかるまで考える子 |
| 自 由 | ◦すすんではたらく子 |
| 勤 労 | ◦思いありのある子 |
| | ◦からだをきたえる子 |

学校の教育目標を達成するための基本方針

人間尊重の精神に徹し、心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成をめざして、教育目標を達成するために特に「自主的に問題に取り組み、やりぬく子どもを育てる」ことを指導の重点として、その具現化をめざす。

- ① 児童の実態に即して具体的な学年・学級目標を設定し、その具現化をめざして学年・学級経営を充実する。
- ② 教育活動全体を通して、児童が主体的・能動的に参加できるように配慮する。
- ③ 児童が主体的に学習する能力の育成をめざし、授業研究を推進する。
- ④ 豊かな人間性を持った児童を育成するため、父母・地域と協力し連携を深める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

児童が主体的に学習する授業の実現をめざし、児童自身がめあてをもって学習に取り組み、やりとげた喜びを味わうことができるよう指導の改善を図る。

- じゅう分な教材研究を行い、児童の思考過程にそった指導自己評価の効果的活用などを通して、基礎的基本的な内容の定着を図る。
- 多様な学習方法の開発、体験的学習のくふうおよび教材教具の活用を図ることにより、学習の効果を高める。
- 健康でたくましい体力づくりをめざし体育指導を充実する。

イ. 道徳

児童相互や児童と教職員との信頼関係を深め、児童が自らすすんでやりぬく道徳的实践力の育成をめざし、充実した道徳指導を行う。

- 基本的行動様式を身につけさせ、意欲的な生活ができるよう指導する。
- 教育活動全体を通して、助け合い思いやりやさしい心を育てる指導をする。
- 資料を効果的に活用することにより、道徳の授業の充実を図る。

ウ. 特別活動

児童の自主的・実践的態度と連帯感を培うことをめざし、集団活動への積極的に参加する意欲を育て高める。

- 学校生活に対し、すすんで考え、主体的に解決しようとする態度を育てる。

- 集団活動の内容や方法をくふうし、児童の自己実現の場を多くとり入れる。
- 児童活動・学校行事等へ参加することをとおして、互いに認め合い助け合う人間関係を育てる指導をする。

(2) その他の活動

明るく充実した学校生活の実現をめざし、創意を生かした教育活動を推進する。

- 学年を越えたたてわりの交流によって、社会性や連帯感を育てる。
- 奉仕的・勤労的体験の場をとおして進んで働き意欲的に物事をやりぬく態度を培う。
- 朝の「読み聞かせ」の時間を設け、豊かな情操を高める。
- 地域の豊かな自然を生かして、自然に親しむ態度の育成をはかる。

(3) 生活指導・進路指導

心身ともに健全な児童の育成をめざし、指導態勢を整え、全職員の共通理解をもとにして徹底した指導に努める。

- 児童と教師の心のふれあいを大切にし、児童理解を深める。
- 学校生活にかかわる望ましい基本的生活習慣の定着化を図る。
- 児童の健康と安全を確保し、危険防止に努める。
- 父母および地域との連携を深め、協力して指導にあたる。

6. 本年度の研究主題

主体的な学習態度を育てる指導法の研究（社会）

7. 本校の特色

本校は開校百十余年の輝かしい伝統と歴史にはぐくまれ今日にいたっているが、近年地域の宅地造成による急激な児童数の増加はプレハブ教室の新增築、そして学校分離の繰り返しを余儀なくされ、落ち着くところのない悪条件のなかをよく全職員・父母一体となって克服してきた。

しかし昭和52年4月程久保小学校分離以来、大規模校としてのさまざまな困難な条件も解消され、適正規模のもとに着々とその成果をあげつつある。さらに教育目標を達成するため施設設備等教育諸条件の整備と教育内容の充実をめざし努力を傾注している。

8. その他（教職員研究歴）

内訳 No	研 究 員	研 究 生	開 発 委 員
1	黒沢 保雄（39.社会）	黒沢 保雄（35.社会）	小笠原久雄（55.特活）
2	高橋 立身（45.教育 方法）	石川 耀子（53.体育）	
3	小笠原久雄（49.特活）		
4	伊沢 裕一（60.教育 課題）		

- 昭和60. 4. 1 都立南平高校開校発足に伴ない、本校新館6教室を同校に貸与する。



学 校 名 日野市立平山小学校
所 在 地 日野市平山4-8-6
電 話 0425-91-4123・0512
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩7分
児 童 数 男382名 女378名 計760名

校長氏名 伊 藤 智 章

教頭氏名 古 屋 光 男

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 宗印寺を仮校舎として開校（真心学舎といい修業年限は8カ年）
明17. 平山598番地に新築移転
校名を平山尋常小学校と改める。
明35. 5 校名を平山尋常高等小学校と改める。
明41. 尋常科を6カ年、高等科を2カ年とする。
昭16. 4 国民学校令の施行により七生村立平山国民学校と改める。
昭22. 4 新学校教育制度の実施により七生村立平山小学校と改める。
昭32. 2 日野町、七生村合併により日野町立平山小学校と改める。
昭38. 11 市制施行により日野市立平山小学校と改める。
昭42. 5 平山4-8-6に移転する。
昭46. 3 滝合小の新設に伴う学区変更、平山小学区は浅川の南側の地区となる。
昭53. 4 平山台小の新設に伴う学区変更、平山苑と京王住宅地区を分離する。
昭54. 9 校庭整地
昭57. 8 校舎窓 屋上 体育館内部補修、
昭58. 5 開校110周年祝賀式典举行
8 本館南側残部 特別教室北側窓取替
昭59. 1 本館北非常用階段設置
3 プール更衣室改修便所を水洗に改修
7 理科室改修
7 給食調理室設備配置替えリフト改修
11 体育館外壁改修
昭60. 3 第二幼稚園移転校庭拡張

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
梁 義 伯	明 6. 5 ～ 明 12. 1
大 沢 教之助	明 12. 1 ～ 明 20. 3
石 井 芳 丸	明 20. 4 ～ 明 30. 5
吉 永 信 丸	明 30. 6 ～ 明 35. 5
小 宮 彌一郎	明 35. 6 ～ 明 45. 3
古 屋 障 司	明 45. 4 ～ 大 2. 5
勝 又 房太郎	大 2. 5 ～ 大 4. 5
平 杉 蔵	大 4. 6 ～ 大 9. 3
上 田 富 弥	大 9. 4 ～ 大 15. 3
杉山 喜知太郎	大 15. 4 ～ 昭 6. 3
石 川 雄 丸	昭 6. 4 ～ 昭 11. 2
鳥 羽 照 司	昭 11. 2 ～ 昭 13. 3
石 谷 倉太郎	昭 13. 4 ～ 昭 21. 3
飯 塚 節 三	昭 21. 3 ～ 昭 22. 3
田宮五郎右衛門	昭 22. 4 ～ 昭 28. 3
森久保 惣 治	昭 28. 4 ～ 昭 34. 3
高 橋 本 義	昭 34. 4 ～ 昭 37. 3
加々美 良 英	昭 37. 4 ～ 昭 40. 3
後 藤 正 太	昭 40. 4 ～ 昭 42. 3
安 積 利 治	昭 42. 4 ～ 昭 47. 3
小 野 晁	昭 47. 4 ～ 昭 51. 3
深 沢 真 人	昭 51. 4 ～ 昭 55. 3
林 元 美	昭 55. 4 ～ 昭 58. 3
伊 藤 智 章	昭 58. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれ、西は八王子市に接する平地。田んぼ、畑等の農地もいくらか残り、自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年は、団地・都営住宅・造成地住宅が建造され、学校周辺は農地の区画整理もすすみ、道路や橋も拡張され市街化されつつあり、他地域からの転住者が多い。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

- | | |
|-----------|--------------------|
| 健康安全教育の充実 | ◦健康で明るい子ども |
| 学力の充実 | ◦よく考えて、最後までやりぬく子ども |
| 自主性の育成 | ◦進んでよいことをする子ども |
| | ◦力を合わせて働く子ども |

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 学校教育目標の中から重点を選定し全校で実践する。
- 各教科領域の中で、平山小学校教育目標を生かし学年間の協力を基礎に、ひとりひとりの児童に定着するようにする。
- 重点研究を中心に教職員の研究活動の質を高め、ゆたかな授業をする。
- 体位・体力の向上を目指し、体育の授業などの充実をはかる。
- 児童朝会・学級指導の時間などを充実させる。
- 教育活動全体および道徳などの時間の中で、人権尊重の教育道徳教育の充実をはかる。
- 学校全体の安全教育・および各学級の安全教育の充実をはかる。
- 児童の能力に応じた個別指導の徹底をはかる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 教材研究を充実させ、楽しく豊かな授業を展開する。
- 重点研究を通して、指導法の工夫をし、効率のよい授業をする。

イ. 道徳

- 学校の中で、望ましい道徳的な心情、態度と実践力を育てる。
- 道徳の時間を充実させ、実践的な態度を育てる。

ウ. 特別活動

- 児童会活動を中心に、委員会活動、クラブ活動等を通して、自主性を育て、協力する態度を育成する。
- 学校行事を通して、学校集団がまとまって行動することのよこびや、意義などを体験させる。

(2) その他の活動

- 学級の時間を設定して、ひとりひとりの子どもと深く接触しながら、個性に応じた教育をする。
- 地域の特性を生かして、生産的行事をする。
- 基礎学力の充実のために、「まとめの時間」を特設する。

(3) 生活指導・進路指導

- ひとりひとりの個性を生かし、学校生活、社会生活を、自分からつくっていけるように指導する。
- 安全教育には、特に留意する。

6. 本年度の研究主題

「子どもの読解力を高めるための指導法の研究」

7. 本校の特色

- (1) 本校は開校110余年の歴史と伝統をもつ学校である。児童の中には、曾祖父母・祖父母・父母と4世代にわたって在校した者もある。学校周辺の開発が進み新しく居住する者も多い。したがって地域からは、多様な要望が多く、また期待も大きい。この中で古き良きものを大切にし、新しさを求め、良い校風をつくることに励んでいる。
- (2) 児童は、すなおであるが、やや主体的な活動力を欠き、ねばり強さが少ない。教育目標に、「最後までやりぬく子」を定め教育をすすめている。
- (3) 校内には、131m²の大花だん、借用学級園もありこれらの環境を最大限に生かし、情操豊かな児童の育成に努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	現代化委員	研 究 生	多摩地区 教育推進委員
1	古屋光男（37.理科）	大上琢磨（50.体育）	伊藤智章（46.国語）	古屋光男（54）
2	末次久利（57.算数）			



学 校 名 日野市立日野第七小学校
所 在 地 日野市神明3-2
電 話 0425-83-3907・3908
順 路 国電 中央線日野駅下車 徒歩約10分
児 童 数 男375名 女353名 計727名

校長氏名 和田 國平

教頭氏名 小形 裕

1. 沿革の概要

- 昭48. 4 ○日野市立日野第七小学校として開校。12学級 児童384名
○トラックを除く運動場全面に洋芝の植付け。
- 6 ○校章制定
9 ○校旗制定
12 ○校歌制定
- 昭49. 3 ○日野市立日野第七小学校「校舎・体育館落成記念式」及び「校歌」発表会
○3月1日を開校記念日に制定
○第1回卒業式 45名卒業
- 4 ○開校2年めの入学児童77名
- 昭52. 4 ○開校5年め 入学児79名・13学級となる。教室不足のため、プレハブ2教室増設
- 10 ○校舎の増築工事着工
- 昭53. 4 ○学級数14となる。
- 5 ○増築工事竣工 普通教室6 図書室1教室
- 昭54. 4 ○第7回入学児童93名
15学級となる。職員23名
- 昭55. 4 ○第8回入学児童111名
17学級となる。職員24名
- 昭56. 4 ○第9回入学児童128名
○転入児童2年以上82名
○18学級となる。職員25名
- 昭57. 4 ○第10回入学児童128名
○19学級となる。職員26名
- 昭58. 4 ○第11回入学児童107名
○増築工事竣工、普通教室4、教材

室等3、昇降口、便所

- 昭58. 4 ○創立10周年記念式典
昭59. 4 ○第12回入学児童123名
昭60. 4 ○第13回入学児童120名

2. 歴代校長

	氏 名	年 月～年 月
初代	星 野 武 之	48. 4.1～52. 3.31
2代	上 部 正 彦	52. 4.1～56. 3.31
3代	梅 田 茂	56. 4.1～58. 7.27
4代	和 田 國 平	58. 9.1～ 現 在

3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅から西へ線路ぞいに徒歩で約10分。日野台地に設置されている。本校の所在地は、日野市神明にあり、校舎の周囲は、住宅が建ち始め、昔ほどの緑は眺められなくなっている。

屋上に登ると、南には多摩丘陵、西には秩父山地や丹沢山地をへだてて富士の秀麗が眺められる。また、この日野台地には、遺跡が発掘されるという。まことに環境に恵まれた場所に設置されている。

本校の児童の約72%は中央線の線路を経だてた西側の住宅地に居住している。この地域は、ここ10年余りの間に、旧甲州街道ぞいに急に増設されてきた、新興住宅地帯で、都営住宅・分譲住宅が主である。尚本校の周囲には、大学市庁舎・消防署と、子どもが学習するに最適の地域として恵まれている。しかし、最近、南側を東西に走る道路の交通量のピークが、児童の登校時刻と合致し、しかも中央線をまたぐ陸橋

を利用する児童数が圧倒的に多いことから、交通事故発生の心配がある。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調とした、調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標の具現化に努める。

- 自分の力で考える子
- 思いやりのある子
- 力いっぱいやりとおす子
- じょうぶな体をつくる子

学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア、生涯学び続ける児童の育成を目指し、各教科等の基礎的・基本的内容を身につける。
- イ、心身ともに健康で、たくましく生き、互に心のふれあいを大切にすることを通して、心豊かな児童の育成を図る。
- ウ、児童が自ら学び活動することによって、将来自己実現を図れる基礎を養う。
- エ、学校教育活動の中核をなす、授業の充実を図り、児童の個性や能力に応じた指導法の改善に努める。
- オ、地域に根ざした教育活動を通して「心のふるさと」となる学校、郷土の形成者としての資質を養う。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各 教 科

- 基礎的・基本的事項を身につけさせるために、学習活動の充実をはかる。
- 児童が、自ら学ぶ学習活動のあり方をくふうする。
- 授業の充実をめざし、教育環境の整備に努め、活用をはかる。

(2) 道 徳

- 道徳時間の充実をめざし、自主・自律、思慮・節度、自然愛護、勤労を特に重点項目とした指導を進めるとともに、実践力を育成する。
- 全教育活動を通し、思いやりの心を育てることによって、人間愛への高揚に努める。

(3) 特 別 活 動

学級会活動を基盤とし、児童会活動・クラブ活動への一人一人の参加意識を高めることにより、自主的な態度と、思いやりのある心を育て、健康で明るい充実した学校生活をおくらせる。

(4) その他の活動

- 創意ある教育活動の推進にくふうを加え、児童の連帯意識を育てる。
- 特別活動との関連を図りながら、七小児童の一員としての意識を高める。
- 地区別や兄弟学級活動を通し、児童相互及び教師との心のふれあいをはかる。

(5) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、相手の立場を考えて行動できる児童の育成に努める。
- 全教職員が共通理解のもとに、児童の健全育成をはかる。
- 校内・校外の安全指導の徹底をはかる。
- 校外生活指導の充実をはかるとともに、父母・地域の協力を得、連帯感を高める。
- 小学校・中学校の連携を密にし、生活指導のいっそうの充実をはかる。

4. 進路指導

- 児童理解に努め、児童が自己の個性を自覚できるように援助する。

6. 本校の研究主題

「豊かな心を育てる学習活動の工夫」

－国語教育における児童の実態と課題を明らかにする－

- 本校の重点目標「思いやりのある子」を国語科を通して育てることを目標とする。
- 研究一年次で、まず、本校児童の実態を把握し、国語教育の現代的な課題を明らかにする。
- 授業研究を核とし、研究の方向を見だし、二年次以降の研究の方向を焦点化していく。

7. 本校の特色

- (1) 中規模校の特性を生かした学校づくりを進める。

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を進めるために、児童相互・児童及び教師・教師相互の交流を、創意ある教育活動を通して深める週時程を編成している。

- (2) 学校環境をより充実させる。

本校は一昨年、開校十周年を迎え、校舎増築も竣工した。今年度、学校が整えるべき学習環境及び自然環境の充実のため、環境委員会を中心に、将来あるべきビジョンの設計と、環境保全のための全体計画を作成し、実施に取り組んでいる。

- (3) 校庭緑化の一環として、校庭の芝の保全と補植に努める。

芝で逆立ちする子、寝ころんで天を仰ぐ子、読書する子、ときには、緑のマットとなり、緑のジュタンとなって子どもたちの心をはぐくんでいる。これをいっそう深めるために、創意ある教育活動の一環として、学年を解体した縦割りの組織の中で、児童と教師が協力しあって、芝の保全と補植を進めている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 生	研 究 員	現代化委員	開 発 委 員
1	秋 山 憲 一 (58)	小 形 裕 (40)	小 形 裕 (51)	長 田 正 夫 (52)
2		伊 勢 恒 二 (59)		秋 山 憲 一 (54)



学 校 名 日野市立日野第八小学校
所 在 地 日野市三沢 200
電 話 0425-91-2411・2412
順 路 京王線高幡不動駅より東へ徒歩15分
児 童 数 男345名 女333名 計678名

校長氏名 波 谷 義 一

教頭氏名 渡 辺 孝

1. 沿革の概要

昭 44. 1. 2 開設が決定。工事に着手。

4. 1 八小関係の教員並に児童を分離し、授業を開始。

8. 16 日野第八小学校開校。

校長 金子武夫 教頭 長井新次郎着任

教諭16名 事務主事1名が補せられる。

9. 1 415名の児童に転入学通知が出されたが、校舎未完成のためそのまま潤徳小で授業を行う。

11. 1 開校式を挙行。開校記念日と決定。

11. 25 校舎落成祝賀式挙行。

昭 45. 1. 15 公募により校章決定。

4. 1 14学級となり、プレハブ2教室増築。

7. 15 校旗ができる。

7. 16 25m6コースのプールが完成し、プール開きを行う。

9. 7 校歌完成。作詩 米津千之、作曲 渡辺浦人。

昭 46. 4. 1 15学級 プレハブ教室増築。

6. 4 社会教育のための校庭開放を実施する。

9. 15 体育館工事着工。

昭 47. 2. 15 体育館落成式を挙行する。

4. 1 プレハブ2教室増築。

プレハブ5教室使用。

6. 20 西武百草団地入居のため250名の児童転入。

昭 48. 3. 本校舎8教室の増築完了。

5. 校地前程久保川の工事完了。

昭 49. 3. 1 校門が完成。

4. 1 学級増のため、プレハブ5教室を使用。

8. 15 プレハブ2教室が増設され、図書室、教材室として使用。

9. 10 都市水道に切替え。

昭 50. 1. 20 校地拡張。西門整備完了。

2. 20 第3期増築完了。普通教室6、教材室2、非常階段、更衣室、自転車置場、危険物貯蔵庫、投てき板。

7. 15 プール市水切替工事完了。

10. 25 体育館床塗替え。

12. 20 砂防(10×8m)完成。

昭 52. 4. 16 プレハブ教室、調理室改修工事完了。

昭 53. 4. 15 プレハブ2階建工事完了。教室8、図書室、音楽室として使用。

昭 54. 3. 31 プレハブ2階建2教室増築工事完了。

11. 17 開校十周年記念式典。

昭 55. 3. 31 三沢台小学校を分離。プレハブ全教室を撤去。

昭 57. 9. 10 運動場全面改修完了。

昭 59. 8. 31 防球フェンス(5×90m)完成
図書室(2教室打抜き)完成

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
金 子 武 夫	昭 44. 8 ～ 48. 3
岡 本 省 吾	昭 48. 4 ～ 53. 3
古 谷 洋 太	昭 53. 4 ～ 58. 3
渋谷 義 一	昭 58. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

学校は、京王線高幡不動駅と百草園駅の中間に位置している。学区は東西に細長く、学校まで徒歩で40分位要する児童もいる。周辺は、開発途上にあり、田をつぶして住宅・商店が建設され、都市化が著しい。通学路の殆んどは、旧農道のため細長く曲がりくねっていて危険である。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

個性が豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして、次のような子どもを育成する。

- ア. 健康でたくましい子
- イ. 深く考えやりぬく子
- ウ. 美しく豊かな心の子
- エ. 力をあわせはげみあう子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 教師と児童、児童相互の人間関係を深め、互いに尊重し合う教育を推進する。
- イ. 全教育活動を通して、誘惑にまけない強い心やたくましい体力を養うようにする。
- ウ. 日々の授業の充実を期し、教師の指導力を高める。
- エ. 家庭・地域と連携して、学校教育目標の達成に努める。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各 教 科

- 学習課題をつかみ、課題追求の方法を工夫し、調べたり、結果をまとめたり、考えを深めたりする学習方法を身につけさせる。
- 全教育活動を通じ、学ぶ喜びを知り、学ぶ意欲を高める。

イ. 道 徳

- 自然を愛し、学校・郷土を愛する心を育てる。
- 人間として生きるための基本的徳性を磨き、正しい判断力・実践力を強める。

ウ. 特 別 活 動

- 児童を活動に進んで参加させ、ひとりひとりを生かしながら、自主性・社会性を伸ばす。
- 汗と感動のこもる学校行事を計画し、生きる喜びを味わわせる。

(2) その他の活動

- 異年令集団による諸活動により、連帯感、責任感を育てる。
- 特別活動との関連を密にし、練習・発表・交流の場を設け、所属感・充実感・成就感を持たせる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 正しいことばづかい、人との接し方を身につけ、物を大切にする心を育てるため、次の事項を重点指導する。

- 積極的にあいさつさせる。
- 友だち間のことばづかいの乱れを直し、話をきちんとさせる。
- 整理整頓、持ち物への記名をさせる。

イ. 全教育活動を通し、個性を伸ばすように努める。また、勤労意欲を高める指導内容を工夫する。

6. 本年度の研究主題

「児童の主体性を高める指導法の研究」－国語（表現）を通して－

7. 本校の特色

- ① 「きれいな学校」「明るいあいさつ」「正しいことば」が、本校の努力目標である。そこで、広い意味での教育環境づくりに力を入れている。
- ② 教師手づくりの各種遊具を使用しての体育活動や遊びを通して、子どもの体力づくりや創造性を伸ばしている。
- ③ ４・５・６年の男女児童の特別サッカークラブ員が、早朝と放課後、教師の指導のもと練習に励んでいる。サッカー技術の向上、体力づくり、健全育成の面で効果をあげている。

8. その他（教職員の研究歴）

№	内訳	研 究 員	研 究 生
1		渋谷義一（４ 1.理）	渋谷義一（４ 2.理）
2		渡辺 孝（４ 8.社）	畑中隆宏（５ 6.特活）



学 校 名 日野市立百草台小学校
所 在 地 日野市百草 9 9 9
電 話 0425-91-0997~0998
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバス
にて5分、百草センター下車
児 童 数 男349名 女298名 計647名

校長氏名 村 松 徹 二

教頭氏名 有 泉 徹 郎

1. 沿革の概要

- 昭44. 8. 12 校舎新築起工。
12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校として潤徳小学校内で授業開始。
- 昭45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新校舎に移転開校する。学級数8
児童数118、教職員16、市職員3。
6. 1 開校式挙行、6月1日を開校記念日とする。
9. 1 高幡台団地の入居により児童数増加、296名となる。学級数11、教職員17。
- 昭46. 3. 8 校旗・校歌発表会を開き、3月8日を制定記念日とする。
3. 25 第1回卒業式、卒業生34名。
4. 6 児童数604、学級数16、教職員23、市職員3。
4. 30 校舎北側の埋立工事完了。
7. 13 プール工事完了、大プール、小プール、シャワー、更衣室、機械室竣工。
12. 15 体育館新築工事着工。
- 昭47. 2. 12 調理室火入れ式、調理開始。
3. 25 第2回卒業式、卒業生44名。
3. 31 高幡台小学校の新設にともなう学区変更
4. 1 高幡台小学校新設により、児童数416、学級数12、教職員18となる。
6. 17 体育館落成式挙行。
- 昭48. 3. 24 第3回卒業式、卒業生43名。

- 昭48. 4. 6 児童数463、学級数13、教職員20。
9. 26 校舎新築工事開始。
- 昭49. 3. 25 第4回卒業式、卒業生39名。
3. 31 増築7教室竣工。
4. 6 児童数541、学級数16、教職員24。
- 昭50. 3. 25 第5回卒業式、卒業生48名。
4. 7 児童数613、学級数17、教職員25。
- 昭 第6回卒業式、卒業生56名。
4. 1 増築校舎完成。(普通教室7、図書室1)
4. 6 児童数700、学級数17、教職員25。
- 昭52. 3. 25 第7回卒業式、卒業生77名。
4. 6 児童数738、学級数18、教職員26。
- 昭53. 3. 25 第8回卒業式、卒業生79名。
4. 6 児童数779、学級数20、教職員28。
- 昭54. 3. 24 第9回卒業式、卒業生67名。
4. 6 児童数799、学級数21、教職員30。
5. 31 開校10周年記念式挙行、記念誌・タイムカプセル作成。
10. 31 校庭南側の階段上に正門落成。
- 昭55. 3. 25 第10回卒業式、卒業生110名。
4. 1 学区変更により、梅が丘地区の児童45名が日野第八小学校より転入。
4. 7 児童数780、学級数21、教

職員 28、講師 1。

昭 56. 3. 25 第 11 回卒業式、卒業生 95 名

4. 7 児童数 730、学級数 18、教
職員 25。

昭 57. 3. 25 第 12 回卒業式、卒業生 102 名。

4. 6 児童数 702、学級数 18、教
職員 25 名。

昭 58. 3. 25 第 13 回卒業式、卒業生 111 名。

4. 6 児童数 665、学級数 18、教
職員 25。

昭 59. 3. 24 第 14 回卒業式、卒業生 111 名。

4. 6 児童数 653、学級数 18、教
職員 25。

昭 60. 3. 25 第 15 回卒業式、卒業生 115 名。

2. 歴代校長

岡 本 省 吾 45. 4. 1 ~ 48. 3. 1

村 田 安 正 48. 4. 1 ~ 51. 3. 1

田 中 春 男 51. 4. 1 ~ 55. 3. 1

竹 内 音 治 55. 4. 1 ~ 58. 3. 1

志 賀 頼 治 58. 4. 1 ~ 59. 9. 8

村 松 徹 二 59. 10. 1 ~ 現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成された百草団地と梅が丘団地とが主な学区域である。団地の内外ともに起伏が多く、まわりには緑豊かな、静かで変化に富んだ高台がある。

眼下には、浅川がゆっくりと流れ、その向うには、日野市街に続いて立川まで一望に見渡すことができる。近くには、多摩動物公園や百草園等があり、日曜日には、都塵をさけたリクリーションの人々にぎわう。

自然にいだかれた、よい環境といえよう。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

- 元気な子ども
- 考える子ども
- 働く子ども
- 助け合う子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 教育目標の意義及び具体的実践について、教師の共通理解を深める。
- ② 体力の向上をめざし、子ども自らがきたえる場を設定していく。
- ③ 基礎的・基本的内容をしっかりと身につけ、これをもとに考える力を育てるため、子どもの心の動きや個性・能力を大切に、子どもの側に立った授業の充実をはかる。
- ④ 教員目標を総合的に達成するために、創意を生かした教育活動及び学級指導の時間の充実をはかる。
- ⑤ 教育目標の父母家庭への浸透をはかり、理解を深めると共に、子どもの家庭の中での実践化について協力を求める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

児童自らが考え、意欲的にとりくむ学習をめざして

- 創意ある発問や課題の提示をはかる。
- 体験や行動をとり入れた学習を大切にしていく。

- 教材や教具の活用をはかる。
- 教職員の協力による授業研究をすすめる。

イ. 道 徳

道徳の時間だけでなく、学校生活全体の中から問題をほりおこし、ひとりひとりの子どもの心情にはたらきかけ、実践化につながる指導をすすめる。

ウ. 特別活動

- 児童の創意や発想を大切にし、児童が自発的に参加する学年や学校の行事を積極的に企画推進する。
- 役員会を中心とし、児童総会、代表委員会、学級会、各種委員会など相互に連絡協力し合わせることによって、指導効果を高める。

(2) その他の活動

- 月曜日5校時（1、2年生）、6校時（3年生以上）を学年学級を中心とした創意ある教育活動の時間とし、学年または学級内の協力による児童の自主的な活動をすすめる。
- 隔週木曜日の6校時（必要に応じて5校時）を全校児童を対象とした創意ある教育活動の時間とし、ゆたかな人間性の育成を旨とする児童の自主的な活動をすすめる。
- 体力増強に重点をおき、児童自らが自分の目標をもって達成への努力を重ねるようにしむける。

(3) 生活指導・進路指導

- 学校生活全体をととして集団生活のきまりを身につけさせ、秩序ある安全な生活と協力の心を育てる。
- 学校環境の美化、清掃活動への積極的参加をととして、公共物を大切にする態度や勤労の精神を養う。
- 基本的生活習慣を身につけさせ、より良い社会人となることをめざす。
- 指導を一過性のものとせず、評価と見届けを大切にし、成就感、満足感を味わわせるとともに、定着化をはかる。

6. 本年度の研究課題

「ひとりひとりを生き生きと学習にとりくませる授業の研究」

7. 本校の特色

在学児童のおよそ90パーセントが、住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は選備され、専用の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高い。しかし、反面学区が狭く、変化を求め土のにおいに無限の魅力を感じているのが本校児童の実態である。

8. その他（教職員研究歴）

内訳 No.	研 究 員
1	村松 徹二（41理）
2	有泉 徹郎（54国）
3	高倉 教行（51特活）
4	佐々木加津子（49保健）



学 校 名 日 野 市 立 滝 合 小 学 校
所 在 地 日 野 市 西 平 山 2 - 3 - 1
電 話 0 4 2 5 - 8 3 - 5 1 7 2 ・ 5 1 7 3
順 路 京 王 線 平 山 城 址 公 園 下 車 徒 歩 1 0 分
児 童 数 男 4 9 3 名 女 4 2 9 名 計 9 2 2 名

校長氏名 野 口 昭 平 教頭氏名 波多野 坦

1. 沿革の概要

- 昭 44. 12. 26 敷地購入（仮称第11小学校）
昭 46. 3. 31 南校舎（A棟）完成。プレハブ校舎仮設使用。
4. 1 日野市立滝合小学校開校。
20学級編成・教職員27名
市職員6名
4. 6 第1回入学式・始業式
4. 30 運動場体育固定施設の設置
5. 30 北校舎（B棟）完成
6. 1 開校記念日
6. 5 掲揚塔、水飲場、足洗場完成
6. 30 給食室竣工
7. 1 学校給食開始
7. 20 プール竣工
10. 1 校庭鉄柵竣工、花壇・池完成
12. 1 校章、校歌制定
昭 47. 1. 21 エルサドバドル国教育局次長視察
2. 20 体育館・校内通路完成
2. 25 落成式
3. 25 第1回卒業式（卒業生78名）
昭 50. 2. 18 体力作り研究発表
4. ～ 校庭植樹250本
昭 51. 8. 動物園完成
3. 旭が丘小分離（児童201名）
4. 校地内に学童保育所完成
6. プール補修工事
昭 53. 9. 26 校庭全面整備完了
11. 排水工事・避難設備完了
昭 58. 8. 中庭舗装排水工事完了
昭 59. 8. 30 給食室タイル・壁修理完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
峰 岸 敬次郎	昭 46. 4 ～ 50. 3
鈴 木 英 夫	昭 50. 4 ～ 53. 3
梅 田 茂	昭 53. 4 ～ 56. 3
鈴 木 敏 郎	昭 56. 4 ～ 59. 3
野 口 昭 平	昭 59. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は、日野市の南西にあって、校庭の南に浅川が流れ、その向こうに緑の多摩丘陵が続く。周囲に田畑が多く、屋敷森等ものこる田園の中に位置している。小鳥のさえずりも聞かれ、冬には浅川周辺に数多くのわたり鳥がみられる。

しかし、学校周辺には数多くの住宅が建ちつつあり、児童数は多く、日野市の学校の中でも一二といわれるほどになっている。学区域は、中央線の南側、豊田駅の近くまでと広く、通学時間で30分ぐらいの児童もいる。

近年、学校前の道路を通過する自動車が増え交通事故の危険は増大しつつある。

4. 教育目標

本校の教育は、教育基本法・学校教育法に基づき、教育委員会の基本方針をふまえ、地域の特性・児童の実態に基づき次の目標をめざして行う。

ア健康でたくましい子ども（身体と心の健康）
イ勉強に努力する子ども（本気で取り組む）
ウ進んで協力し実行する子ども（みんな仲よく）
エ生きものを大切にする子ども（思いやりと信頼）

○学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 教育目標を日常の指導に生かしていくために、学年・学級の実態、児童の発達段階に即した具体的目標を設定し、日々の実践活動を進める。
- イ. 学習指導に際しては、立案・反省を確実に行之指導法を工夫する。児童に学習課題をつかませその課題解決指導にあたっては、ひとりひとりを生かす授業の展開に努める。
- ウ. 基本的生活習慣・自主的生活態度についての教職員の共通理解を広げ一体的指導体制により児童の指導にあたる。
- エ. 個々の教師の特性を生かし協力的で創意あふれる指導と学年・学級経営の充実とを推進する。
- オ. 父母や地域の意見・要望を生かすとともに、学校教育について正しい理解を得るように努める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 1) 各教科の目標をふまえ、児童の実態に即し、計画を密にした指導を進め基礎的・基本的事項を確実に身につけさせる。
- 2) 児童の主体性を尊重し、自ら学ぶ意欲と態度を養うとともに、ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた授業により豊かな人間性を育てる。

イ. 道徳

- 1) 人間尊重の精神に基づき思いやりのある心と自らを厳しく律する強い意志とを育成する。
- 2) やさしい心を持って動植物はもちろんのこと、広く自然を愛護する気持ちを培う。

ウ. 特別活動

- 1) 変化と喜びのある活動を通して、児童の自主性・創造性を生かし、ひとりひとりの積極性を高める。
- 2) 計画・分担・協力し合いながら、学校・学年・学級としての連帯意識の高揚をはかるとともに実践力を伸ばす。

(2) その他の活動

- 1) 児童の体位・体力の向上をめざして、施設・遊具の活用と管理を充実し児童ひとりひとりが課題をもって取り組み、目標達成に努める。
- 2) 特別活動、保健指導等との連携を密にして、各種の実践活動、集会活動を実施し学校生活のいっそうの充実をはかる。
- 3) 学校の教育環境の整備・美化を積極的にすすめ、勤労の精神を培う。

(3) 生活指導・進路指導

- 1) 学校のきまりを日々の教育活動に結びつけ、実践について反省を加え家庭と密接な連絡をとって基本的な生活行動様式、規律ある生活態度の充実をはかる。
- 2) 全教育活動を通して自他の長所を見つけ出し認め合いながら、よりいっそう個性を伸ばそうとする意欲を高める。

6. 本年度の研究主題

豊かな表現力を育てる指導法の研究－国語の指導を通して－

本校の児童には、表現力に乏しいところがある。内に秘められたものを人にわからせるような手段に欠けていると考えられる。どの子にも、生きるあかしの感動があり、人に伝えたい心の欲求が必ずあるものである。それを引き出し、導き出すことにより、豊かな表現力を身につけ表現する喜びを味

わわせることをねらいとする。

7. 本校の特色

校地面積 21391 m^2 という恵まれた校地の中に一周 200 m のトラック、バスケットコート二面、二の字形にならんだ校舎、周辺部に動物園、花だん、プール、体育館があり、おちついた空間を作っている。

校庭に作られた、児童・職員の労作による古材利用の遊具（だっこちゃん、滝合峠・ピョンピョン丸太・宇宙遊泳）や、固定施設（砂場・遊び山・シーソー・ジャングルジム・すべり台・ブランコ・登り棒・雲梯・鉄棒・回転シーソー・タイヤ群・ジャンピングタッチ等）は、本校を象徴するものであり、児童の体力向上に役立っている。

児童は全般的に素朴・純情・素直などの美点を持ち、活発に行動する元気な子が多い。父母の学校教育への理解は深く、きわめて協力的である。学校行事には、積極的に取り組み、大いに内容を盛り上げている。交通安全指導には P T A として主体的に計画実施するなど、学校と家庭との連携の協力の実を上げている。

8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	開 発 委 員	道徳助言研
1	野 口 昭 平 (40. 道 徳)		野 口 昭 平 (42、43)
2	波多野 坦 (45. 国 語)		
3	石 川 成 子 (52. 家 庭)		
4	岡 本 美 治 (56. へき地教育)		
5	林 亀 三 (57. 体 育)		



学 校 名 日野市立高幡台小学校
所 在 地 日野市程久保550
電 話 0425-91-7011・7012
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
5分 高幡台団地下車
兄 童 数 男328名 女315名 計643名

校長氏名 津野田 昭 二 教頭氏名 内 藤 康

1. 沿革の概要

- 昭46. 8. 7 校舎新築工事起工
昭47. 3. 10 校舎完成
4. 1 日野市立高幡台小学校として開校
鉄筋三階建校舎 普通教室12、特別教室4、特別室9、学級数12、児童数402名、教職員18名、市職員2名
5. 27 高幡台小学校PTA設立総会
6. 24 開校式
本日を開校記念日とする
8. 1 プール完成、プール開き挙行
昭48. 2. 24 校旗、校歌制定
3. 24 第1回卒業式
卒業生 1学級 33名
10. 6 体育館落成式、体育選手模範演技
昭49. 3. 25 第2回卒業式
卒業生 2学級 46名
4. 1 第一期増築工事完成
普通教室9、図書室1、職員室
改造工事
昭50. 3. 25 第3回卒業式
卒業生 2学級 55名
昭51. 3. 25 第4回卒業式
卒業生 2学級 63名
昭52. 3. 25 第5回卒業式
卒業生 3学級 97名
昭53. 3. 25 第6回卒業式
卒業生 3学級 78名
4. 1 第二期工事完成

普通教室9、教材室3

- 昭54. 3. 24 第7回卒業式
卒業生 3学級 98名
昭55. 3. 25 第8回卒業式
卒業生 3学級 108名
昭56. 3. 25 第9回卒業式
卒業生 3学級 116名
昭57. 3. 25 第10回卒業式
卒業生 3学級 127名
昭58. 3. 25 第11回卒業式
卒業生 3学級 109名
昭59. 3. 31 非常階段(旧館)完成
昭59. 3. 25 第12回卒業式
卒業生 3学級 137名
昭60. 3. 25 第13回卒業式
卒業生 3学級 134名

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
平松健太郎	昭47.4.1～54.3.31
手代木和夫	昭50.4.1～54.3.31
近内 信輝	昭54.4.1～58.3.31
津野田昭二	昭58.4.1～現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地がおもな学区である。高幡台団地は5階～11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐるし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が

望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校から眺める景観はまことに美しくかつ壮大である。

近くには、多摩動物公園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。

4. 教育目標

(1) 学校教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざしてつぎのような子どもを育成する。

- | | |
|------------------------|---------|
| ◦ あたたかい心で 助け合う子ども | ㊦ すけあう子 |
| ◦ よく考え、自分からすすんでやりぬく子ども | ㊧ ながえる子 |
| ◦ 働くことのすばらしさを身につけた子ども | ㊨ たらく子 |
| ◦ 健康で明るい子ども | ㊩ くましい子 |

(2) 学校教育目標を達成するための基本方針

- ① よく考え自分から進んでやりぬく態度を養うための指導方法を工夫し、わかりやすい授業を目指すとともに基礎的・基本的事項の学習内容を確実に身につけさせる。
- ② 本校児童の実態をふまえ、日常の児童活動の活性化を図り、自主的・自立的な態度を養う。
- ③ 教育活動全体を通して、人権・人命の尊重に徹し、思いやりと協調の心を育てる。
- ④ 保護者・地域との連携を密にし、開かれた学校をめざしながら、教育に対する相互理解を深める。
- ⑤ 効果的な体育指導をめざした校内研修を充実させ、教育活動全体を通して児童の体力向上、本校児童の実態と地域的環境を考慮し、健康の保持と体力増強をめざし、教科体育指導の充実を基本としながら、体育行事の充実を図る。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

- 教材内容を精選し、ゆとりのある授業を展開につとめ、基本的・基礎的内容を確実に身につけさせる。
- 視聴覚機器の利用・資料等の効果的な活用を通して、子どもにわかる授業の確立につとめる。
- 授業研究（体育）を通して、個々の児童が目標をもち、よく考えて学習にとりくむ実践力とやりぬく態度を育成する。

イ 道徳

- 集団生活のきまりや望ましい行動の習慣を身につけさせる。
- 相手の立場を認め、力を合せものごとをやりぬく態度と実践的道德性を涵養する。
- 自然や人を大切にし、公共心の育成をはかり、物を大切にする態度を身につけさせる。

ウ 特別活動

- 児童会の計画・運営による行事（ゲーム大会、七夕集会・夏休み作品展・全校遠足・6年生を送る会等）を通して、異年令児集団の活動の活発化を図る。
- 学校行事・児童活動を通して重点目標の自主的・自律的な実践力を育成する。

(2) その他の活動

- 学年を越えた子どもの交流を通し、また校外地区班の活動を通して、地区での連帯意識の高揚を図る。

- 学年・学級の裁量の時間を通して、体力向上の実践・基礎学力の充実のための補習・集会等を実施し充実した学校生活づくりに努める。
- (3) 生活指導・進路指導
 - 日常生活に必要な基本的な行動様式・規律ある生活態度の育成を学校生活全体を通してしっかりと身につけさせる。
 - 校舎内外の環境美化に努めるとともに、たてわり活動を通して人を思いやる心を育て、交友関係をより円満にする指導を深める。
 - 勤労についての正しい認識をもたせ、人間として生きぬくことの大切さを理解させずんで働く態度を養う。
 - 児童理解に努めるとともに、児童が自己の個性を自覚するように教育相談的手法を生かして、より高い目標をめざして努力する態度を養う。

6. 本年度の研究主題

「効果的な指導法の研究」 (体育)

7. 本校の特色

団地校であることから家庭の生活程度は平均しており、児童の知能程度も比較的高く較差が小さい。反面閉鎖的傾向が見られ、他の人との連り、連帯意識に弱さがある。また、団地の中だけに固まりがち傾向が、子どもの遊び等に顕著である。このような実態を考え、子ども相互の縦横の連りを深め、広げることを、また、隣接地域の風にふれさせることにより広い視野を持つ目を育てる意味等から次のことを重点にして実践する。

◦たてわり活動

小運動会 七夕集会 夏休み作品展
 全校たてわり遠足 お正月遊び会 豆まき集会
 卒業生を送る会

◦隣接校（程久保小）との交流

クラブ交流

8. その他（教職員の研究歴）

No. 内訳	研 究 生	研 究 員	中 央 研	そ の 他
1	内 藤 康 (49 体育)	内 藤 康 (45 体育)	内 藤 康 (56)	内 藤 康 (58 海外派遣)
2		長 沼 正 幸 (58 理科)		



学 校 名 日野市立南平小学校
所 在 地 日野市南平4-18-1
電 話 0425-92-2021・2022
順 路 京王線南平駅より徒歩15分
児 童 数 男375名 女330名 計705名

校長氏名 鈴木 敏 郎 教頭氏名 荒 木 健 治

1. 沿革の概要

- 昭48. 12. 17 日野市教育委員会において、南平小学校を設置決定。
- 昭49. 3. 25 仮設校舎完成、プレハブ教室11職員室1、校長・事務室1、教材室1、他に潤徳小新館に4教室、更に保健室、用務員室をクラブハウスに設置
4. 1 日野市南平小学校開校
学級数15、児童数535名
教職員22名、市職員4名
4. 5 仮設校舎校地整理完了
5. 4 本校舎工事着工
総工費220,166万円
敷地面積26,535㎡ 鉄筋コンクリート四階建防音校舎
4,456㎡
5. 22 南平小学校PTA設立
11. 15 本校舎完成
普通教室20、特別教室5、保健室、給食室、校長室、職員室、事務室、用務員室等
11. 22 校樹として「スズカケの木」を決定。校旗・校章の図案のもととする。
校歌・校旗・校章の制定および発表会を挙行。
当日を本校開校記念日として制定する。
11. 29 本校舎へ移転
11. 30 校庭整備完了、進入路舗装、正門・フェンス取付完了

- 昭49. 12. 31 体育館完成
- 昭50. 4. 30 大・小プール完成
- 昭53. 3. 15 校舎3教室増築
- 昭54. 12. 21 体育倉庫（プレハブ）完了
- 昭56. 3. 27 校舎3教室・図書室増築
9. 15 NHK全国学校音楽コンクール東京地区において優良校として受賞
- 昭57. 2. 4 体育科「児童が主体的に取りくむ学習指導法の改善」研究発表会を全都にむけて行う。
- 昭58. 3. 31 学校園整備を行う。
- 昭59. 11. 22 十周年記念式典、祝賀会を行う。

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
黒 沢 保 雄	昭49. 4. 1 ～ 55. 3. 31
松日楽 敬 治	昭55. 4. 1 ～ 59. 3. 31
鈴 木 敏 郎	昭59. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校の学区は、日野市の南部に位置し、前面に多摩丘陵をきりひらいた南平台（なんぺいだい）みなみが丘、鹿島台、川崎街道をはさんだ南平中下（昔からの唯一の集落）京王線と浅川ぞいにはさまれた向島の六地区で構成されている。比較的まとまった学区であり、地区の把握がしやすい。

南平中、下をのぞき何れも新興の分譲住宅地であり、父母の社会的、経済的地位は比較的安定している。従って学校教育によせる関心も高く、学校に協力的である。

学区には、自然林あり、田畑、果樹園等、

自然条件にめぐまれている。西方に丹沢連峰から秀麗富士を仰ぎ見、施設、設備、校庭等の完備と相まって、教育的環境としては、最高の条件を具備している。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法、教育基本法に基づき、地域の特性をふまえ、児童の個性、能力の伸長と自発性、創造性を重視し、調和と統一のある教育をめざして行う。

- 健康でたくましい子ども
- 考えながら学ぶ子ども
- めあてをもってやりぬく子ども
- おもいやりのある仲よい子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 学校経営へ教職員の積極的な参加を通して、学校や教師の創意工夫を生かし、明るくゆとりある学校生活の実現と豊かな人間性の育成をめざす教育をすすめる。
- 学校、児童、地域の実態をふまえ、開かれた学校をめざし、児童、教師、父母の心の交流をはかり信頼を高め、よい校風づくりにはげむ。
- 校内研修の一層の充実をはかり、教師の資質を高めることによって成果の高い教育活動の展開を図る。
- 道徳教育、体力の向上、健康安全の保持増進を効果的に行うため、環境を整備し、学校の教育活動全体を通して計画的な指導をすすめる。
- 行事、会議等を精選し、年間授業時数を確保し、学校生活に時間的、精神的なゆとりをもたせ、授業の充実と創意を生かした教育活動の一層の計画化をはかる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- 児童一人一人が主体的に学習するための指導法の改善を図る。
- 基礎的、基本的事項を重視し、指導内容の精選に努める。
- 児童の発達段階をふまえ、一人一人を生かす指導の充実を図る。

(2) 道徳

- 児童の実態を見つめ、学校教育目標に即した指導計画を作成し、活用しやすく資料を整備し、指導法の改善に努める。
- 学級・学年の枠をはずした交流の場を意図的に設定した諸活動の中で、自主的に参画し、責任ある行動と共に、お互いに思いやること等道徳的実践の指導に役立てる。

(3) 特別活動

- 集団の一員としての自覚をもたせ、協力し合って活動しようとする自主的・実践的な態度を身につけさせる。
- 学校生活のあらゆる場で、児童が積極的に活動し、楽しく参加できるよう指導計画の改善に努める。
- 学校や地域の実態を生かした指導計画の改善を図る。

(4) その他の活動

学校・児童・地域の実態をふまえ、学校教育目標を具現するために、学校や教師の創意工夫を生かした教育活動を行い、学校生活に喜びと充実感をもたせる。

- ① もみふりから田植、稲刈り、脱穀、収穫を祝う会、わらじ作り、全校いもつくりを通して生産の大切さ、勤労の喜びを体験させると共に、地域との連携を図る。
- ② 水泳、マラソン、なわとび、リレー球技等を通して、耐性や体力の増進をはかる。
- ③ たて割りにより全校遠足・遊び・清掃・給食集会を通して連帯感、協力、思いやりの心を培う。
- ④ 1年生を迎える会、6年生を送る会、合唱祭等を通して、計画性、創造性、実践力、自発性を培う。

(5) 生活指導・進路指導

- 一人一人を大事にし、互いに尊重し、助けあう生活態度を培う。
- 学校のきまりを守り、基本的な生活習慣を身につけ、充実した学校生活をさせる。
- 健康で安全な生活に心がけ、清潔で、活気ある学校生活をさせる。

6. 本年度の研究主題

社会科4年体育3年で積みあげた学習指導法を他の教科・領域に応用し、児童の主体性をひきだす指導の充実をめざす。

- 学習課題の設定及び児童自身が見通しをもち、学習への持続を図る指導法の工夫。
- 児童の発達特性をふまえ、一人ひとりの個性・能力を十分発揮させる指導のあり方。
- 児童相互の磨き合いを効果的にとり入れ、好ましい人間関係を築く指導の工夫。

7. 本校の特色

- (1) 本校の児童は、素直で、礼儀正しく落ちついている。物事に熱心にとりくみ、しっかりできる。
- (2) 児童・父母ともに学校を信頼し、協力的である。
- (3) 父母の経済的、社会的地位が比較的安定している。
- (4) 学校生活の主人公は児童であるの認識のもとに、教職員が一致して教育活動にあたっている。
- (5) めぐまれた学校施設・設備、校庭の完備、自然条件等、教育目的環境は、最高である。

8. その他

No. 内訳	研 究 員	道 徳 助 言 研	海 外 研
1	鈴木 敏 郎 (46 特 活)	荒 木 健 治 (47)	荒 木 健 治 (50 アメリカ)
2	荒 木 健 治 (46 道 徳)	片 岡 千 寿 子 (55)	
3	荒 木 健 治 (50 教育経営)		
4	兼 島 政 邦 (58 理 科)		



学 校 名 日野市立程久保小学校
 所 在 地 日野市程久保504の1
 電 話 0425-92-5014・5015
 順 路 京王線高幡不動駅より動物園行きバスにて5分
 中程久保下車 徒歩3分
 児 童 数 男264名 女240名 計504名

校長氏名 大 島 昭 子 教頭氏名 小 幡 建

1. 沿革の概要

本校は潤徳小学校の規模の過大化を解消するため、高幡台小学校の学区の変更に伴って程久保地区に新設された学校である。

昭52. 2. 1 程久保小学校開設 潤徳小学校に開設準備室を設置

初代 渋谷義一校長就任

4. 1 日野市立程久保小学校開校
 学級数18 児童数 652
 教職員26 市職員8

4. 21 給食開始

6. 28 プール開き

7. 15 体育館竣工

10. 20 落成式挙行、この日を開校記念日とする。校歌・校章発表会を開く。

昭53. 1. 19 東1回音楽会を行う。

4. 4 学級増によるプレハブ教室設置
 (1教室) 19学級

11. 3 第1回展覧会を行う。

昭54. 1. 16 校内書初展を行う。

11. 18 第1回学芸会を行う。

昭55. 1. 18 体育倉庫竣工

11. 11 飼育舎竣工

11. 15 第2回音楽会を行う。

昭56. 5. 9 全校写生会を行う。

11. 15 第2回展覧会を行う。

12. 17 受水槽竣工

昭57. 5. 13 校庭フェンス側散水栓着工

5. 13 校庭フェンス側散水栓竣工

11. 21 第2回学芸会を行う。

昭58. 6. 1 校庭砂場新設着工

6. 15 " 竣工

11. 20 第3回音楽会を行う。

11. 4 球技場(テニスコート)工事着工

12. 20 同上工事竣工

昭59. 2. 15 プール改修工事着工

2. 29 同上工事完了

5. 12 全校写生会を行う。

7. 27 校庭除石工事を行う。

8. 14 体育館ステージ照明設備工事を行う。

11. 10 第3回展覧会を行う。

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
渋谷 義 一	昭52. 2. 1～昭58. 3. 31
大 島 昭 子	昭58. 4. 1～現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって八王子市と接しており、明星・三井・電建の新興住宅地が主な学区域である。住宅は多摩動物公園線の両側の起伏に富んだ傾斜地に建てられている。西側には動物公園の園舎も見られ、遠足時には子どもの集団が遠望できる。東側は高幡台団地に接している。緑が多いわりに、子どもの遊び場が大へん少ない。

最近、住宅地域内を通過する車が増加し、児童の登下校時の安全対策も急務となっている。

4. 教育目標

本校の教育は教育基本法、学校教育法に基づき、生命の尊重を基調とし、自ら考え正しく判断し実践できる児童をめざして、次のような教育目標を定める。

元気（丈夫で生き生きした子）

本気（一生けんめい取り組む子）

根気（最後までやりぬく子）

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- 協力して考え合いながら、主体的に学習に取り組む児童を育てる。
- 教材研究を深め、個→集団→個の指導法を追求し、充実した授業が行えるようにする。
- 教材・教具を整備・充実し、その活用をはかる。

(2) 道徳

- 教師と児童および児童相互の人間関係を深め、日常生活における基本的行動様式を身につけさせる。
- 人間性が豊かで、思いやりの心を持った児童の育成に努める。
- 教科・特別活動等全領域のなかで、道徳性の内面化、態度化をはかっていく。

(3) 特別活動

- 集団活動をととして主体的な態度を養い、協力して楽しい学校生活を計画・実践できるようにする。
- 学級指導の充実をはかり、実践的な態度を育てる。
- 学校行事に自覚して参加できる児童を育て、学校生活を安全にかつ明るく、うるおいのあるものにする。

(4) その他の活動

- 朝の10分間運動の時間を設定して、体力づくりに力を入れる。
- 山ゆりの時間を設けて、児童一人ひとりの能力・特性に応じた個別指導や、創意工夫をこらした諸活動を計画・実践していく。
- たてわり班を編成して、集会活動や清掃活動を行う。

(5) 生活指導・進路指導

- みんなで仲良く助け合い、連帯感のある楽しい学校づくりに努めさせる。
- 目的意識をもって、主体的に活動できる児童を育てる。
- 学級・学校のきまりを考え、自主的に守って行動する児童を育てる。
- 安全教育の徹底に力を入れる。
- 児童の個性・能力に応じた正しい職業観を育てる。

6. 本年度の研究主題

一人ひとりが生き生きする学習指導

7. 本校の特色

- (1) 児童ひとりひとりを生き生きさせる学習指導の確立へ向けて、低、中、高学年と専科の計4ブロックに分かれた実践研究を行っている。年間を通して7回の全体研究授業を行う。
- (2) 児童と教師、児童相互の人間関係を深めたり、集団活動を通して主体的態度を養ったりするため、

1年生から6年生までを18のたてわり班に編成し、次のような活動をしている。

毎日の清掃活動。児童集会活動。全校写生会。ドッチボール大会。防災訓練の集団下校。

- (3) 児童の多くは家庭環境にもめぐまれており、いろいろな面でみたまされている。明るくすなおであるが、たくましさに欠ける。そこで、体力づくりのため次のようなことを行っている。

朝の10分間運動（ラジオ体操、程久保体操、行進、表現運動、固定施設の活用、マラソン、なわとび等を、季節に応じて行う。雨天のときはテレビを通して運動の解説等を行う。）スポーツテスト（年2回）。夏の水泳指導。冬のなわとび大会、マラソン大会。

- (4) 外来者からは、校舎内がよく磨かれていて明るいとのことばをよく受ける。

- (5) 隣接校としての地の利を生かして、高幡台小学校との交流を深めている。特に体力作りの一貫として、クラブ活動・スポーツ交流をはかっている。

8. その他（教職員の研究歴）

No. 内訳	研 究 員
1	大 島 昭 子 （40. 給）
2	上 野 森 良 （49. 国）
3	小 幡 建 （53. 理）
4	川 上 卓 一 （55. 理）



学 校 名 日野市立旭が丘小学校
所 在 地 日野市旭が丘5丁目21番地の1
電 話 0425-83-3733・3748
順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩25分
京王・都バス(石川入口)下車10分
児 童 数 男447名 女376名 計823名

校長氏名 大 熊 喜 一 教頭氏名 黒 沢 源太郎

1. 沿革の概要

昭51. 8.18 起工式

市議会は、日野市立旭が丘小学校の設置を決定

昭52. 2. 1 初代校長 小野寺東雄発令

3.31 校舎使用開始

4. 1 教頭、教諭等25名、市職員8名 計33名発令

4. 6 第1回入学式149名 4学級
全校18学級 707名

4.27 教育目標決定

5.20 校舎完了

6.30 プール完成

7.20 校章制定

8.15 体育館完成

10. 1 開校記念大運動会

10.12 校旗完成

11.11 開校記念展覧会

11.21 校歌制定。開校式典

11.22 第1回開校記念日

12. 3 校歌発表会

昭53. 3.25 第1回卒業式110名

4. 1 教職員36名

4. 6 第2回入学式163名 4学級
全校20学級 758名

11.10 第1回学芸会

昭54. 3.24 第2回卒業式95名

4. 1 教職員38名

4. 6 第3回入学式156名 4学級
全校21学級 833名

昭55. 3.25 第3回卒業式116名

4. 1 教職員40名

昭55. 4. 7 第4回入学式193名 5学級
全校23学級 916名

10.13 体育館ボーダーライト工事

11.20 第2回学芸会

昭56. 3.25 第4回卒業式122名

4. 1 教職員44名

4. 6 第5回入学式145名 4学級
全校24学級 904名

昭57. 2.27 「雑木林の小道」完成式

3.25 第5回卒業式110名

4. 1 教職員44名

4. 6 第6回入学式136名 4学級
全校24学級 895名

5. 8 科学センター開講式(北部)

6.16 プールシャワーバルブ工事

11.16 学芸会

11.17 学芸会

昭58. 2. 7 音楽室廊下防音ドア完成

2.12 科学センター閉講式(南北)

3.22 卒業記念制作「夢の池」完成

3.23 登り棒完成、登り初め

3.25 第6回卒業式 137名

4. 6 第7回入学式 135名
全校21学級 863名

8.11 給食室排水工事完成

9.11 NHK全国合唱コンクールC地区
最優秀賞受賞

昭59. 3.24 第7回卒業式 150名

4. 6 第8回入学式 144名
全校21学級 850名

8.29 NHK学校音楽コンクール地区
参加、優秀賞受賞

- 昭 59. 9. 30 第 8 回大運動会
 11. ²⁰/₂₁ 学芸会
 12. 10 推肥小屋とプール塗装工事開始
 1. 20 プールフェンス工事開始
 昭 60. 1. 23 都一般訪問・市訪問 B
 3. 25 第 8 回卒業式 142 名

4. 1 教職員 28 名 市職員 9 名
 計 37 名
 4. 6 第 1 学期始業式
 第 9 回入学式 (男 69 名
 女 54 名 計 123 名、3 学級)
 全校 20 学級 823 名

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小野寺 東 雄	昭 52. 2 ～ 昭 58. 3
大 熊 喜 一	昭 58. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は、日野市西南部で八王子市との境に位置している。学区は、浅川の第一河岸段丘と第二河岸段丘の二段にまたがっている。東西 2 Km、南北 1.5 Km と広く、学校が西に偏在しているため、通学時間 30 分以上かかる児童もいる。

学区の中心部は、東芝や帝人などの大工場が占め、その周辺に個人住宅や集団住宅が混在する。主要道路には歩道があるが、通学路の交通安全施設は整備中である。また、工場は多いが、公害問題は少ない。学校の周辺には、畑や雑木林も多く、公園もあり、自然に恵まれている。父母は会社員が多く、学校教育への関心は深い。

4. 教育目標

- | | |
|----------------|------------------|
| (1) よく考える 子ども | (2) なかよくする 子ども |
| (3) がんばりぬく 子ども | (4) からだをきたえる 子ども |

5. 本年度指導の重点

- (1) 各 教 科
- 指導内容の精選と指導技術の工夫により、学習活動にゆとりをもたせ、基礎的、基本的事項の徹底をはかる。
 - 授業のあり方を研究し、児童一人一人が「よく見る」「よく聞く」「よく気づく」望ましい理解・態度・技能を身につけるようにする。
- (2) 道 徳
- 教職員の協力態勢を土台に、学校の教育活動全体を通して特に道徳的实践力の向上に努める。
 - 学習活動を多彩にし、児童の主體的な自覚をより促すように工夫する。
- (3) 特別活動
- 年間や学期ごとの指導方針、目標を立て、適切な指導によって進んでやろうとする意欲を盛りあげる。
 - 活動内容を児童自らが立案し、実行する過程で互いに協力してやりぬく実践力とよりよい人間関係を育てる。
- (4) その他の活動
- 学年・学級の時間等により、児童一人一人に思いやりの心を育て連帯感を強める。

- 「全校活動」の時間を設け、全校の交流活動などを行う。
- 各種活動の評価を適切に行い、指導の効果を高める。
- 諸行事をとおして児童一人一人に学校の一員としての意識を高める。

(5) 生活指導・進路指導

- 「学校生活のきまり」の定着化をいっそう推進し、望ましい基本的生活習慣の確立を図る。
- 自他の生命を尊重し、互いに守り合う態度を育てる。
- 土曜日の生活朝会等を活用し、児童理解を深めて積極的に学校内外の生活指導にあたる。
- 児童の個性、能力を伸長し、正しい職業観を養う。

6. 本年度の研究主題

昭和60年度「子どもに、よく考えさせる授業のあり方」

7. 本校の特色

本年度は、開校9年目の年である。教育目標の第1項「(1)よく考える子ども」に重点をおき、全教育活動を展開していく。なお、恵まれた自然を生かした教育環境づくりに全員でいっそう力を結集していく。

- 全体計画にもとづく授業研究の推進
- 学校敷地内の自然林の保存とその活用
- 職員・児童・父母の協力による校舎内外の環境整備と美化の促進
- 一日一日、一時間一時間の授業の充実

8. その他（教職員の研究歴）

内 No	研 究 生	研 究 員	現代化委員	都・文部省委員
1	大熊 喜一（39生活指導）	黒沢源太郎（50.特活）	奈良 悦子（49. 家）	黒沢源太郎（53.文部省）
2	黒沢源太郎（52. 特 活）	奈良 悦子（44.家）		
3		佐々木玄吾（50.社）		



学 校 名 日野市立平山台小学校
所 在 地 日野市平山2-1-1
電 話 0425-92-6381・6382
順 路 京王線平山城址公園下車徒歩15分
児 童 数 男277名 女272名 計549名
(内わかくさ学級14名)

校長氏名 蓮 池 守 一 教頭氏名 藤 田 孝 彦

1. 沿革の概要

- 昭52. 3. 28 学校建設校舎予算市議会議決
6. 3 学校建設準備委員会開催
9. 3 校舎建設工事請負契約締結
昭53. 1. 7 現在地に建設着工
1. 26 プール建設工事請負契約締結
3. 25 体育館建設工事請負契約締結
4. 1 日野市立平山台小学校として開校、平山小学校の学区から新たに平山1, 2, 3, 6丁目を平山台小学校の学区と定める。児童数男268名 女282名 計550名 17学級(心障2学級含)の規模で開校する。
10. 24 校舎落成式 校章発表
11. 22 開校記念展覧会 開校記念日
昭54. 3. 9 開校記念校歌発表会
昭55. 3. 20 校舎増築8教室完成
8. 15 中庭排水溝、飼育舎完成、遊戯室床張替え、ガス配管一期完成
昭57. 8. 30 図書館改装
ガス配管工事完了
昭58. 10. 30 屋外バスケットボール施設完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小 川 格	昭53. 2 ～ 昭57. 3
蓮 池 守 一	昭57. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は日野市の南端、多摩丘陵の頂きを開発して建設。北側は、日野市はもちろん八王子、

立川も一望でき、巨大な鳥瞰図を眺めるようである。また、南側は、多摩テックから平山城址公園に連なる雑木林が四季折々の風物を語る。

このような、景観だけでなく児童が学習する上での生きた教材を得た学校である。

学区は、京王電鉄が造成・分譲した平山1, 2, 3丁目に加えて、平山6丁目を含んだ、まとまりのある地域である。また、この地に住む人々は相互に環境の美化、浄化に心している。故に静かでおちつきのある雰囲気が維持されている。

4. 教育目標

憲法、教育基本法、学校教育法の示す国民の育成につとめることを目指し、地域・児童の実態を基に次のように教育目標を定める。

本校の教育は、生命の尊重を基底とし、自ら考え正しく判断し実践できる力をもつ児童を育成する。

- よく考え くふうする子
- 力を合わせて やりぬく子
- 心豊かな やさしい子
- 明るく たくましい子

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特活の指導の重点

ア 各教科

授業を通して「主体性のある児童の育成」をはかるために、次のことに力点を置く。

- ① 児童ひとりひとりが課題をもって授業に取り組み、自分の力で課題を解決したり、完成した喜びがもてる授業をつくりあげる。

② 基礎的・基本的事項の定着をはかるため、教材性の吟味、指導内容の検討と重点化をはかる。

イ 道 徳

全教育活動を通じて、道徳的心情と実践力を育てるために次のことに力点をおく。

- ① 人や動物・植物の生命を大切にし、思いやりのある心を育てる。
- ② 望ましい行動様式を身につけさせ、節度や協調性のある生活ができるよう指導する。
- ③ 道徳の授業を充実し、適性な判断と行動がとれる児童の育成をはかる。

ウ 特別活動

集団・社会の一員としての自覚を高め、自主的・主体的な態度を育てるために次のことに力点をおく。

- ① 児童の主体性を重んじ、創意を生かして活動できる学習の機会とする。
- ② 児童が協力して取組む過程を大切にし、児童自身が物事をよく見つめ、見極めることができるような指導を重視する。

(2) その他の活動

- 学校生活により喜びと充実感を与える機会とするための創意ある活動の時間を設定する。菊づくり、七夕祭、たこあげ大会等を通して、豊かな心を育てると共に、ひとりひとりが生かされる場とする。
- 心障学級との交流をはかり、全校児童に障害をもつ児童について、正しい理解と認識を与える。同時に心障児の社会性を養っていく。
- 家庭及び地域との連携を密にし、「地域に根ざした教育」への工夫と研究、実践を推進する。

(3) 生活指導・進路指導

① 生活指導

- 日常の学校生活を通して心身ともに健全な児童の育成を目ざし、指導の徹底をはかる。
- 知徳体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成するため心身の発達段階に応じた指導
- 児童一人ひとりの特徴や傾向をよく理解把握し、厳しさと温かさのある指導を進める。
- 家庭・地域社会および関係諸機関との連携を密にし、協力体制を整える。

② 進路指導

- 児童の個性・能力に応じた適性な指導をする。

6. 本年度の研究主題

「主体性のある児童の育成をめざし、心豊かなやさしい子」への取り組みをする。

7. 本校の特色

- 市内全域がほぼ見渡せる所にあり開校8年目の学校、自然環境に恵まれ教材化に活用。
- 主体性のある児童の育成を指導の重点として、特に本年度は、心豊かなやさしい子の育成を目ざす。
- 心障学級設置校で心障児と健丈児との交流をすすめている。
- 地域の要請に応える教育力の提供について具体化をはかっている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	研 究 員	研 究 生	開 発 委 員
1	蓮池 守一（43 社 会）	蓮池 守一（46 教育方法）	北野 義昭（60 図 工）
2	藤田 孝彦（48 特 活）	信夫 清彦（57 体 育）	
3	信夫 清彦（54 体 育）		



学 校 名 日野市立東光寺小学校
所 在 地 日野市新町3丁目24番地1号
電 話 0425-84-6200・6201
順 路 中央線日野駅下車 徒歩10分
児 童 数 男263名 女241名 計504名

校長氏名 志 村 桂 次 教頭氏名 秋 永 悦 郎

1. 沿革の概要

- 昭52. 9. 30 学校用地買収予算市議会議決
昭53. 3. 30 学校建設校舎予算市議会議決
6. 2 学校開設準備委員会開催
8. 21 校舎建設工事着工～54. 5. 31
昭54. 3. 10 体育館建設工事着工
～54. 10. 31
3. 14 プール建設工事着工
～54. 10. 31
4. 1 日野市立東光寺小学校として開校。日野第三小学校の学区から、新町3丁目と栄町1, 2, 3, 4, 5丁目を東光寺小学校の学区と定める。児童数545名(男287名、女258名)15学級の規模で開校する。
4. 30 教育目標決定
7. 18 校樹決定「さくら」
11. 20 校章・校旗・校歌制定
校舎・体育館・プール落成記念式典、校章・校旗披露・校歌発表会
昭55. 3. 25 第1回卒業式挙行
卒業生88名
4. 1 昭和55年度発足 16学級
4. 7 第2回入学式挙行
入学生109名
昭56. 3. 25 第2回卒業式挙行
卒業生79名
4. 6 第3回入学式挙行 17学級
入学生106名
昭57. 2～3 校地緑化、小鳥舎新設
昭57. 3. 25 第3回卒業式挙行 68名

4. 6 第4回入学式挙行
91名(17学級)

昭58. 3. 25 第4回卒業式挙行 86名

4. 6 第5回入学式挙行
90名(16学級)

昭59. 3. 24 第5回卒業式挙行 99名

4. 6 第6回入学式挙行
75名(14学級)

昭60. 3. 25 第6回卒業式挙行 90名

4. 6 第7回入学式挙行
67名(14学級)

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
高 田 智	昭54. 2. 1～58. 3. 31
近 内 信 輝	昭58. 4. 1～60. 3. 31
志 村 桂 次	昭60. 4. 1～現 在

3. 地域の環境

本校は、日野市北西部にあって学区の一部は多摩川と八王子市に接している。学区は新町3丁目、栄町1, 2, 3, 4, 5丁目で、東西1.8Km南北0.8Kmと東西に長く、学校は学区の中央、南側に位置している。通学時間は遠い児童で15分である。

学区には、天正16年僧永海が、旧東光寺のあと地に建てた万松山成就院がある。また、多摩川と日野用水にはさまれた低地には農家が点在していたが、都市化にしたがって兼業農家がふえ、まわりには、宅地造成が進み、個人住宅や集団住宅が混在している。

学校の裏側には自然林があり、正門近くには田畑、果樹園等自然条件にめぐまれている。施設、設備、校庭が完備され、教育的環境は優れ

ている。父母の学校によせる関心も高い。

4. 教育目標

憲法及び教育基本法の精神に基づき、自ら考え正しく判断できる児童の育成をめざし、次のような教育目標を定める。

- 明るい子ども
(個性を伸ばし、礼儀正しい態度を育てる。思いやりの心を育て、協力する態度を育てる。)
- 考える子ども
(自ら考え、正しく判断できる能力を伸ばす。進んで学習し、自分の言動を反省する。)
- 強い子ども
(じょうぶな体をつくる。責任を重んじ根気強く働く態度を育てる。)

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

- ひとりひとりの能力に応じた指導法をくふうし、基礎的な学力の向上をはかる。
- 自主的な学習態度を育てる。

イ 道徳

- 自分を反省するとともに、他人の立場を重んじ、実践する意欲を高める。
- 物を大切にすること生活態度や習慣を身につけさせる。

ウ 特別活動

- 自発的な活動を促し、集団の一員としての自覚と協力的な態度を育てる。
- 学校行事に積極的に参加させ、発達段階に応じて、心身の調和のとれた児童を育成する。

(2) その他の活動

- 学校生活に変化を与え、ひとりひとりの児童の個性を伸ばし、学校生活に喜びと充実感をもたせる指導を工夫する。

(3) 生活指導・進路指導

- 基本的な生活習慣、特に規律正しい生活態度を養う。
- ひとりひとりの個性能力に応じ、課題意識をもって自己を伸長する児童の育成につとめる。

6. 本年度の研究主題

「自主的な学習態度を育てる指導法の研究」

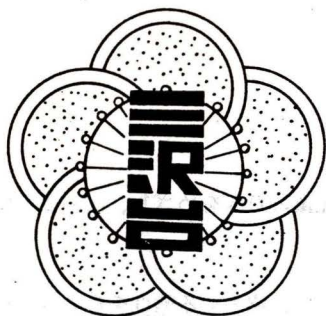
7. 本校の特色

開校7年目、全職員が一致協力して、次のような学校づくりをめざし、努力している。

- 指導の充実した学校（具体的資料を通して理解を深めさせるための資料づくりを行う。）
- 美しく整った学校（全校児童による除草作業。一人一鉢の菊づくり）

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研究員	開発委員
1	志村桂次（43. 国語）	西田敦子（60. 家庭）
2	秋永悦郎（45. 国語）	
3	上山美智子（43. 保健）	
4	江口耕一（53. 特活）	
5	中尾公治（58. 図工）	



学 校 名 日野市立三沢台小学校
所 在 地 東京都日野市百草 896-1
電 話 0425-93-2351~2
順 路 京王線百草園駅下車 徒歩15分
児 童 数 男296名 女268名 計564名

校長氏名 松日楽 敬 治 教頭氏名 平 山 毅

1. 沿革の概要

昭55. 4. 1 開校

日野第八小学校より分離
児童数666名(男319名、
女347名)18学級(各学年
・3学級)、教職員34名で発
足。

4. 7 第1回 入学式111名入学

6. 10 プール完成

8. 4 体育館完成

9. 1 校庭使用開始(芝生、アンツ
カーの運動場)

9. 10 市主催による落成式。

昭56. 2. 10 校歌・校章発表会
開校記念日とする。

3. 25 第1回 卒業式
126名卒業

4. 6 第2回 入学式114名入学
学級数18

9. 22 校庭改修工事完了(ダスト舗装
に)

昭57. 3. 25 第2回 卒業式
125名卒業

4. 6 第3回 入学式90名入学
学級数17

昭58. 3. 25 第3回 卒業式
110名卒業

4. 6 第4回 入学式66名入学
学級数16

昭59. 3. 24 第4回 卒業式
110名卒業

4. 6 第5回 入学式82名入学
学級数16

昭60. 3. 25 第5回 卒業式

117名

4. 6 第6回 入学式67名入学
学級数15

2. 歴代校長

氏 名		年月～年月
初代	深 尾 眞	昭55. 2～昭59. 3
二代	松日楽 敬 治	昭59. 4～現 在

3. 地域の環境

本校は日野市東南端に位置し、多摩丘陵の頂
きを開発した住宅街(西武・日本信販)の中心
にあり、北は日野市、立川市方面、南は八王子
市、多摩市及び多摩ニュータウンが一望できる。
東は百草園の雑木林に囲まれ、自然に恵まれて
いるうえ、静かな住宅環境でおちついている。

4. 教育目標

本校の教育は、教育基本法・学校教育法に基
づき、地域・児童の実態をふまえ、調和のとれ
た人間形成をめざしている。

- からだをきたえる子
- 最後までやりぬく子
- よく考え行動する子
- みんなと仲よくする子

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 児童が主体的に学び、楽しさの中にも
充実した学習ができるよう指導法のくふ
うにつとめる。

- 教材・教具の効果的な活用をはかり、学習効果の向上に努める。
- 指導計画、指導法の改善やくふうを重ね児童の発想を豊かにする授業を推進する。

イ. 道 徳

教育活動全体を通して、道徳的心情を豊かにし、実践力を育てる。そのために、各教科、特別活動とのつながりを深めた指導の展開に努力する。

- 広い心をもち互いに助けあう。そして、実践力にたけた子に育てる。
- 望ましい行動様式を身につけさせ、節度と協調性のある子を育てる。

ウ. 特別活動

児童の主體的な活動を重んじ、ゆとりある学校生活を味わう場の設定に心がける。また、児童相互の交流を深め、協同して働き、よい校風づくりに励む態度と実践力を育成する。

(2) その他の活動

- 新興住宅地と古い集落とを合わせもつ本校では、教育活動にいっそうの創意とくふうを生かし、児童相互の連帯意識と地域社会を大切にする心と実践力の高揚をはかる。
- 遊びの指導を通し、児童相互、児童、教師の交流をさかんにする。
- 学年を越えた児童のふれあいの場を多くし、学校と地域とのつながりを深める。

(3) 生活指導・進路指導

- 集団活動を通して、児童の各々が自己の役割を果たし、自己の長所を知り、より高く向上しようとする指導を推進する。
- 集団としての規律を理解させ、基本的生活習慣の徹底を図る。
- 家庭・地域との連携を深め、安全指導・非行防止の手だてに万全を期す。
- 児童ひとりひとりを正しく理解し、個別指導の徹底を図り、生涯学習を指向する基礎づくりをめざす。
- 各教科・道徳との関連を密にして、職業に対する正しい理確と判断を育て働くことの大切さを体得させる。

6. 本年度の研究主題

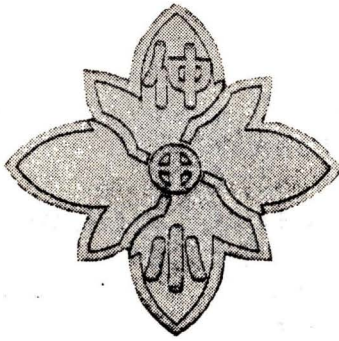
「授業への参加意欲を高める手だてのくふう」

7. 本校の特色

子どもたちの「心のふるさと」となる地域と一体化した学校づくりをめざす。このため全教職員の創意を生かし、子どもと共に遊び、働き学ぶ教職員の後ろ姿から教育実践の効果を高めていく。

8. その他（教職員の研究歴）

内容 No.	研 究 員	現 代 化	道 徳 助 言 研
1	松日楽 敬 治（43 理科）	松日楽 敬 治（49 理科）	平 山 穀（58）
2	平 山 穀（48 道徳）		
3	間 瀬 静 夫（59 特活）		



学 校 名 日野市立仲田小学校
所 在 地 日野市日野本町6丁目1の74
電 話 0425-81-8511・8512
順 路 国電中央線日野駅下車 徒歩10分
児 童 数 男 202名 女 180名 計 382名

校長氏名 山 口 武 彦 教頭氏名 小 林 繁 人

1. 沿革の概要

本校は、日野第一小学校及び日野第四小学校の教室不足の解消、危険な道路を横断しない安全通学と、当地域の将来の発展を見越して、日野第一中学北側の国有地「日野第一桑園」跡地と一部買収民有地に新設された学校である。

昭 58. 3. 30 仲田小学校新設の為の市条例一部改正を市議会が可決

6. 22 現在地に建設着工
(用地取得の為の買収費16億7597万4千555円、校舎体育館・プール等の建設費8億6千万円)

昭 59. 2. 1 初代校長 山口武彦就任

4. 1 開校

4. 6 第1回入学式

5. 23 校庭・プール竣工

7. 31 体育館竣工

10. 12 市主催落成式挙行

11. 12 校歌校章披露式挙行

昭 60. 3. 25 第1回卒業式

4. 6 第2回入学式

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年月
山 口 武 彦	昭 59. 2. 1～現在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の北部に位置し、東と南に甲州街道（国道20号線）、西に国電中央線北に多摩川にかこまれた、ほぼ長方形に近い地域である。

この地域は、江戸時代以来甲州街道日野宿と

して栄えてきた。近年、多摩川沿いの水田を埋め立てて宅地化が進行している。したがって、古くから居住している人々と、比較的新しく移住してきた人々とが混在している。

本校は、この地域の中央部北寄りの旧農林省蚕糸試験場（日野第一桑園）跡地にたてられ、周囲は、仲田緑地や多摩川という自然の美しい環境が残されている。

仲田は、この付近の古い字名で、本校名もこれによったものである。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

- すすんで 学ぶ子
- からだを きたえる子
- 思いやりのある子
- さいごまで やりぬく子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 1 学校の教育目標を学年の発達段階に応じて具体化し、学年・学級経営の充実につとめる。
- 2 児童が自己実現をめざし、意欲的に学習にとりくむ授業の創造をめざす授業研究をすすめる。
- 3 児童理解を深め、基本的生活習慣の確立を図るとともに、互いに思いやる心の育成につとめる。
- 4 児童と教師が一体となり、学習環境の整備と充実につとめる。
- 5 父母及び地域との連携を密にし、児童の生活の充実をめざす。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- 児童一人一人が生き生きと学習にとりくめる授業の実現を図る。
- 児童が学習しやすいように、校舎内外の学習環境の整備を図る。
- 体育的施設を活用し、たくましくしなやかな体力づくりにつとめる。

イ 道徳

- 人間の基本としての生命の尊さに常に目を向けさせ、全生活場面で児童に生きることの大切さをわからせる。
- 基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、たがいに相手の立場を考えることを日常の課題とし、思いやりのある児童を育てる指導法を工夫する。

ウ 特別活動

- 望ましい集団活動を通して、あたたかい人間関係を深め、個性を伸ばし、より豊かな生活を築いていく力を育てる。
- 異年令集団による活動の場を工夫し、児童の連帯意識や責任感を育てる。

(2) その他の活動

- 地域の文化や自然を取り入れ、文化的活動、勤労生産的活動、体育的活動などを推進させる。
- 美しい学校づくりをめざし、児童と教師が一体となって、飼育栽培活動、清掃活動、掲示活動を積極的にすすめる。

(3) 生活指導・進路指導

- 児童が自らすすんで健康の増進を図り、自己の生命・安全を守る態度を育てるため、健康安全指導の徹底を図る。
- 児童一人一人を正しく理解し、基本的な生活習慣の確立につとめる。

6. 本年度の研究主題

「一人一人の児童が生き生きと学習にとりくむための授業の創造をめざして——一斉授業の中での個別化をどうはかるか——（国語科）」

7. 本校の特色

開校2年めの小規模校であるが、その特性を生かした学校づくりを推進する。

ア 生命の安全を守る安全教育の徹底を図る。

イ 明るく、健康な児童の育成をめざす。

ウ 思いやりのある児童の育成をめざす。

エ 自ら意欲的に学ぶ児童の育成をめざす。

オ 教育環境の整備充実活用に努める。

カ 家庭との協力を深め、地域社会との連携を図る。

8. その他（教職員の研究歴）

内容 No	中央研	研究員	研究生	海外派遣
1	山口 武彦（49）	山口 武彦（46 社会）	山口 武彦（47 社会）	山口 武彦（58）
2		小林 繁人（53 課題）	小林 繁人（44 経営）	
3		渡辺 健（56 理科）		



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 一 中 学 校
所 在 地 日 野 市 日 野 本 町 7 - 7 - 7
電 話 0 4 2 5 - 8 1 - 0 0 0 9 (代)
順 路 国 電 日 野 駅 下 車 徒 歩 1 0 分
生 徒 数 男 4 6 1 名 女 4 0 9 名 計 8 7 0 名

校長氏名 奥 村 節 生 教頭氏名 高 木 宏 文

1. 沿革の概要

- 昭 22. 4. 30 公立中学校として設置許可、日野中学校と称する。
- 昭 24. 4. 1 校歌制定
- 昭 29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称。
- 昭 37. 9. 17 新校舎（鉄筋防音）落成。
- 昭 38. 9. 9 プール落成。
- 昭 39. 5. 1 特別教室落成。
- 昭 42. 11. 4 20周年記念式典挙行。
- 昭 48. 3. 10 校舎増築（普2、特別2）
- 昭 51. 3. 9 校舎増築（普3、教材室1、生徒相談室2）
- 昭 52. 11. 4 30周年記念、校歌刻字の記念碑建立記念誌発行。
- 昭 55. 4. 1 大坂上中の新設に伴い学区縮小。
- 昭 58. 8. 31 窓枠改修。
- 昭 59. 3. 31 給食棟増築（食堂1、特別2）
- 昭 59. 6. 4 学校給食開始（三年生は食堂方式）

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
町 田 勘之助	昭 22. 4～25. 9
飯 塚 節 三	昭 25. 10～37. 3
大 沢 彰	昭 37. 4～40. 3
大 沢 量 作	昭 40. 4～45. 3
安 部 達 郎	昭 45. 4～49. 3
東 恭 朝	昭 49. 4～53. 3
松 延 耕 作	昭 53. 4～57. 3
小 林 節 夫	昭 57. 4～59. 3
奥 村 節 生	昭 59. 4～現在

3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と残川の合流する第四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が発達し、甲州街道ぞいの宿場町として栄えてきた。

近年、郊外の住宅、アパート、工場、特に中小企業、家内工業、商業が多く、近郊農業も見られる。

4. 教育目標

- 1 よく考え やりぬく人
- 2 協力し 全体につくす人
- 3 心豊かで 思いやりのある人
- 4 進んで心身をきたえる人

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

学習意欲を高め、基礎学力の充実を図る。

- ・発表の場や表現の機会を多くする。
 - ・学習の計画を立てさせ、予習、復習の習慣をつける。
 - ・よく考える態度を養い、学力の伸長を図る。
- 指導内容の精選、指導方法の改善に努める。

イ. 道 徳

実践活動を通して道徳的心情を高める。

- ・一人一人を尊重する態度を養う。
- ・きまりを守り、行動する態度を養う。
- ・感謝の気持ちを育てる。
- ・身のまわりをきれいにし、物を大切にする心と実行力を育てる。

ウ. 特別活動

教師と生徒、生徒相互の心のふれ合いを大

切にし指導する。

- ・生徒自身に深く考えさせ、自主的実践的な活動を伸ばす。
- ・集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め協力する態度を育てる。
- ・図書館教育、給食指導の充実と発展を図る。

(2) その他の活動

ゆとりあるしかも充実した学校生活の実現をめざす。

- ・学校行事への取りくみを通して、生徒の自主活動を推進させる。
- ・個別指導を実施し基礎学力の充実に努める。

地域社会との連携を密にし、生徒の健全育成と郷土愛の育成に努める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

教師の共通理解を深め、全員一致して指導にあたる。

- ・基本的生活習慣を身につけさせる。
- ・勤労意欲を向上させ、学習環境の美化に努めさせる。

イ. 進路指導

個々の生徒の能力・適性の把握に努め、自ら進んで進路を選択する態度と能力を育てる。

6. 本年度の研究主題

- (1) 学年・学級経営の充実
- (2) どの子にもわかる授業

7. 本校の特色

教育目標の具現化の一つとして、次の3点に特に意を用いている。

- (1) 基礎学力の向上をめざす指導法の工夫を通して、生徒の学習意欲を高め、またよく考え、やりぬく態度を養うため、他校の参観や、ゆとりの時間の活用等、校内での授業研究を基に、資料の収集や整理につとめている。
- (2) 情操の育成を図るために、教室、廊下などの掲示指導に意を用い、また校舎内外の美化のために、清掃に意を用い実施している。登下校時刻の厳守には教師、生徒会が一体となつてつとめている。
- (3) パーソナルコンピューターを活用し、教科の学習プログラム成績の処理、学級編成、生徒名簿・地区名簿の作成、各種文書の作成等に活用する。

8. その他（教職員の研究歴）

内容 No.	研 究 員	研 究 生	現 代 化	開 発 委 員 等
1	高木 宏文（46 数）			
2	村田 志信（47 音）		高木 宏文（51 特活）	
3	岸 とみよ（52 英）			
4	渡辺 譲（60 保体）			



学 校 名 日野市立日野第二中学校
所 在 地 日野市多摩平4丁目5の2
電 話 0425-81-0056・0262
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩10分
生 徒 数 男493名 女452名 計945名

校長氏名 小 林 節 夫 教頭氏名 清 水 春 海

1. 沿革の概要

昭29年度 設立認可、開校式、入学式（生徒200名）
第二期工事八教室増築落成
昭31年度 第三期工事竣工落成
昭32年度 第1回卒業式（卒業生204名）
昭33年度 校旗・校歌制定
昭34年度 産業教育研究校に指定される。
昭35年度 特別教室（工作、調理、理科）竣工落成
昭36年度 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会、修学旅行研究発表会
昭37年度 プール竣工落成
昭38年度 保健体育研究発表会
昭39年度 普通教室3教室竣工、創立10周年記念式典举行
昭40年度 体育館竣工
昭41年度 防音校舎第一期工事完成（6教室）
昭42年度 防音校舎第二期工事完成（18教室）、プール用更衣室工事完成
昭43年度 南校舎前、境栽花壇完成
体育倉庫と校庭用便所完成
昭44年度 プール専用便所一棟完成
プレハブ一棟
昭45年度 プレハブ一棟
昭46年度 プレハブ一棟
昭47年度 プレハブ二棟
昭48年度 四中新設のため34学級より25学級に縮小
創立20周年記念式典举行

昭49年度 南校舎3階塗装。技術科教室及同準備室改造整備。中庭・他整備
昭50年度 南校舎6教室増設、南校舎2階塗装
昭51年度 理科室、家庭科調理室、机、床整備
昭52年度 体育館照明工事、暗幕完成
校舎電気配線整備
昭55年度 大坂上中新設のため26学級より20学級に縮小
第二技術室の新設。
昭56年度 北校舎内部塗装工事、校長室・事務室の床張替え工事。
昭57年度 南校舎窓枠改修工。プールサイド改修工事。体育館床塗装工事。
昭59年度 創立30周年記念式典举行

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
橋 本 貫 一	昭29. 3.31～30. 9.31
増 山 恒	昭30.10. 1～41. 3.31
飯 田 栄 一	昭41. 4. 1～46. 3.31
河 村 俊一郎	昭46. 4. 1～48. 3.31
飯 田 卯 吉	昭48. 4. 1～51. 3.31
小 林 政之助	昭51. 4. 1～55. 3.31
渡 辺 吉 彦	昭55. 4. 1～59. 3.31
小 林 節 夫	昭59. 4. 1～現 在

3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に、日野五社勤務者の居住する住宅がこれを取りまき、東南部になお農業地域を残し、本校は多摩平公団住宅のほぼ中央に位置している。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、民主的な社会の形成者としてたくましく実践力のある人間をめざし、

- (1) 健康なからだと自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊重し合い、奉仕の態度を育てる。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

5. 本年度指導の重点

- 各教科
 - ・ 自ら学びとる学習の態度を育成し、基礎学力の充実をはかる。
- 生活指導
 - ・ 基本的生活習慣の確立をはかり、相互理解に努める。
- 進路指導
 - ・ 系統的指導計画の実践を通じて自己を理解し、将来の進路を選択する能力を育成する。

6. 本年度の研究主題

「各教科の到達度評価の研究」

- (1) 学習指導要領の改訂にともない、生徒ひとりひとりの能力・適性の発見伸長をめざす評価を工夫する。
- (2) 生徒の学習意欲を助長するための評価法を研究する。
- (3) 生徒指導要領の観点別評価のあり方や望ましい通知票の様式を検討する。

7. 本校の特色

3,000世帯を収容する多摩平団地のほぼ中央に位置する。東にけやきの大木、北に緑の中央公園に囲まれ、自然環境は良好。海拔105m。公害を知らない学校。広い校庭に恵まれ、体育系のクラブ活動は活発である。都の愛鳥モデル校に指定され、情操教育の一環として、生徒の手で小鳥の飼育をしている。青桐祭(運動会、文化祭)も9年目を迎え定着してきた。年2回実施される生徒会主催の球技大会は、学級のまとまりを強めるとともに、生徒の自主性を育てている。

出身小学校は、二小、三小、五小、六小である。

8. その他（教職員の研究歴）

(1) 教職員の研究歴

内訳 No.	研 究 員	現 代 化
1	富 士 堯 （41 特 活）	池 田 友 彦 （43 英 ）
2	永 谷 豊 （45 教育方法）	
3	小 川 涉 三 （45 特 活）	
4	永 谷 豊 （52 特 活）	
5	伊 藤 務 （54 社 ）	



学 校 名 日野市立七生中学校
所 在 地 日野市南平 6 - 7 - 1
電 話 0425-91-0174・0175
順 路 南平駅(京王線) 下車徒歩 7 分
豊田駅(国 電) 下車徒歩 15 分
生 徒 数 男 392 (2・4) 女 387 (5・0) 計 779 (7・4)
()内は心障・訪問学級の生徒外数、合計 790

校長氏名 山 本 保 教頭氏名 小 高 辰 雄

1. 沿革の概要

- 昭 22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置。
5. 15 七生村役場庁舎を仮校舎として開校式挙行 2 部授業で発足
昭 23. 2. 15 七生村南平 1 9 4 4 番地に七生中学校敷地決定。地鎮祭を挙行。
9. 4 新校舎完成、当日より授業開始。
昭 32. 12. 1 P T A 結成第 1 回総会を挙行。創立十周年の記念式典及び校歌制定の発表会を挙行。
昭 32. 2. 1 日野町立七生中学校と校名変更
昭 37. 7. 31 プール開きを挙行。
昭 37. ~ 39 鉄筋 3 階 3 教室・6 教室完成。
昭 41. 7. 1 体育館落成。
昭 42. 11. 1 創立二十周年記念式典挙行
昭 45. 3. 31 鉄筋防音校舎九教室完成。
4~9 七生中学校に三中分校設置。
昭 46. 3. 31 第二期防音鉄筋校舎完成。
8. 24 プール浄化装置・更衣室完成。
昭 47. 3. 20 観察用水槽完成。
5. 22 訪問学級開級式。
昭 50. 5. 22 南校舎西側(4 階)増築工事完成。訪問学級教室完成。
7. 1 地番変更日野市南平 6 - 7 - 1
昭 52. 11. 3 創立三十周年を祝う会挙行
昭 54. 9. 30 校庭、運動場改修工事完了。
昭 57. 3. 31 社教による夜間照明工事完了。
昭 58. 4. 1 心障学級開設。(2 教室改造)
5. 心障特別教室完成。
昭 59. 5. 校庭南フェンス改修(歩道完成)

- 昭 59. 8. 全教室窓枠アルミサッシに交換
・外装吹付け工事実施。
昭 60. 3. 廊下塗装工事実施。
5. 給食棟(厨房・食堂)完成。

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
飯 塚 節 三	昭 22. 4 ～ 昭 25. 9
増 山 恒	昭 25.10 ～ 昭 30.10
飯 島 一 吉	昭 30.10 ～ 昭 37. 3
木 村 功	昭 37. 4 ～ 昭 40. 3
芳 西 幸 三	昭 40. 4 ～ 昭 44. 3
羽 崎 一 男	昭 44. 4 ～ 昭 47. 3
高 橋 太 一	昭 47. 4 ～ 昭 51. 3
吉 岡 孝二郎	昭 51. 4 ～ 昭 55. 3
山 本 保	昭 55. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩 7 分、中央線豊田駅より南へ 15 分、浅川にそう静かな位置にある。学区域は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、急速に住宅が増えて来た。生活環境がよく、生活指導には恵まれている。学区近くには、高幡不動、また多摩動物公園、平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

基本的人権を尊重し、平和で民主的な人間を育成するために、つぎのことを目標とする。

自主・敬愛・勤勉・責任・健康

- ・自ら学び 考え 行動しよう。
- ・責任と思いやりの心をもとう。
- ・健全な心とからだをつくろう。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ・人権を尊重し、実践活動を通して人間性豊かな生徒を育成する。
- ・基礎的・基本的内容を身につけさせるため、日常の継続的研究をすすめる。
- ・集団生活の場を通して、生徒の個性の伸長をはかり、あわせて家庭の理解を深める。
- ・より効果的に教育活動を進めるため、環境衛生の向上に努める。
- ・障害児に対する理解を深めるため、心障学級との交流をはかる。

(心障学級・訪問学級の方針)

- ・生活に必要な技能や自分から行動できる力を育てる。
- ・個々の発達段階に応じて、ことば・認識を育てる。
- ・お互いをだいに助け合って働ける人を育てる。
- ・親密な人間関係を通じて、ひとりひとりの健全な成長と民主的人格の発達をはかる。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・教材の精選をして、基礎的基本事項の指導の徹底をはかる。

イ. 道徳

- ・健康で明るく、互に協力する態度を養う。
- ・物事を正しく理解・判断し、建設的に実践していく態度を養う。

ウ. 特別活動

- ・生徒の自主活動をとおして、規律正しい学校生活を築き、心身ともに調和のとれた生活態度を育成する。
- ・集団生活をとおして、互に協力する態度を育成する。

(2) その他の活動

- ・学校行事を通して、生徒の自主的創造的な能力を育成し、明るく楽しい学校づくりをめざす。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・健全な生徒の育成をめざし、非行化の防止に努める。
- ・中学生としての基本的生活態度を養う。
- ・学校の環境衛生の向上に努める。

イ. 進路指導

- ・生徒自身の個性・能力・家庭環境などの理解に努めさせる。
- ・進路の種類や方法について理解させる。
- ・生徒の適性や能力を考慮した進路指導を行ない、進路に対する意欲をもたせる。

6. 本年度の研究主題

基礎学力の定着をめざす指導法の研究

(各学年の特徴・発達段階をふまえた研究)

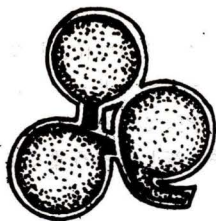
7. 本校の特色

本校は浅川と四季それぞれ変化を見せる多摩丘陵にはさまれ、自然環境には恵まれた位置にある。昭和35年頃までは純農村であったが、現在は兼業農家数戸を残し、ほとんどがサラリーマンの子弟であり、多摩丘陵の北面の、一戸建新興住宅と平地部、北野街道沿いが主な学区である。

生徒は明るく、素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も、伝統と新しさをうまく調和して建設的で意欲的である。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	現 代 化 委 員
1	山本 保（38・学校行事）	御子紫昭治（54・訪）	小高 辰雄（38・理科）
2	小高 辰雄（36・理科）	柳沢 美澄（57・英語）	天野 敏明（53・音）
3	天野 敏明（41・音楽）	岩木 翼（56・特活）	
4	高野 徐一（51・美術）		
5	柳沢 美澄（55・英語）		
6	大谷 良光（59・技術）		



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 三 中 学 校
所 在 地 日 野 市 程 久 保 6 5 0 番 地
電 話 0 4 2 5 - 9 1 - 2 2 2 8 (代)
順 路 京 王 線 高 幡 不 動 駅 下 車 百 草 団 地 行 バ ス で
高 幡 台 団 地 下 車 徒 歩 7 分
生 徒 数 男 6 1 5 名 女 5 5 4 名 計 1,1 6 9 名

校長氏名 千 葉 廣 志 教頭氏名 市 塚 正 史

1. 沿革の概要

- 昭 45. 4. 1 日 野 市 立 七 生 中 学 校 日 野 第 三 中
分 校 として、七生中学校内で授
業開始。生徒数 2 6 名。
教職員数 1 2 名
- 昭 45. 10. 1 日 野 市 立 日 野 第 三 中 学 校 開 校。
七生中学校内で授業。
生徒数 4 4 名 教職員数 1 4 名。
百草、高幡の両団地を学区に
する。
- 昭 46. 3. 27 校舎新築工事竣工
4. 1 学区域変更、程久保地区の全部、
三沢地区上、中を加える。
新校舎に移転
7. 1 学区域変更、西部百草園団地を
加える。
10. 2 開校式を挙 行 1 0 月 2 日 を
開校記念日とする。
校章・校歌を発表。
- 昭 48. 1. 31 体育館工事竣工
- 昭 50. 4. 1 第二期校舎増築竣工
- 昭 54. 4. 2 第三期校舎増築竣工
- 昭 55. 10. 5 創立十周年記念式典
- 昭 59. 9. 1 第四期特別教室増築竣工
プール管理棟竣工

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
橋 本 敏 一	昭 4 5 . 9 ～ 4 8 . 3
松 延 耕 作	昭 4 8 . 4 ～ 5 3 . 3
田 中 弘 明	昭 5 3 . 4 ～ 5 6 . 3
長 岡 宗 次	昭 5 6 . 4 ～ 5 9 . 3
千 葉 廣 志	昭 5 9 . 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は日野市南部の多摩丘陵地帯にある。学区は住宅公団の高幡・百草の両団地、民間分譲の三井、電建の諸団地及び在来の程久保、三沢の両地区を含んだ地域である。

屋上からは眼下に浅川の流れ、その北に起伏に富み緑豊かな武蔵野台地を一望することができ、西方遥か富士の秀峰も眺められる。学区内には都立多摩動物公園、明星大学があり、附近には百草園、東電学園、帝京大学、中央大学などがあって、文教地区を形成している。

4. 教育目標

自ら判断し、責任をもって実行する人となる。

- ① 基礎学力を充実し、文化を創造する人となろう。
- ② 豊かな心を養い、力を合わせて進もう。
- ③ 若い人らしい気力、体力を養おう。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

教材を精選するとともに、ゆとりある学習をとoshi、自主学習を促進し、学習の効率化をはかる。

イ 道徳

他領域との関連をはかりながら、豊かな心を養い、自主的判断のもとに、責任ある行動ができるように、指導内容をくふうする。

ウ 特別活動

① 小集団を基礎に、個人の自発性をうながし、学級集団の質を高める。

② 学級・学年の活動を母体として、生徒会活動の充実をはかる。

(2) その他の活動

① 教育目標の具現化をめざして、生徒ひとりひとりの指導にあたるとともに、国際社会の一員として、思いやりの精神を養う。

② 諸行事において、計画の段階から生徒の参加場面を設定し、自主、自律的な活動ができるように指導する。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

① 学級の基礎の上に立った生徒会活動を伸長させ、組織をとoshieの自律ある生活態度を身につけさせる。

② 問題行動に対しては、全職員の共通理解にもとづき、一致した指導の徹底をめざす。

イ 進路指導

教師・生徒・保護者の緊密な交流をはかり、各学年に応じた系統的、個別的指導の徹底をめざす。

6. 本年度の研究課題

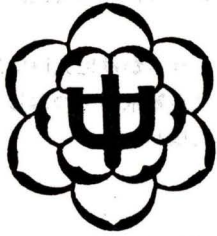
生徒が意欲的に取り組む、学習と自主活動のあり方

7. 本校の特色

- 本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができ、自然環境に恵まれている。
- 開校15年目で、市内で最大の学級数（28）、学区域の小学校は、潤徳小、高幡台小、百草台小、程久保小の4校ある。
- 開校以来、「自ら判断し、責任をもって実行する人となる」の教育目標の具現をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成につとめている。
- 団地、分譲地を主体とした地域で保護者の約3分の1が技術的、管理的な職業に従事し、子弟の教育に寄せる関心は大変高い。

8. その他（その他教職員の研究歴）

内訳 No	中央研・海外派遣	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	千葉 廣志（56中）	福田 慶罔（42英）	橘 陽臣（57体）	千葉 廣志（46数）
2	市塚 正史（52海）	大宅 寛（42音）	高橋 清子（57家）	樋口 恢武（54社）
3	樋口 恢武（55海）	市塚 正史（44数）	鈴木 渉（59音）	
4	千葉 廣志（56海）	千葉 廣志（45数）		
5	千葉 廣志（57海）	市塚 正史（47方）		
6		飯島 利三（47技）		
7		原 豊（57数）		
8		樋口 恢武（53社）		
9		清水 賢司（57視）		
10		乙黒 義夫（57国）		
11		松沢 茂久（59特）		
12		飯島 利三（60課）		



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 四 中 学 校
所 在 地 日 野 市 旭 が 丘 2 - 4 2
電 話 0 4 2 5 - 8 3 - 3 9 0 5 ・ 3 9 0 6
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩17分
バス（長房団地行、都立工科短大下車5分）
生 徒 数 男 4 9 7 名 女 4 2 8 名 計 9 2 5 名 2 2 学 級

校長氏名 立 川 泰 司 教頭氏名 安 谷 功

1. 沿革の概要

- 昭 47. 8. 21 四中校舎起工式（工事費 1 9 億円。施工小田急建設）
- 昭 48. 1. 18 屋内体育館着工
4. 1 初代校長 河村俊一郎以下教員 2 4 名発令。開校
7. 2 屋内体育館完成使用開始
（工費約 4 千 6 百万円。施工小田急建設）
7. 18 本校シンボル「泰山木」決定
8. 7 プール完成（工費 2, 7 0 0 万円）
10. 13 校歌作詞完成
10. 16 校章決定
教育目標設定
11. 10 校歌作曲完成（寺原伸夫）
11. 16 校旗完成
11. 17 落成式挙行
11. 22 第一回開校記念日
- 昭 49. 2. 2 標準服制定
5. 30 保健室冷房装置取付
7. 1 増築工事開始
7. 3 保健室 空気清浄装置取付
9. 6 駐車場舗装
10. 19 玄関コンクリート舗装
- 昭 50. 1. 8 体育倉庫、砂場完成
3. 8 増築完成（校舎 3 スパン体育倉庫、校庭砂場、物置き機械室）
工費約 1. 6 億円
施工 小田急建設
4. 26 テニスコート完成
校庭の校舎側 U 字溝設置

- 昭 51. 1. 16 図書館開館
- 昭 51. 12. 22 玄関前アルファルト舗装
- 昭 52. 4. 1 二代校長 山口幸雄発令
9. 13 第三期工事開始（東端 3 スパン美術室を理科室に改造）工事費 9 5 0 0 万円 施工 小田急建設
年度末完成
- 昭 53. 3. 28 校庭防球フェンス設置
- 昭 54. 5. 15 校庭東側防球フェンス設置
- 昭 55. 1. 8 仮称第八中学校準備委員会発足
6. 26 校庭南側防球フェンス設置
- 昭 56. 4. 1 三代校長 花牟礼哲発令
- 昭 58. 4. 10 学校警備機械化に変更
11. 21 創立十周年記念式典校歌碑建立
- 昭 59. 1. 10 配繕室前アスファルト舗装
8. 1 体育館床の研磨
- 昭 60. 4. 1 四代校長 立川泰司発令

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
河 村 俊一郎	昭 48. 4. 1 ～ 52. 3. 31
山 口 幸 雄	昭 52. 4. 1 ～ 56. 3. 31
花牟礼 哲	昭 56. 4. 1 ～ 60. 3. 31
立 川 泰 司	昭 60. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的には北半の洪積台地（日野台）と南半の浅川ぞいの沖積低地に 2 分されている。台地部は 2 ～ 3 段の段丘状になっており、その境界は高低差 1 0 ～ 2 0 m の急崖になっている。

この地域は昭和初期まで、人家はほとんどなく昭和12年、小西六写真工業（株）（六桜社）、昭和18年富士電機製造（株）の進出までほとんど見るべきものはなかった。

しかし戦後にここにも都市化の波が押しよせ、昭和33年多摩平団地入居をきっかけに人口は急増しはじめた。平山工業団地・国鉄豊田電車区、多数の住宅、アパートなど、畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近15年ぐらいで、いちじるしく変化し、人口が急増した。

4. 教育目標

平和で民主的な国家、社会の形成者として、世界にひらかれた日本人の育成をめざし、つぎの目標を定めます。

- 1 進んで学習し、向上する人
- 2 進んで力を合わせ、みんなのために努力する人
- 3 進んで心身を鍛え、やりぬく人

学校の教育目標を達成するための基本方針

- 1 年間の授業時数を確保し、生徒の思考過程を重視した授業をすすめる。
- 2 生徒の自主的実践的活動を重視した行事の実施、及び学年・学級経営をはかる。
- 3 家庭の理解と協力をえて、ともに人間性豊かな生徒の育成につとめる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア. 各教科

- 1 生徒の活動を生かす指導につとめ、自ら進んで学びとる学習態度を育成する。
- 2 教材の精選につとめ、基礎学力の充実を図る。

イ. 道 徳

- 1 お互いの人権を尊重し、思いやりの心を養う。
- 2 物を大切に作る心を育てる。
- 3 よく考えて行動し、結果に責任をもつ態度を養う。

ウ. 特別活動

- 1 教師と生徒、生徒相互の心のふれ合いを深める。
- 2 集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい集団生活を営むようにする。

(2) その他の活動

充実した中学校生活を送るために

- 1 学校行事への取り組みを通して、自主的・実践的活動を重視する。
- 2 教師と生徒のふれあいを重視し、生徒一人ひとりの学習や生活の悩みの解決をはかる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 1 自主的に規律正しい生活習慣を身につけると共に、個人の責任を自覚させる。
- 2 勤労意欲を向上させ、教育環境の整備・美化に努めさせる。
- 3 心身の健康安全に対する意識を高め、事故防止に努めさせる。
- 4 集団生活の意義や個人のはたす役割を理解し、集団の質を高める態度を養う。

イ. 進路指導

系統的な指導に努め、自己理解・情報の分析を通し、将来の進路を選択する能力と態度を育成

する。

6. 本年度の研究主題

生徒の学習への興味・関心をいかに育てるか。

(全教科で具体的な方法を研究・実践し、年度末にその結果をまとめる。)

7. 本校の特色

(1) 教育活動

各領域の調和に心掛けつつ、校風を発展させる意気に燃えている。

ア 授業 校内研究を深め、1時間1時間を大切にする。授業打ち切りをさけ、まじめな学習態度を育てる。

イ 特別活動 学級活動・生徒会活動・クラブ活動と学校行事の調和をめざし、時間を厳守して活動し、自発、自律心を育てると共に感動する体験を多くするように努める。

(2) 授業研究の推進

市の学校教育の指導目標にのっとり授業研究の推進につとめる。

(3) 父母との連携

学校通信(学校の様子、生徒の創作)を毎週2～3回家庭に配布し、学年・学級通信と合せて共通理解・共通指導につとめる。

(4) 美化緑化の推進

校樹(泰山木)を育て、緑多く美しい学園の環境整備につとめる。

(5) 勤労体験学習の推進

学校行事を通して、特に、全校清掃の日々の実践から、自ら気づき・考え・実行する力を育てる。

8. その他(教職員の研究歴)

No.	研 究 員	開発委員・現代化委員	研 究 生
1	立 川 泰 司 45年 特活	西 川 利 行 48年 経営	西 川 利 行 30年 英語
2	安 谷 功 50年 特活	吉 見 光 雄 55年 数学	
3	西 川 利 行 35年 英語		
4	田 中 栄 一 45年 国語		
5	吉 見 光 雄 50年 数学		
6	鈴 木 良 身 54年 教課題		
7			



学 校 名 日 野 市 立 三 沢 中 学 校

所 在 地 日 野 市 三 沢 2 5 番 地

電 話 0 4 2 5 - 9 2 - 5 0 1 7 ・ 5 0 1 8

順 路 京 王 線 百 草 園 駅 より 西 へ 徒 歩 1 0 分
高 幡 不 動 駅 より 東 へ 徒 歩 1 2 分

生 徒 数 男 4 5 6 名 女 4 3 2 名 計 8 8 8 名

校長氏名 降 旗 経 雄 教頭氏名 白 田 重 孝

1. 沿革の概要

- 昭 51. 9. 18 仮称 5 中校舎起工式
- 昭 52. 2. 1 初代校長 古川 豊発令
4. 1 日野市立三沢中学校開校教頭以下教職員 2 2 名発令
4. 6 始業式 (2 年 156 名、3 年 147 名)
4. 7 第 1 回入学式 (1 年 1 8 8 名、全校生徒 4 9 1 名)
9. 16 第 1 回開校記念日
- 昭 53. 3. 22 第 1 回卒業式
(男 8 0 名、女 6 6 名)
4. 7 第 2 回入学式 (男 109 名、女 85 名)
- 昭 54. 3. 19 第 2 回卒業式
(男 7 5 名、女 8 8 名)
4. 7 第 3 回入学式
(男 1 1 1 名、女 9 1 名)
- 昭 55. 3. 18 第 3 回卒業式
(男 9 3 名、女 9 1 名)
4. 8 第 4 回入学式
(男 1 0 7 名、女 1 0 5 名)
- 昭 56. 3. 20 第 4 回卒業式
(男 1 0 5 名、女 8 6 名)
4. 6 第 5 回入学式
(男 1 3 1 名、女 9 4 名)
- 昭 57. 3. 19 第 5 回卒業式
(男 1 0 8 名、女 9 5 名)
4. 1 二代校長 降旗経雄発令
- 7 第 6 回入学式
(男 1 3 7 名、女 1 0 9 名)
- 昭 58. 3. 19 第 6 回卒業式
(男 1 1 0 名、女 1 0 8 名)
4. 7 第 7 回入学式

(男 1 0 7 名、女 1 2 2 名)

1 8 学級、教職員 3 5 名

昭 59. 3. 19 第 7 回卒業式

(男 1 3 0 名、女 9 5 名)

4. 1 校舎増築、給食室完成

4. 7 第 8 回入学式

(男 1 7 4 名、女 1 6 1 名)

昭 60. 3. 19 第 8 回卒業式

(男 1 3 6 名、女 1 0 2 名)

4. 8 第 9 回入学式

(男 1 7 1 名、女 1 5 3 名)

2 2 学級 教職員 5 0 名

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
古 川 豊	昭 52. 2. 1 ～ 57. 3. 31
降 旗 経 雄	昭 57. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は、京王線の高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の北側にある。学区は京王線に沿って北は浅川までの平坦部、南は多摩丘陵からなり、環境に恵まれ、高幡不動尊、百草園などの名所がある。

4. 教育目標

- ① みずから学び、真の学力を身につける人間に育てる。
- ② 心豊かで、みんなと協力できる人間に育てる。
- ③ からだをきたえ、健全な心身をもつ人間に育てる。

教育目標に達成するための基本方針

- ① 授業を大切にし、教材研究ならびに授業研究にとりくむ。
- ② 生徒と接する機会を多くもち、生徒理解を深める。
- ③ りっぱな校風を築き、教育環境を整え、職員は和をもってこれにあたる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- 基礎学力の充実のために、教材を精選し、系統化して学習の効率化をはかる。
- 主体的かつ素直に学ぶ態度・習慣を身につけさせる。

(2) 道徳

- ひとりひとりの人権を尊重する人間に育てる。
- きまりを守り、集団や社会の一員として自覚し、行動する態度を伸ばす。

(3) 特別活動

- 自主性を育て、堅実な思考力と豊かな文化的創造性を育成するために、教師と生徒が一体となって発表の場や機会を作る。
- その他の活動
 - ・教育相談、学力補充を精神的にすすめる。
 - ・生徒の自主性と仲間との協力や規律ある集団生活の習慣を養うため、クラブ活動を盛んに行なう。

(4) 生活指導

りっぱな校風と伝統を築き上げるため

- 規律ある集団づくりを進める。
- 積極的に環境づくりにとりくむ。
- 善悪・理非のけじめを自覚させる。

(5) 進路指導

- 自己理解を深め、進路選択の能力を養うよう各学年に応じた系統的指導を実践する。
- 学級指導における進路学習を位置づける。

6. 本年度の研究主題

生徒の学習意欲を高める授業の工夫

7. 本校の特色

昭和59年度から学区域拡張により大規模校化した。校舎増築により益々教室配置が複雑になり、奥行のある落ちついた教育環境に整備されつつある反面、怠学や非行の盲点が多く生徒指導に特別の配慮をしている。教職員は丸一となって学力の充実、教育相談の強化、活力ある学校行事の工夫に取り組んでいる。生徒は概して素直であるが目的意識が弱く目的遂行のための集中力に欠ける面が見られる。父母は教育に熱心で協力的であるが、より一層父母の活動を推進するため父母と教師の会が発足。美しい環境のもとで思いやりと活気のある校風作りに努力している。

8. その他（教職員の研究歴）

中央研修	教 育 研 究 員		開 発 委 員 等
降旗 経雄（53）	降旗 経雄（37 理）	田熊 裕（49 数）	降旗 経雄（個人差）
	降旗 経雄（47 経営）	佐藤 禎磨（33 音）	
	白田 重孝（32 数）	西村美紗子（44 音）	
	橋本 貴幸（46 理）	広瀬 昭（52 英）	荒井 式子（46 道徳）



学 校 名 日 野 市 立 大 坂 上 中 学 校
所 在 地 日 野 市 大 坂 上 4 - 17 - 1
電 話 0425-83-9755 ~ 6
順 路 中央線日野駅下車 徒歩12分
生 徒 数 男458 (11) 女429 (3) 計887 (14)
() 内 心 障 学 級 生 徒 数

校長氏名 長谷川 辰 美 教頭氏名 綿 引 正 己

1. 沿革の概要

- 昭55. 2. 1 初代校長 長谷川辰美着任
4. 1 日野市立大坂上中学校開校
教頭以下教職員37名発令
4. 7 始業式(2年214名 3年
235名 心障15名)
4. 8 第1回入学式
男144名 女128名 心障2名
5. 15 校舎・校庭工事完成
6. 6 体育館工事完成
6. 28 プール工事完成
7. 12 落成式挙行
8. 11 生徒標準服・校章・校旗制定
11. 1 体育館緞帳・暗幕工事完成
11. 8 校歌制定
校章・校旗・校歌発表会挙行
昭56. 3. 9 第1回卒業式
男130名 女114名
4. 7 第2回入学式
男128名 女134名
心障12名
昭57. 3. 19 第2回卒業式
男112名 女110名
4. 7 第3回入学式
男123名 女102名 心障7名
昭58. 3. 9 第3回卒業式
男148名 女144名
3. 31 理科室、食堂、図書室、美術室
普通教室4完成
4. 7 第4回入学式
男151名 女118名 心障5名
昭59. 3. 19 第4回卒業式

男142名 女143名

- 昭59. 4. 7 第5回入学式
男166名 女151名 心障6名
昭60. 3. 19 第5回卒業式
男127名 女130名 心障4名
4. 8 第6回入学式
男132名 女152名 心障4名

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
長谷川 辰 美	昭55. 2. 1～現在

3. 地域の環境

日野の発祥の地として知られている。関東ローム層の日野台地にあり、昭和11年日野工場地帯の中に設立された神鋼電気(株)のあと地に新設された中学校である。

学区内に日野自動車(株)をはじめ中小工場も多く、また美実践女子大学、日野台高校と隣接しており、教育環境もよい。

近年、特に住宅化が進んでいる学区であり、学区内に市役所もあり、朝の多摩川、夕の富士の眺めは、教育環境を特に引立てる。

4. 教育目標

・進んで自己を開拓し向上しつづける人になろう。

1 よく考え、進んで学ぼう。(知性)

2 思いやりの心もち

他につくそう。(敬愛)

3 心身を鍛え、全力でやりぬこう。(健全)

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア. 各教科

思考力や正しい判断力を身につけさせるために

- ・基礎学力の充実をはかる
- ・生徒自ら学び考える態度を育てる

イ. 道徳

社会の一員としての自覚を高め、正しい判断力と思いやりの心を育てる。

ウ. 特別活動

自主性を尊重し主体的な実践活動を通じて社会性の育成につとめる。

(2) その他の活動

- ・充実したゆとりのある生徒会・各種委員会の活動を推進する。
- ・生徒と教師、生徒相互の好ましい人間関係を育てるよう学年・学級の諸活動の充実につとめる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・学級の小集団を基盤として学級学年、全校集団の質を高める活動を推進する。

(生徒の組織的活動)

- ・生徒に責任の所在をわからせ、自分で解決していく力をつけさせる。

(生徒指導の内容)

- ・研修を深め、情報交換を活発にし、同一姿勢で指導にあたる。

(教師集団の基本姿勢)

イ. 進路指導

- ・個々の能力、適性を把握し、進んで将来の進路を選択する能力を育てる。

6. 本年度の研究主題

(1) 基礎学力の定着をはかるための指導

(2) 生活指導の充実

7. 本校の特色

本校は各方面の理解と協力により作られた近代的な設備の整った開校第6年目の学校である。校舎内は非常に明るく、校庭には樹齢30年程度の桜、ヒマラヤスギが生え、校門には樹齢100年ともいわれる樺がそびえ、教育環境は最適である。日野台高校と隣接し、生徒は高校生活を窓越しに見て生活している。

開校以来、地域社会・家庭と協力して子どもの長所を生かし、本校の土台・基礎固めに全校教職員が力を結集して指導にあたってきた。教職員の新しい校風をつくる意欲や父母の学校への期待・協力により、おちついた雰囲気のある学校となり、子ども達の意欲的に活動する姿のある、学校となった。また、58年度より学校給食が始まり396名入る食堂が完備しており各地よりの参観者が多い。

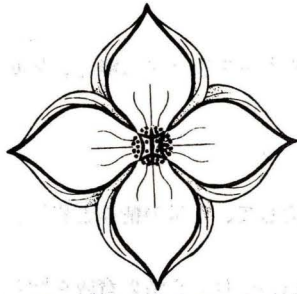
また、心障学級設置校として、教育内容の充実に努めている。幸にして在学する生徒達の一人一人が明るく生き生きとした姿で学んでいる。

60年度は指導内容の検討、指導技術の研究を深めて授業の充実をはかってゆくことに重点をおき授業研究、研修会をさらに推進してゆく方針である。

以上のことを通じて教育目標に示された思いやりの心をもち、他につくす心情をもつ生徒の育成を図っている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研究員	現代化委員	開発委員	研究生	その他
1	宮 田 和 子 (37 学活)	内 田 耕一郎 (51 数学)	野 沢 昭 兆 (51 国語)	野 沢 昭 兆 (49 国語)	綿 引 正 己 (57.58. 道德助言)
2	内 田 耕一郎 (41 特活)	綿 引 正 己 (51 英語)		村 上 敏 雄 (51 音楽)	
3	武 藤 光 哉 (42 社会)	丸 山 尚 夫 (52 数学)			
4	綿 引 正 己 (44教育方法)				
5	六本木 茂 (45 社会)				
6	村 上 敏 雄 (47 音楽)				
7	加 藤 常 光 (49 特活)				
8	丸 山 尚 夫 (49 進路)				
9	野 沢 昭 兆 (53 国語)				
10	伊 藤 務 (54 社会)				



学 校 名 日野市立平山中学校
所 在 地 日野市平山4丁目21番地の3
電 話 0425-93-3015・3016
順 路 国電豊田駅下車 徒歩18分
京王線南平駅・平山城址公園駅下車 徒歩10分
生 徒 数 男子475名・女子437名・計912名

校長氏名 川 崎 昭 三 教頭氏名 古 屋 登 吾

1. 沿革の概要

- 昭55. 6. 14 校舎建設工事着工
8. 25 給食室建設工事着工
12. 15 プール建設工事着工
12. 26 体育館建設工事着工
昭56. 2. 1 初代校長 河野寿忠着任
3. 26 校舎使用開始
4. 1 開校。乙戸教頭以下教諭29、
主査1、市職員11名着任。
5. 11 アラームシステムによる自動警
備開始。
5. 19 校庭造成工事終る。
5. 27 プール完成。
7. 15 東テニスコート完成。
8. 21 体育館完成。
9. 21 西テニスコート完成。
12. 25 校旗完成。
昭57. 1. 7 校歌完成。
2. 6 校歌、校章発表会。
3. 1 中国日本語教師団の来校
4. 11 学校スポーツ開放始。
4. 23 家庭教育学級開講
昭58. 1. 24 平山中PTA規約成立
2. 8 体育館自動警備設備工事完了
4. 1 第二代校長 川崎昭三着任

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
河 野 寿 忠	昭56. 2. ～ 58. 3
川 崎 昭 三	昭58. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

多摩丘陵北麓にひらけた低地に学校がある。
校舎南側にある校庭の目先きを京王線が走り、
校舎北側は、堤防道路をへだてて、浅川の河川
敷につながっている。緑豊かで自然環境には恵
まれている。

学区域は、東西の最長部分が約2.3Km、南北
が約1.5Kmにわたり、学校は学区域の最も北東
部に寄った位置にある。

近年、都市化の進行に伴ない、ベッドタウン
のたたずまいを濃くし、人口の急増が見られた
地域である。父母の教育への関心度は極めて高
い。

4. 教育目標

- 考え、工夫する人。
(主体性のある人間の育成)
- 協力し、進んで働く人。
(社会性のある人間の育成)
- 自然や人々を大切にする人。
(人間性豊かな人間の育成)
- 心身を鍛え、やりぬく人。
(健康な人間の育成)

5. 指導の重点

(1) 各 教 科

わかる授業、楽しい学習を展開するための
工夫や努力をし、基礎学力の充実を図ること
により、生徒がゆとりをもった自主的学習態
度を身につけられるようにする。

(2) 道 徳

暖かい人間愛を基盤として、他人を理解し、

尊重する心情の育成を図る。

物事を自ら正しく考え、客観的、合理的な判断に基づいて、意欲をもって実践する能力、態度を養う。

社会の一員としての基本的な生活習慣、生活態度の育成を図る。

(3) 特別活動

生徒会活動、クラブ活動への参加の意欲を高め、これらの活動を通して、連帯の精神と責任感及び実践力を育成する。

学校行事への参加を拡充させることにより、奉仕や他人に対する思いやりの心情の育成を図り、物事を計画的、組織的に進める能力、態度を高める。

(4) 生活指導

望ましい習慣や生活態度を育てる日常の指導を徹底する。

指導体制を整え、全職員が一致して指導にあたる。

一人一人の生徒との心の交流を深めるとともに、集団活動による相互規制により、問題行動の予防に努める。問題傾向は早期発見に努め、家庭や学校間はじめ関係諸機関との連絡を密にし、早期指導の徹底をはかる。

(5) 進路指導

各学年各生徒に応じた、計画的で系統的指導を実施する。

自己の特性を知り、その伸長に努め、適切な進路を選択できる能力を育てる。

(6) その他の活動

学校行事及び学年の諸計画を自主的に取り組むよう指導を推進する。また生徒会活動をもり上げ、学校生活の向上をはかる。

個人的な悩みや不安を解消し、意欲を高めるため、個人面談、進路相談をすすめる。さらに教科学習の質問教室、学力補充指導の実施に努める。

6. 本年度の研究主題

生徒をとりまく環境を整え、わかる授業を展開し、「意欲的、自主的学習態度を育成する」

7. 本校の特色

開校4年目の学校である。生徒も教職員も「学校へ来るのが楽しい」といえる学校を目指して、下記事項に重点をおき、事に当たっている。

- 生徒をとりまく環境を整え、すがすがしく、活気に満ちた学校にする。
- 「勉強しようとする意欲に満ちた生徒がいて」「生徒のために力一杯やろうとする先生がいる」学校にする。

また本校は、日野市内中学校で数少ない完全給食の実施校である。

8. 教職員の研究歴

内訳 No.	研究員	海外派遣 (短)	現代化	研究生
1	川崎昭三 (40理)	古屋登吾 (48年 北欧)	三富恒男 (49理)	古屋登吾 (文部省 保健)
2	阿部晃一 (43美)		上原純子 (52国)	和田孝 (都研 特活)
3	高崎雅子 (43国)			
4	三浦義次 (46技)			
5	三富恒男 (48理)			
6	山川昭子 (49数)			
7	北原景昭 (57特活)			
8	国信武司 (58社)			
9	和田孝 (58特活)			
10	古屋登吾 (44保体)			
11	三浦賢治 (59数)			
12	上沼利行 (60特活)			
13	益田志郎 (60心障)			

